

Panasonic®

取扱説明書 **Vol.2**

Memory Card Portable Recorder

品番 **AG-HPD24**

Volume **2**

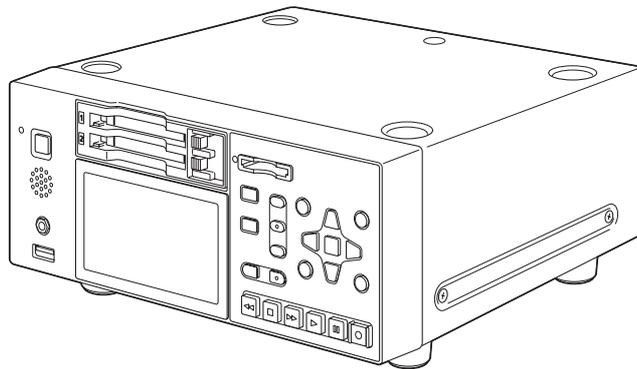
本書は、Memory Card Portable Recorder の詳しい操作について説明しています。

本機の基本操作は、製品に同梱の「取扱説明書 Volume 1」（印刷物）をご覧ください。

P2HD

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

SD™
HC



AVC INTRA

DVCPRO HD

DVCPRO 50

DVCPRO

DN

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（→Vol.1 5～11ページ）を必ずお読みください。

JAPANESE

VQT3S20A-3

- SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- Microsoft®、Windows® は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple およびMacintosh は、米国Apple Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本書内のイラストについて

- レコーダー本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

参照ページについて

- 本書では、参照ページを(→「***」*ページ)のように示しています。

用語について

- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、どちらも「SDメモリーカード」と記載しています。
- 「P2」ロゴがついたメモリーカード(別売のAJ-P2E064XGなど)を「P2カード」と記載しています。
- USBに接続される外部ハードディスクドライブ(HDD)などのメディアを「ストレージデバイス」と記載しています。
- 1回の記録動作により作成された映像を「クリップ」と呼び、そのように記載しています。
- 本機パネルの、オレンジ色の文字のボタン名は、[SHIFT] ボタンを押しながらそのボタンを押したときの名称です。操作説明上は「SHIFTを押しながら」とは記載せずにボタン名のみを記載しています。

ウェブサイトURLについて

- 日本語:<http://panasonic.biz/sav/>
- 英語:<http://pro-av.panasonic.net/>

著作権について

- あなたが録画や録音した内容は、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

この装置は、クラスB情報技術装置です。

この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

目次

Volume 1

安全上のご注意

使用上のご注意

付属品

各部の名称と機能

準備

電源の準備

基本の操作

外部機器との接続

3D 信号の記録再生を行う

同期再生を行う

設定メニュー

定格

さくいん

Volume 2

各種モードについて.....5

メインモード.....6

録再画面.....6

クリップを記録する.....6

クリップを再生する.....8

サムネール画面.....10

サムネール画面の各部の名称とはたらき.....10

サムネール画面の表示の変更.....12

クリップの再生.....14

クリップの選択と解除.....16

テキストメモやショットマークを付加する.....17

クリップをコピーする.....18

クリップを削除する.....19

クリップを修復・連結する.....19

クリップの情報を表示・修正する.....20

サムネールを変更する.....22

クリップ記録時にメタデータを付加する.....23

P2 カード / SD メモリーカードをフォーマット

する.....25

カードの状態を確認する.....26

USB HOST 端子で外部機器と接続する.....27

USB デバイスモード.....37

3D 録再モード (3D REC/PB).....38

クリップの表示と管理.....38

サムネール画面の各部の名称とはたらき.....38

サムネール画面の表示の変更.....39

クリップの選択と解除.....39

クリップを再生する.....39

可変速再生を行う.....39

テキストメモやショットマークを付加する.....39

クリップをコピーする.....39

クリップを削除する.....39

クリップを修復・連結する.....39

クリップの情報を表示・修正する.....40

サムネールを変更する.....40

クリップ記録時にメタデータを付加する.....40

P2 カードをフォーマットする.....40

カードの状態を確認する.....41

同期再生モード (SYNC PB).....42

再生.....42

クリップの表示と管理.....44

サムネール画面の表示の変更.....44

クリップを再生する.....44

可変速再生を行う.....44

クリップの情報を表示・修正する.....44

カードの状態を確認する.....44

画面の表示.....45

OSD 表示.....45

デッキ情報 (ダイヤグ) 表示.....46

ウェーブフォームモニター (WFM) 表示.....47

タイムコード・ユーザズビット・CTL.....48

タイムコード.....48

ユーザズビット.....48

CTL.....48

タイムコード / ユーザズビットの設定.....48

タイムコード / ユーザズビットの再生.....50

設定メニュー.....51

メニュー内容.....51

THUMBNAIL.....51

OPERATION.....52

PROPERTY.....54

META DATA.....55

STORAGE.....56

SETUP.....57

FILE.....74

SYSTEM INFO.....76

入力 / 出力対応フォーマット一覧.....77

キーボードの利用.....79

フルキーボード.....79

テンキーボード.....79

USB キーボード.....80

目次

末永くお使いいただくために.....	81
お手入れについて	81
結露	81
保管上のお願い	81
ワーニングおよびエラーメッセージ	82
エラー情報の表示について	82
ワーニング・エラー情報の詳細	83
エラー情報	88
本機搭載ファームウェアのアップデート	88
P2 カード記録データの取り扱いについて	89
SD/SDHC メモリーカードのご使用に ついて	90
保証とアフターサービス (よくお読みください)	91

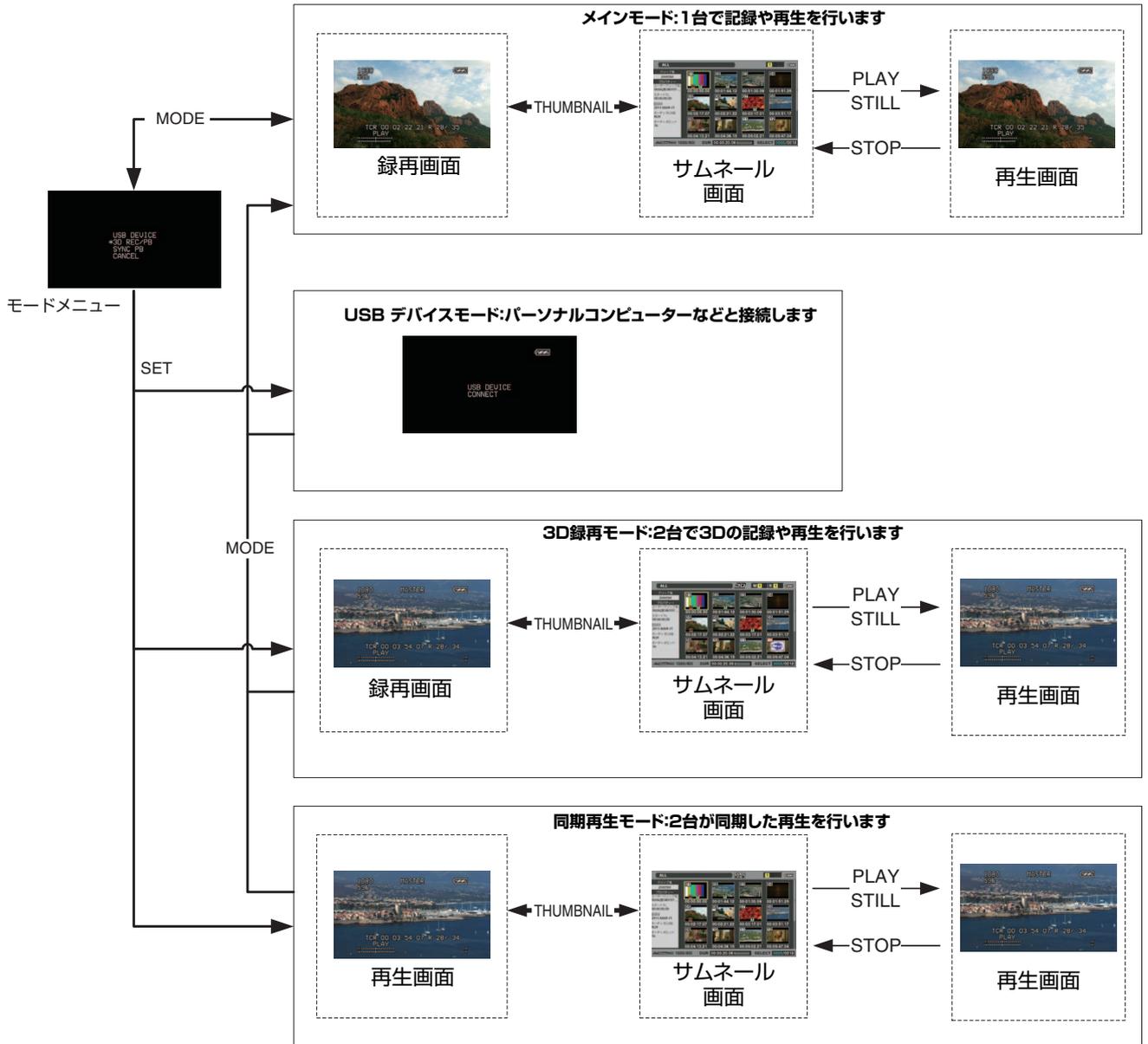
さくいん	92
------------	----

各種モードについて

本機には、メインモード、USBデバイスモード、3D録再モード、同期再生モードの4種類のモードがあります。これらのモードは、[MODE] ボタンを押すと表示されるメニュー項目で、選択・切り替えができます。また、それぞれのモードにはクリップのサムネールなどの表示・管理およびクリップの再生を行う「サムネール画面」と記録・再生を行う「録再画面」(同期再生モードは「再生画面」)があります。

各モードの概要は、下図のとおりです。

- **録再画面**: 映像表示、タイムコードやバッテリーなどの表示、記録・再生操作を行います。
- **再生画面**: 映像表示、タイムコードやバッテリーなどの表示、再生操作を行います。
- **サムネール画面**: クリップのサムネールや各種プロパティなどの表示、およびクリップの管理と再生を行います。



メインモード

録再画面

録再画面では以下のことが行えます。

- 全カードの記録日時順の再生
- P2カードへの記録

クリップを記録する

映像と音声をクリップとして記録します。記録は録再画面のときにのみ行うことができます。

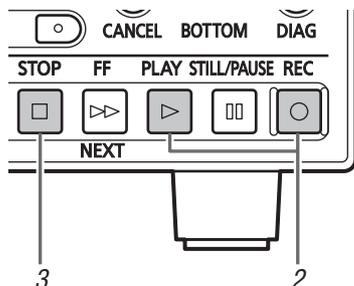
クリップの記録

記録する前にメニューで記録する周波数やフォーマット、入力信号などを設定します。

(→設定メニュー「SYSTEM」72 ページ)

◆NOTE:

- サムネイル画面など録再画面以外では記録はできません。サムネイル画面の場合は、[THUMBNAIL] ボタンを押してサムネイル画面を閉じてください。
- オーディオの入力にアナログを選択した場合は、音声ファイルは8チャンネル分作成されますが3-8チャンネルは無音が記録されます。



1 P2カードを挿入する

2 [REC] ボタンを押しながら [PLAY] ボタンを押す

P2カードアクセスランプがオレンジ色に点灯しているスロットに、記録を開始します。

3 [STOP] ボタンを押して記録を停止する

■ 記録音量調整について

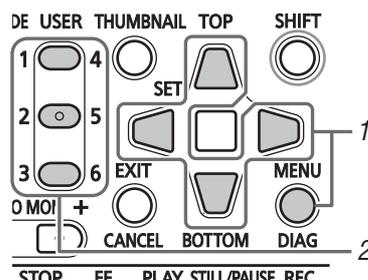
メニュー「SETUP」-「AUDIO」-「INPUT SEL」にて、音声入力にアナログ入力「ANALOG」を選択しているときに、REC VOLUME([USER] ボタンへ定義)を押すと、CH1、CH2の記録音量のレベルがレベルメーターの上に表示されます。続けて[上]/[下] 十字カーソルボタンを押すとCH1/CH2のレベル設定表示となります。それぞれのレベルは[左]/[右] 十字カーソルボタンで調整できます。

UNITYレベルへ戻すには[RESET] ボタンを押します。

[SET] ボタン、[EXIT] ボタンを押すと通常表示へ戻ります。

■ 記録スロットの変更について

記録停止中に記録対象のスロットを変更することができます。



1. メニュー「SETUP」-「USER BUTTON」で、[USER] ボタンに「SLOT SEL」機能を割り当てる

(→設定メニュー「USER BUTTON」70 ページ)

2. 記録停止中に、[USER] ボタンを押す。

押すたびに記録スロットが変更されます。

◆NOTE:

- 記録対象のP2カードに切り替えを行った直後などでSLOT SELECTが行えなかった場合は、メニュー「SETUP」-「DISPLAY」-「OSD TC SELECT」を「T&S&M」にしているときに、OSDの3行目に「SLOT SEL INVALID」と表示します。

さまざまな記録

■ ホットスワップ記録

2つのP2カードスロット両方にP2カードを装着すれば、2枚のカードにわたって連続記録することができます。また、1枚を記録中にもう片方のカードを差し替えて、3枚以上のカードに連続記録することもできます(ホットスワップ記録)。

◆NOTE:

- 空きスロットにP2カードを挿入するタイミング(2つのスロットにわたって連続記録するときの前後)によって、P2カードの認識が遅くなり、ホットスワップ記録ができない場合があります。P2カードを挿入する際は、現在記録中のカードの残量が1分以上の状態で行うことを推奨します。
- 本機はホットスワップ再生に対応していません。

■ LOOP REC

P2カードスロットに2枚のP2カードが挿入されているとき、順次記録対象カードを切り替えながら連続記録する機能が「LOOP REC」です。P2カードの記録残量がなくなった時点で最初に戻って、古い記録を消去しながら新規に記録を行うことにより、継続的な記録が可能となります。

LOOP REC機能を使用するには、メニュー「SETUP」-「BASIC」-「LOOP REC」を「ON」にしてください。

◆NOTE:

- 電源をOFFにすると、次回電源投入時にLOOP REC機能は「OFF」になりますのでお気をつけください。
- LOOP RECには、1分以上の記録残量があるP2カードをご使用ください。
- LOOP REC中は、記録に使用するP2カードのP2カードアクセスランプが、すべてオレンジ色に点灯します。これらのP2カードを抜くと、LOOP RECは停止しますのでお気をつけください。
- メニュー「SETUP」-「BASIC」-「LOOP REC」が「ON」のときは、OSDの1行目に「LOOP」と表示されます。ただし「LOOP REC」が「ON」のときでも、カードが1枚しか挿入されていなかったり、カードの記録残量が1分未満の場合、LOOP RECは機能しません。この場合、OSDの「LOOP」表示が点滅します。
- メニュー「SETUP」-「BASIC」-「LOOP REC」が「ON」のとき、P2カード残量は記録フォーマットに応じた標準的な記録保証時間を表示します。古い記録を消去した直後にLOOP RECを停止した場合、実際の残量は表示された時間より少なくなることがあります。
- LOOP REC中はショットマークの付加、削除はできません。
- LOOP REC中はテキストメモの付加はできません。
- VFR(バリアブルフレームレート)記録がONのときは、LOOP RECができません。

LOOP RECモードを終了するには

以下の2とおりの方法があります。

- 本機の[POWER] ボタンを2秒以上押し、電源をOFFにする。
- メニュー「SETUP」-「BASIC」-「LOOP REC」を「OFF」に設定する。

■ バリアブルフレームレート(VFR)記録

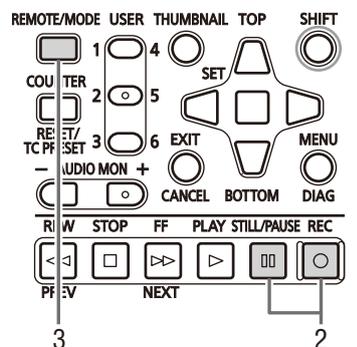
メニュー「SETUP」-「BASIC」-「VFR REC」を「ON」に設定すると、バリアブルフレームレートカメラのバリアブルフレーム出力から有効フレームのみを記録することができます。撮影時に意図したスロー/クイックのスピードエフェクトを、撮影したその場ですぐに確認できます。

◆NOTE:

- VFR機能は、メニュー「SETUP」-「SYSTEM」-「FORMAT」を「720p」に設定し、メニュー「SETUP」-「SYSTEM」-「FREQUENCY」を「59-23」または「60-24」に設定したときに有効になります。
- このモードではオーディオは記録されません。また、外部タイムコードを記録することはできません。
- 記録中は、記録対象のP2カードの切り替えはできません。
- このモードでのP2カード残量表示は、最も遅いスロースピードエフェクトの60p(50p)の残量値を表したものです。
- メニュー「SETUP」-「SYSTEM」-「FREQUENCY」が「59-23」、「60-24」に設定されている場合、入力するフレームレートが24p以外のときのHD SDI出力映像は、動きが不自然になる場合があります。
- バリアブルフレームレートカメラからの出力信号を記録中にフレームレートを変更すると、変更時にコマ落ちすることがあります。

■ AUTO REC

カメラとSDIで接続しているときにカメラのREC START / STOPに連動して自動的に記録を開始・停止させることができます。

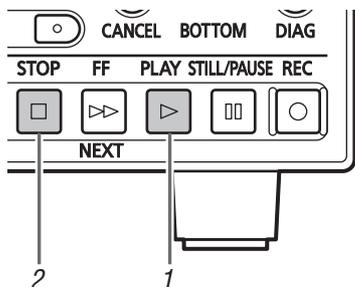


1. メニュー「SETUP」-「BASIC」-「AUTO REC」を使用するカメラに合わせる
(→設定メニュー「BASIC」-「AUTO REC」60 ページ)
2. 本機の[REC] ボタンと[STILL / PAUSE] ボタンを同時に押しREC PAUSEモードにする
3. [REMOTE / MODE] ボタンを押し、REMOTEにするカメラのREC START / STOPに連動して記録・停止を繰り返します。

クリップを再生する

再生する

再生する前に、メニューで再生する周波数やフォーマット、入力信号などを設定します。(→設定メニュー「SYSTEM」72ページ)



1 [PLAY] [▶] ボタンを押す

再生が始まります。再生はクリップの記録順に再生されます。

◆NOTE:

- [PLAY] [▶] ボタンの代わりに、[REW] [◀] ボタンを押すと早戻し再生、[FF] [▶▶] ボタンを押すと早送り再生を行います。
- 異なった圧縮記録フォーマット(DVCPRO HD、DVCPRO50、DVCPRO、DV、AVC-Intra 50、AVC-Intra 100)を再生すると、クリップとクリップの間で映像・音声が乱れることがあります。
- 同じフォーマット映像で音声ビット数が異なったクリップを連続再生すると、クリップ間の音声がミュートになります。
- [PLAY] [▶] ボタンを使った通常再生以外で、音声が24ビットのクリップを再生すると、音声は16ビットとなります。

2 [STOP] [□] ボタンを押す

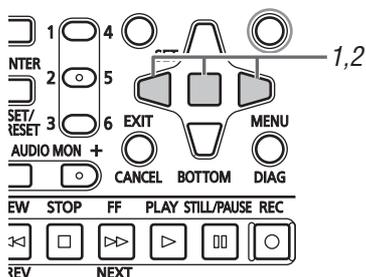
再生が停止し入力画(EE)が表示されます。

◆NOTE:

- 停止時の画面を停止した位置の画(PB画)にするにはメニュー「SETUP」-「BASIC」-「STOP EE SEL」を「PB」にしてください。(→設定メニュー「BASIC」-「STOP EE SEL」60ページ)

可変速再生

再生速度を変えて、場面を探ることができます。



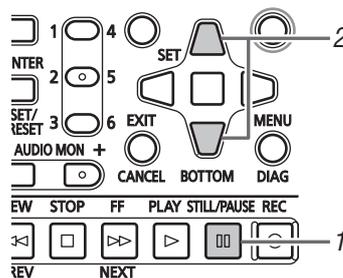
1 再生、STILL中に、[左] / [右] 十字カーソルボタンを押す

高速またはスロー再生となり、SHTL +/- 「速度」が表示されます。

2 [左] / [右] 十字カーソルボタンを押して、再生速度を切り替える

- ボタンを押すごとに再生速度が変化します。可変速度の最大値はメニュー「SETUP」-「BASIC」-「SHUTTLE MAX」の設定値(→設定メニュー「BASIC」-「SHUTTLE MAX」61ページ)に従います
 - 10倍速より速い速度では音声は再生されません。
 - [右] 十字カーソルボタンで正方向に速度を変化させ、[左] 十字カーソルボタンで逆方向に速度を変化させます。
 - [STILL / PAUSE] [⏸] ボタンや[SET]ボタンを押すと速度0状態になります。通常の再生に戻すには、[PLAY] [▶] ボタンを押します。
- ネイティブ記録された素材の可変速再生(X1倍速を含む)では、プルダウンシーケンスが均一でないときがあります。

コマ送り再生



1 [STILL/PAUSE] [⏸] ボタンを押して、静止画状態にする

2 [上] / [下] 十字カーソルボタンを押す

- [上] 十字カーソルボタンで正方向に、[下] 十字カーソルボタンで逆方向にコマ送りします。
- 十字カーソルボタンを押し続けると、連続してコマ送りします。通常の再生に戻すには、[PLAY] [▶] ボタンを押します。

クリップおよびテキストメモ送り/ 戻し

1 再生、静止画中等映像が出ている状態にする

2 [PREV]または[NEXT]を押す

メニュー「SETUP」-「BASIC」-「SEEK POS SEL」の設定値
 (→設定メニュー「BASIC」-「SEEK POS SEL」61 ページ)
 に従い、クリップ先頭やテキストメモ位置に移動します。

クリップ再生の全体遷移

本機では映像・音声の再生速度を可変することができます。速度や状態の動かし方は以下の図のとおりです。

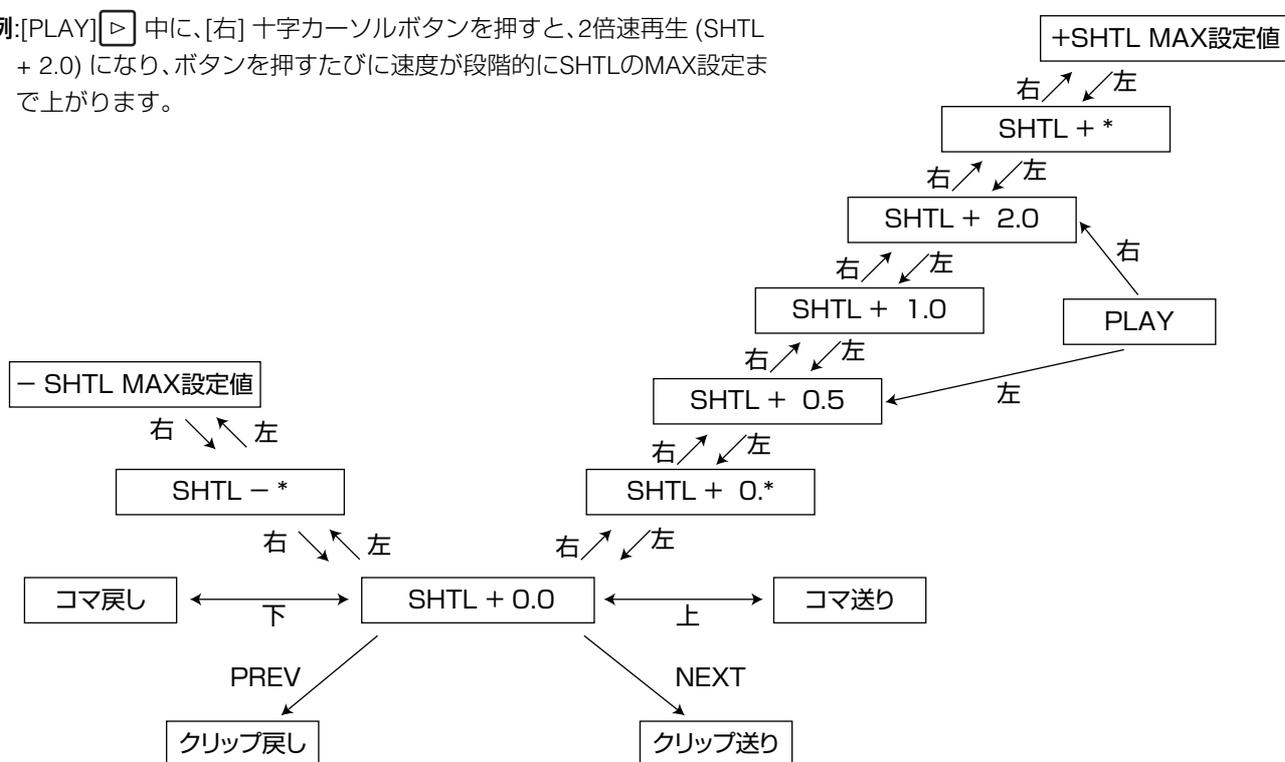
枠内: 状態と速度

矢印: 遷移可能な方向

矢印文字: カーソルボタン操作

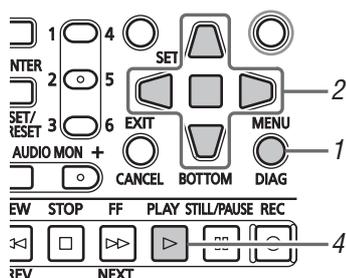
- 図表の*は、段階的に変わる速度を表します。

例:[PLAY]  中に、[右] 十字カーソルボタンを押すと、2倍速再生 (SHTL + 2.0) になり、ボタンを押すたびに速度が段階的にSHTLのMAX設定まで上がります。



リピート再生

再生可能なクリップを繰り返して再生します。



1 [MENU]を押す

2 メニュー「SETUP」-「BASIC」-「REPEAT PLAY」を「ON」に設定する

3 メニューを閉じる

4 [PLAY] ボタンを押して再生を始める。

すべてのクリップを繰り返し再生します。

- [STOP]  ボタンが押されるまで、繰り返し再生を行います。
- 可変速再生など、通常再生以外の動作では、繰り返し再生を行わず、再生可能なクリップの始端 (BOS) または終端 (EOS) で停止します。
- リピート再生時は、OSDの動作状態に「REPEAT」と表示されます。

サムネール画面

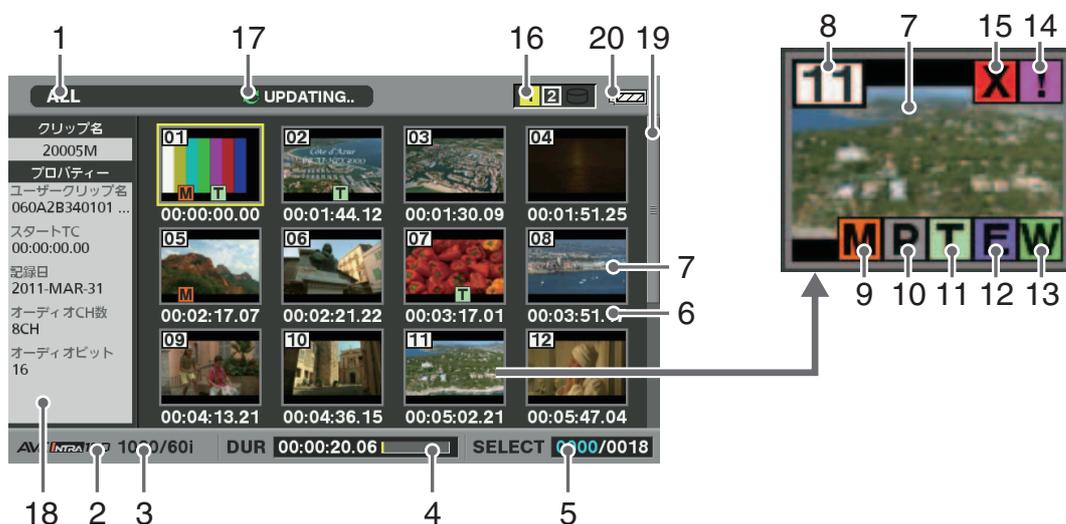
サムネール画面では

- クリップのサムネールや各種情報、P2カードの状態などの表示
- P2カードのクリップの再生
- ストレージ機器内のクリップの簡易再生
- クリップのコピーや削除
- P2カードのフォーマットなどを行うことができます。

◆NOTE:

- サムネール画面やサムネール画面からの再生中に記録を行うことはできません。[THUMBNAIL] ボタンを押してサムネール画面を閉じた後、録再画面から記録を行ってください。

サムネール画面の各部の名称とはたらき



1. 表示状態

画面に表示されている情報の種類が、以下のように表示されます。

ALL:	すべてのクリップ
SAME FORMAT:	システムフォーマットと同じフォーマットのクリップ
SELECT:	SETボタンで選択したクリップ
MARKER:	ショットマークが付加されたクリップ
TEXT MEMO:	テキストメモデータが付加されたクリップ
SLOT n:	n番スロットのP2カード内のクリップ
PROPERTY:	クリップの詳細情報
P2 / REMAIN:	メディア情報(残量表記)
P2 / USED:	メディア情報(使用量表記)
META DATA:	設定されたメタデータ

表示の切り替え方法

(→「サムネール画面の表示の変更」12 ページ)

2. 記録モード

カーソル位置のクリップの記録モードが表示されます。

3. システムフォーマット

カーソル位置のクリップの記録フォーマットが表示されます。

4. デュレーション

カーソル位置のクリップの長さ(デュレーション)とクリップの長さに対して現在の概略再生位置が表示されます。

再生位置表示は、メニュー「SETUP」-「THUMBNAIL」-「PB POSITION」で、「RESUME」が選択されているときに有効です。

(→設定メニュー「THUMBNAIL」-「PB POSITION」58 ページ)

再生開始位置が先頭でない場合に、概略の再生位置がわかります。

5. クリップ選択数

選択されたクリップの数と全クリップ数が表示されます。

6. 時間表示

クリップの記録開始時のTC(タイムコード) / UB(クリップの記録開始時のユーザズビット) / 撮影時刻 / 撮影日 / 撮影日時 / クリップ名 / ユーザークリップ名 / スロット番号のいずれかが表示されます。
(→「サムネール画面の表示の変更」12 ページ)

7. サムネール

各クリップに記録されたサムネールを表示します。このサムネールはEXCH.THUMBNAIL機能を使用して変更をすることができます。
(→「サムネール画面の表示の変更」12 ページ)

8. クリップ番号

通常は記録日時が早い順に、P2カード上のクリップに割り当てた番号が表示されます。再生できないクリップは、クリップ番号が赤色で表示されます。表示順は選択順クリップ表示やSORT機能を使用して変更をすることができます。
(→「サムネール画面の表示の変更」12 ページ)

9. **M** ショットマークインジケータ

ショットマークが、付加されたクリップに表示されます。

10. **P** プロキシインジケータ

AG-HPX375やAJ-HPX3100などのカメラで記録したプロキシが、付加記録されているクリップに表示されます。

◆NOTE:

- 本機ではプロキシは記録できません。

11. **T** テキストメモインジケータ

テキストメモデータが、付加されているクリップに表示されます。

12. **E** エディットコピーインジケータ

エディットコピーしたクリップなどに表示されます。

13. **W** ワイドインジケータ

16:9の画角で記録されたクリップに表示されます。ただしHDフォーマットのクリップのときは表示されません。

14. **I** 不完全クリップインジケータ

複数のP2カードにまたがって記録されているにもかかわらず、そのうちのいずれかのP2カードが、P2カードスロットに挿入されていないときなどに表示されます。

15. **X** 不良クリップ・**?** 不明クリップインジケータ

記録中に電源が切れるなどの原因で、記録に不具合のあるクリップに表示されます。黄色の不良クリップインジケータ(**X**)が表示されたクリップは、修復が可

能な場合があります。

(→「不良クリップの修復」19 ページ)

赤色の不良クリップインジケータ(**X**)が表示されたクリップは、修復できませんので削除してください。削除できないときは、P2カードをフォーマットしてください。

P2規格のフォーマットなどが異なるクリップのときは、**X**の代わりに**?**が表示されます。

16. P2カードスロット・ストレージデバイスの状態表示

P2カードおよびストレージデバイスの接続の状態が、以下のように表示されます。



1~**2** P2カードが挿入されているP2カードスロット番号が白色で表示されます。

1 カーソル位置のクリップが記録されているP2カードのP2カードスロット番号が、黄色で表示されます。クリップが複数のP2カードにまたがって記録されているときは、そのクリップが記録されたカードのスロット番号すべてが表示されます。

◆NOTE:

挿入されたP2カードが以下のような場合に、枠がピンク色になります。

- 「RUNDOWN CARD」
P2カードの規定の書き換え回数を超えた場合
- 「DIR ENTRY NG CARD」
P2カードのディレクトリー配置が不正な場合



(灰色)

ストレージデバイスが非接続のとき、灰色で表示されます。



(白色)

ストレージデバイスが使用可能のとき、白色で表示されます。



(黄色)

ストレージデバイスのクリップがサムネール表示されているとき、黄色で表示されます。



(赤色)

ストレージデバイスが接続されているが、使用可能な状態でないときに赤色で表示されます。

17.状態メッセージ

処理状態を示すメッセージが表示されます。たとえば、画面更新中には「UPDATING」の文字と回転するアイコンが表示されます。

18.簡易プロパティ表示

カーソル位置のクリップの各種プロパティを表示します。表示する項目はメニューから選択できます。
(→「プロパティ表示する項目の設定」14 ページ)

◆NOTE:

- 表示できる文字数以上の文字がある場合はすべて表示されずに表示可能な文字のみを表示します。

19.サムネールスクロールバー

現在表示しているサムネールが、サムネール全体のどの辺りかを示します。

20.バッテリー残量表示

バッテリーの残量が少なくなるにつれ、以下のように表示が変わります。



容量がなくなると (または ) が赤色の表示になります。

ACアダプター使用時に 以外が表示される場合がありますが、問題ありません。

サムネール画面の表示の変更

使用状況に応じてサムネール画面をカスタマイズし、効率よく操作を行うことができます。

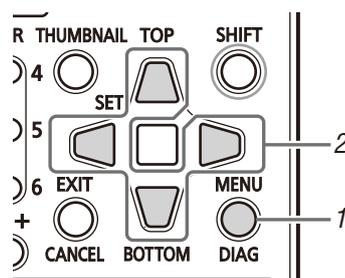
<例>

- メニュー「SETUP」-「THUMBNAIL」を以下のように設定します。
「INDICATOR」を「ALL HIDE」に設定
「DATA DISPLAY」を「CLIP NAME」に設定
「THUMBNAIL SIZE」を「LARGE」に設定
- メニュー「THUMBNAIL」を「SELECTED CLIPS」に設定します。

サムネール画面表示例



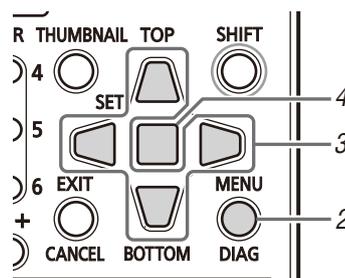
サムネールなどのOSD画面出力の設定



1 [MENU] ボタンを押す

2 [上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンで、メニュー「SETUP」-「DISPLAY」-「OSD OUTPUT」にて、サムネールなどのOSD画面を表示する出力 (LCD、VIDEO OUT端子、SDI OUT端子) を選択する

表示するサムネールの設定



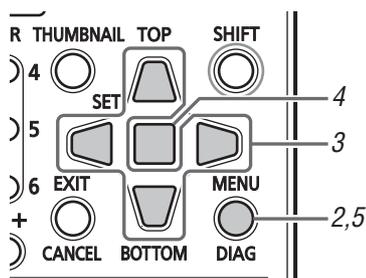
1 サムネール画面を表示する

2 [MENU] ボタンを押す

3 [上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンで「THUMBNAIL」の下にある、表示したいクリップの種類にカーソルを合わせる
(→設定メニュー「THUMBNAIL」57 ページ)

4 [SET] ボタンを押す

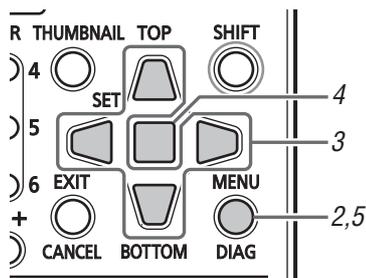
表示するサムネールの大きさ設定



- 1 サムネール画面を表示する
- 2 [MENU] ボタンを押す
- 3 [上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンで、メニュー「SETUP」 - 「THUMBNAIL」 - 「THUMBNAIL SIZE」にて、表示したいサムネールの大きさにカーソルを合わせる
(→設定メニュー「SETUP」 - 「THUMBNAIL」 57 ページ)
- 4 [SET] ボタンを押す
- 5 [MENU] ボタンを押して、処理を終了する

サムネール下の項目の設定

用途に合わせ、サムネールの表示方法をカスタマイズできます。



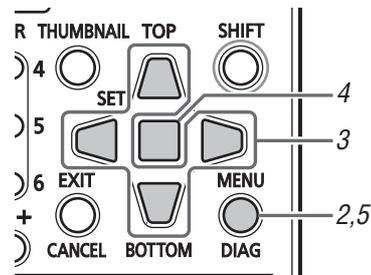
- 1 サムネール画面を表示する
- 2 [MENU] ボタンを押す
- 3 [上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルで、メニュー「SETUP」 - 「THUMBNAIL」 - 「DATA DISPLAY」にて、設定したい項目にカーソルを合わせる
設定したい項目を選択し、必要に応じて設定を変更します。
(→設定メニュー「THUMBNAIL」 - 「DATA DISPLAY」 57 ページ)

- 4 [SET] ボタンを押す

- 5 [MENU] ボタンを押して、処理を終了する

年月日の表示順の設定

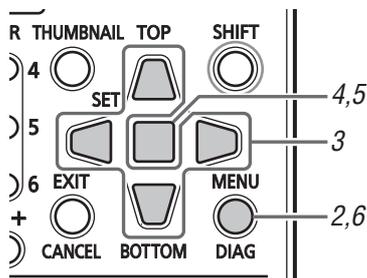
各年月日表示の“年”・“月”・“日”の表示順を変更することができます。



- 1 サムネール画面を表示する
- 2 [MENU] ボタンを押す
- 3 [上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンで、メニュー「SETUP」 - 「THUMBNAIL」 - 「DATE FORMAT」にて、設定したい項目にカーソルを合わせる
設定したい項目を選択し、必要に応じて設定を変更します。
(→設定メニュー「THUMBNAIL」 - 「DATA DISPLAY」 57 ページ)
- 4 [SET] ボタンを押す
- 5 [MENU] ボタンを押して、処理を終了する

プロパティ表示する項目の設定

サムネールの左側に表示される簡易プロパティ項目を設定します。



1 サムネール画面を表示する

2 「MENU」ボタンを押す

3 [上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンで、メニュー「SETUP」 - 「THUMBNAIL」 - 「PROPERTY DISP.」にカーソルを合わせる

4 [SET] ボタンを押し項目メニューに入る
選択されている項目にはチェックマークが付いています。

5 [SET] ボタンを押し、表示したい項目にチェックを付ける
[SET] ボタンを押すと、未チェックの項目はチェックされ、チェック済みの項目はチェックが外れます。

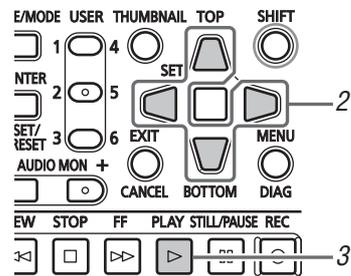
◆NOTE:

- 同時に表示できる項目数は最大6項目です。
- 6項目選択した段階で残りの未チェック項目はすべて選択不可となります。チェック済みの項目を未チェック状態に戻すことで再び項目の変更が可能になります。

6 [MENU] ボタンを押して、処理を終了する

クリップの再生

再生する



1 サムネール画面を表示する

2 [上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンで、再生したいクリップにカーソルを合わせる



3 [PLAY] [▶] ボタンを押す

カーソルを合わせたクリップから、再生が始まります。カーソルを合わせたクリップの再生が終わると、それ以降のクリップが順に再生され、最後のクリップの再生が終わるとサムネール画面に戻ります。

◆NOTE:

- クリップを再生するときには、クリップを選択(サムネールに水色の枠が表示された状態)する必要はありません。
- サムネール表示設定を変更して、指定したスロットのクリップだけを再生したり、テキストメモが挿入されたクリップだけを再生したりすることができます。
- クリップの再生順を変えることができます。
 - 1 再生したい順番にクリップを選択します。
 - 2 メニュー「THUMBNAIL」 - 「SELECTED CLIPS」を選択すると、サムネールが選択した順に選択したクリップのみの表示に切り替わります。
- [PLAY] [▶] ボタンの代わりに[STILL / PAUSE] [00] ボタンを押すと、クリップの先頭フレームの映像が静止画として表示されます。
- クリップ番号が赤色に表示されたクリップは、再生できません。
- [PLAY] [▶] ボタンの代わりに、[REW] [◀] ボタンを押すと早戻し再生、[FF] [▶] ボタンを押すと早送り再生が行えます。
- クリップの再生中に[STOP] [◻] ボタンを押すと、再生を停止してサムネール画面に戻ります。

- 再生を停止すると、カーソル位置は停止直前に再生していたクリップに移動します。
- 異なった映像フォーマット(1080i、720p)や異なった圧縮記録フォーマット(DVCPRO HD、DVCPRO50、DVCPRO、DV、AVC-Intra 50、AVC-Intra 100)を再生すると、クリップとクリップの間で映像・音声がかかります。
- 映像が同じフォーマットで音声ビット数が異なったクリップを連続再生すると、クリップ間で音声はミュートになります。
- 音声は24ビットのクリップを[PLAY]  ボタンを使った通常再生以外で再生すると、音声は16ビットとなります。
- サムネール画面をテキストメモ表示に変更すると、テキストメモ位置からの再生を行うことができます。(→「テキストメモ位置から再生する」このページ)
- サムネールから再生するときの再生開始位置は、メニュー「SETUP」-「THUMBNAİL」-「PB POSITION」で設定できます。(→設定メニュー「THUMBNAİL」-「PB POSITION」58ページ)

単一クリップを再生する

[USER] ボタンに「ONE CLIP PLAY」を割り当てている場合、[USER] ボタンを押すと、カーソル位置のクリップのみを再生することができます。

◆NOTE:

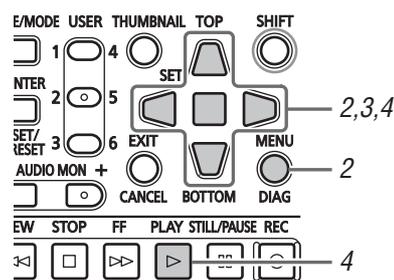
- 単一クリップの再生終了、あるいは[STOP]  ボタンを押したときは、再生が停止しサムネール画面に戻ります。このとき、カーソルは次のクリップに移動します。
- 単一クリップの再生中は、[STOP]  ボタン以外無効になります。
- 単一クリップの再生開始位置は、メニュー「PB POSITION」の設定に従います。
- サムネール画面から再生を行い、JOG / VAR / SHTLで静止画を表示しているときに、「ONE CLIP PLAY」を割り当てている [USER] ボタンを押すと、静止画の位置からクリップの最後まで再生することができます。(→設定メニュー「USER BUTTON」70ページ)

可変速およびコマ送り再生などを行う

録再画面と操作は同じです。

(→「可変速再生」8ページ、「コマ送り再生」8ページ)

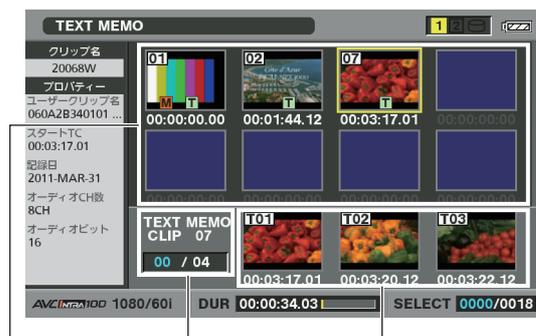
テキストメモ位置から再生する



1 サムネール画面を表示する

2 [MENU] ボタンを押し、「THUMBNAİL」-「TEXT MEMO CLIPS」を選択する

液晶モニター上段には、テキストメモが付加されたクリップのサムネールが表示されます。液晶モニター下段には、カーソルで選択されているクリップのテキストメモに関する情報が表示されます。



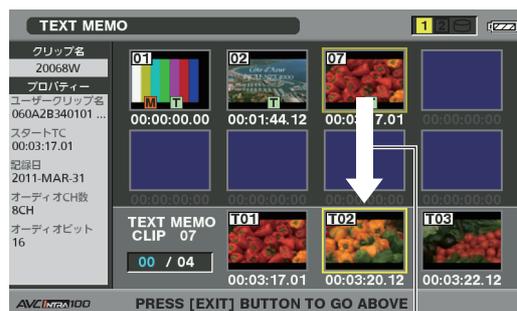
サムネール表示部
テキストメモクリップの
選択数(青色)と総数
(白色)を表示
テキストメモが関連付けられ
た静止画像を表示

◆NOTE:

- メニュー「SETUP」-「SYSTEM」-「FREQUENCY」設定と異なるAVC-Intraクリップでは、テキストメモクリップの表示時に、下段に表示されるテキストメモ位置のサムネールが表示されずに  が表示される場合があります。

3 再生したいテキストメモのあるクリップにカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す

カーソルが液晶モニター下段に移ります。



カーソルが移動します。

4 カーソルが下段にある状態のまま、[左] / [右] 十字カーソルボタンで、カーソルを再生したいテキストメモのサムネールに合わせ、[PLAY] ボタンを押す

カーソルが合わされたテキストメモのタイムコード位置から再生します。再生中に[STOP]  ボタンを押して止めたり、クリップの終端で再生が終了したりすると、サムネール画面に戻り、再生を開始したテキストメモのサムネールにカーソルは戻ります。[EXIT] ボタンを押すと、カーソルがサムネール画面の上段に戻ります。

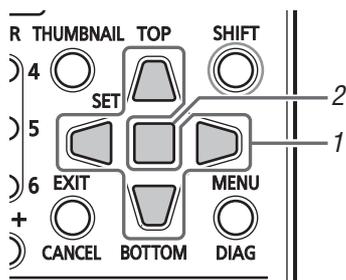
◆NOTE:

- 再生中は[STOP]  ボタン以外の操作は無効になります。

クリップの選択と解除

サムネール画面で操作を行うとき、操作の対象となるクリップを選択します。

クリップの選択



1 [上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンで、黄色い枠(カーソル)を対象のクリップに合わせる

◆NOTE:

- [TOP] / [BOTTOM] ボタンを押すと、カーソルを先頭クリップ / 最終クリップへ移動できます。

2 [SET] ボタンを押す

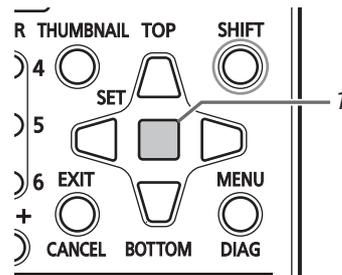
カーソルを合わせたクリップに水色の枠が表示され、選択状態になったことを表します。



◆NOTE:

- 手順1~2の操作を繰り返すと、複数のクリップを選択できます。
- クリップを選択した後、別のクリップにカーソルを移動し、[SHIFT] ボタンを押しながら[SET] ボタンを押すと、直前に選択したクリップからカーソル位置までのクリップをまとめて選択できます。
- クリップを選択すると、選択数に応じて画面右下のクリップ選択数表示部の選択数が更新されます。

クリップの選択解除



1 選択状態のクリップにカーソルを合わせ、再度[SET] ボタンを押す

選択が解除されます。

◆NOTE:

- [CANCEL] ボタンを押すと、選択状態のクリップを一括して選択解除できます。

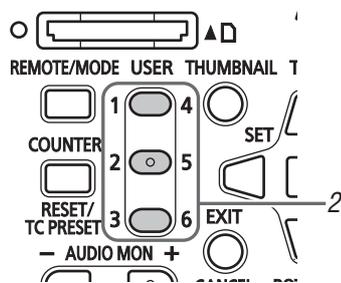
テキストメモやショットマークを付加する

クリップの特定の箇所を区別するために、クリップにテキストメモを付加することができます。また、他のクリップと区別するために、クリップにショットマークを付加することができます。ただし、書き込み禁止スイッチがPROTECTになっているP2カードのクリップには付加できません。

テキストメモを付加する

テキストメモを付加すると、テキストメモ位置のサムネールを表示して再生やコピーを行ったり、映像を再生中に[NEXT]/[PREV] ボタンを押して、テキストメモの位置にシーク(移動)することができます。

(→設定メニュー「BASIC」60 ページ)



1 任意の[USER] ボタンに「TEXT MEMO」を割り当てる

出荷時はUSER3に割り当てられています。

(→設定メニュー「USER BUTTON」-「USER3」71 ページ)

2 記録・再生・サムネール表示中に「TEXT MEMO」を割り当てた[USER] ボタンを押す

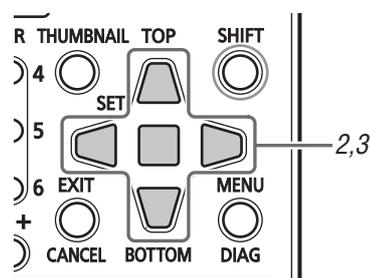
- 記録・再生中にこのボタンを押すと、押したときの位置にテキストメモが付加されます。このときOSDに「TEXT MEMO」(成功時)または「INVALID」(付加できないとき)が表示されます。
- サムネール画面を表示中にこのボタンを押すと、クリップのサムネール(通常は先頭)の位置にテキストメモが付加されます。

◆NOTE:

- テキストメモは、1クリップに最大100個付加できます。
- 再生中に「TEXT MEMO」に設定した[USER] ボタンを押したときに、再生画が一瞬止まる場合がありますが故障ではありません。
- LOOP REC中、または、メニュー「SETUP」-「BASIC」-「VFR REC」設定が「ON」での記録中は、テキストメモの記録はできません。

テキストメモを削除する

サムネール画面をテキストメモ表示に変更すると、テキストメモの削除を行うことができます。



1 サムネールをテキストメモ表示に変更する

2 [上]/[下]/[左]/[右] 十字カーソルボタンでテキストメモを削除するサムネールへ移動し、[SET] ボタンを押す

カーソルが下段に移ります。

3 削除したいテキストメモのサムネールで[SET] ボタンを押して選択した後に、メニュー「OPERATION」-「DELETE」で[SET] ボタンを押す

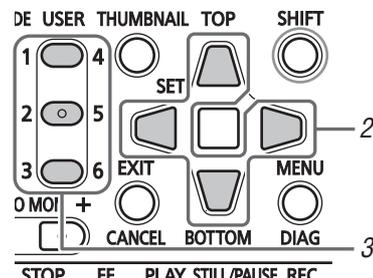
[USER] ボタンに「DELETE」を割り当てている場合は、メニュー選択の代わりに[USER] ボタンを押すことで削除をすることもできます。

4 確認メッセージで「YES」を選択する

テキストメモが削除されます。

ショットマークを付加する

ショットマークを付加すると、マーカが表示されるため他のクリップと区別することができます。



1 任意の[USER] ボタンに「MARKER」を割り当てる

出荷時はUSER6に割り当てられています。

(→設定メニュー「USER BUTTON」-「USER6」71 ページ)

2 [上]/[下]/[左]/[右] 十字カーソルボタンで、対象のクリップにカーソルを合わせる

3 「MARKER」を割り当てた[USER] ボタンを押す
ボタンを押すたびにショットマークインジケータの
「ON」/「OFF」が切り替わります。

◆NOTE:

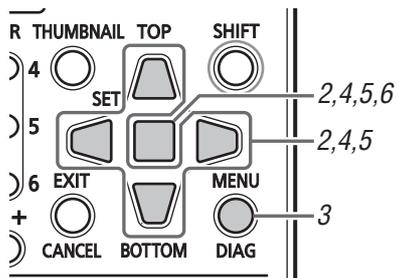
- 録再画面でもボタンを押した場所のクリップにショットマークは付加されます。
- 複数のP2カードにまたがるクリップに対してショットマークを付加または削除するときは、そのクリップが記録されたすべてのP2カードを挿入した状態で行ってください。
- LOOP REC中は、ショットマークの付加、削除はできません。

クリップをコピーする

クリップをP2カードやUSB接続のストレージデバイスにコピーできます。

◆NOTE:

- コピー中に電源をOFFにしたり、カードを抜き差ししたりしないでください。不良クリップができます。
- 不良クリップができてしまった場合は、クリップを削除してから、再度コピーを行ってください。
- 不完全クリップは連結した後でコピーしてください。



1 サムネール画面を表示する

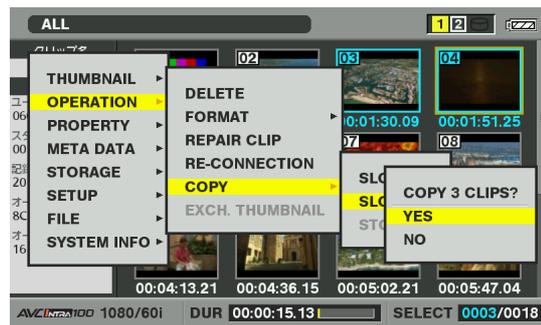
2 コピーするクリップを選択する

3 [MENU] ボタンを押す

4 メニュー「OPERATION」- 「COPY」のリストからコピー先にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す

- 複数のクリップを選択していたときは、[SET] ボタンを押した後に選択しているクリップ数が表示されます。
- コピー先がストレージデバイス(→「USB HOST端子で外部機器と接続する」27 ページ)の場合は、コピー先の詳細を選択します。
- [USER] ボタンに「COPY」を割り当てている場合は、メニュー選択の代わりに[USER] ボタンを押すことでコピーをすることもできます。

5 確認メッセージで「YES」にカーソルを合わせ、
[SET] ボタンを押す
クリップのコピーが開始されます。



◆NOTE:

- 途中でコピーを中止するには、[SET] ボタンまたは[CANCEL] ボタンを押してキャンセルしてください。途中でコピーされたコピー先のクリップは削除されます。
- コピー先に以前コピーするなどした同一クリップ (GLOBAL CLIP IDが同じ)が存在するときは、「OVERWRITE」と表示されます。上書きを行うときは「YES」を、コピーを行わないときは「NO」を選択し、[SET] ボタンを押してください。

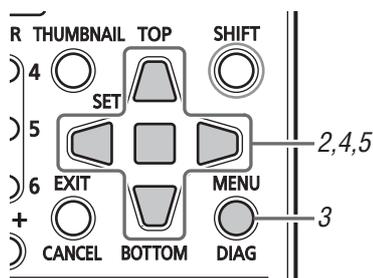
6 完了メッセージが表示されたら[SET] ボタンを押す

◆NOTE:

- 以下のエラーメッセージが表示されたときは、コピーは行われません。
 - 「LACK OF CAPACITY」
コピー先の記録容量が不足しているため、コピーは行われません。
 - 「UNKNOWN CONTENTS FORMAT!」
選択したクリップに不良クリップが含まれているため、コピーは行われません。
 - 「NO COPY TO SAME CARD!」
同一カードへコピーしようとしたため、コピーは行われません。
 - 「TOO MANY CLIPS!」
選択したクリップが多すぎるため、コピーは行われません。
- テキストメモ下段でテキストメモ選択中にコピーを行うと、選択したテキストメモ位置とその次にあるテキストメモの区間をコピーします。選択したテキストメモの後ろにテキストメモがない場合は、クリップの最後までをコピーします。

クリップを削除する

不要なクリップは、以下の操作でP2カードから削除できます。



- 1 サムネール画面を表示する
- 2 削除するクリップを選択する
- 3 [MENU] ボタンを押す
- 4 [上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンで、メニュー「OPERATION」 - 「DELETE」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す
- 5 確認メッセージで「YES」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す
選択したクリップがすべて削除されます。

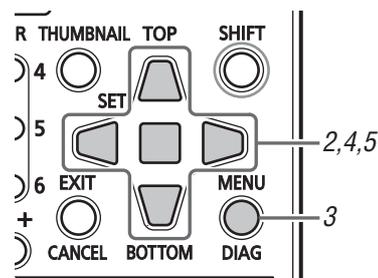
◆NOTE:

- [USER] ボタンに「DELETE」を割り当てている場合は、メニュー選択の代わりに [USER] ボタンを押すことで削除することもできます。
- 途中で削除を中止するには、[SET] ボタンまたは [CANCEL] ボタンを押してキャンセルしてください。ただし途中まで削除されたクリップはキャンセルしても戻りません。

クリップを修復・連結する

不良クリップの修復

記録中、急に電源が切れるなどの原因で発生した、不具合のあるクリップには不良クリップインジケータ(黄色の **X**)が表示されます。不具合のあるクリップは、以下の操作で修復できます。



- 1 サムネール画面を表示する
- 2 修復する不良クリップを選択する
- 3 [MENU] ボタンを押す
- 4 [上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンで、メニュー「OPERATION」 - 「REPAIR CLIP」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す
- 5 確認メッセージで「YES」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す
修復を行わない場合は「NO」を選択します。

◆NOTE:

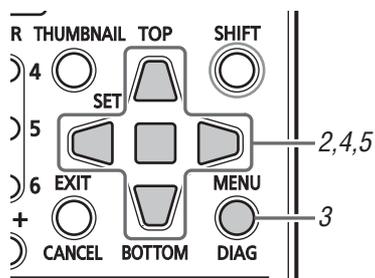
- 壊れ方によっては修復できないときがあります。そのときはインジケータ(赤色の **X**)が表示されます。

不完全クリップの連結

複数のP2カードにまたがって記録されているクリップが連続したクリップとして認識されず、不完全クリップ(❗インジケータ)になることがあります。このとき連結機能を使って、連続したクリップ(元の連結したクリップ)に復元することができます。

◆NOTE:

- 不完全クリップは以下のようなときにできます。
 - 複数のP2カードに記録されたクリップを、P2カードごとに別々にコピーしたとき。
 - 複数カードに記録されたクリップを、カードごとに別々にストレージデバイスへコピー後、P2カードへ書き戻したとき。
 - DVCPRO HDまたはAVC-Intra 100で約5分以上(DVCPRO50またはAVC-Intra 50では約10分、DVCPRO、DVIは約20分以上)の長いクリップをストレージデバイスへコピー後、P2カードに書き戻したとき。



1 サムネール画面を表示する

2 連結する不完全クリップを選択する

◆NOTE:

- 通常、不完全クリップインジケータ(❗)が表示されているサムネールは、並んで表示されています。

3 [MENU] ボタンを押す

4 [上]/[下]/[左]/[右] 十字カーソルボタンで、メニュー「OPERATION」-「RE-CONNECTION」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す

5 確認メッセージで「YES」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す

連結を行わない場合は「NO」を選択します。

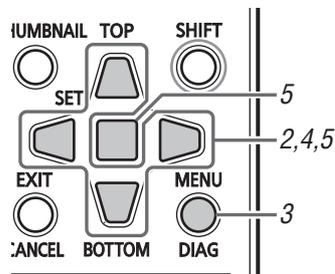
◆NOTE:

- 3つ以上に分かれた不完全クリップの一部分のクリップだけを連結しても、もとのクリップを構成するすべてのクリップを連結するまでは、不完全クリップインジケータ(❗)が付いたままになります。

クリップの情報を表示・修正する

クリップメタデータ情報の表示

クリップの詳細な情報を画面に表示して確認できます。



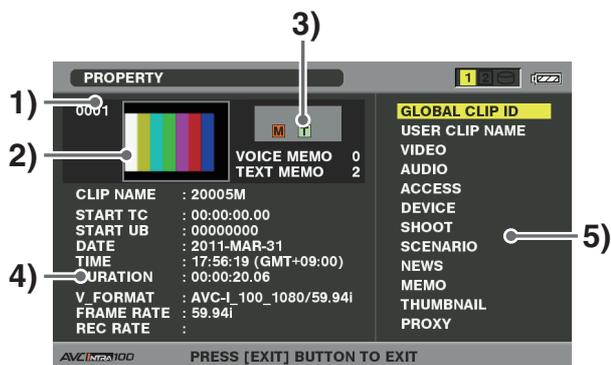
1 サムネール画面を表示する

2 [上]/[下]/[左]/[右] 十字カーソルボタンで、対象のクリップにカーソルを合わせる

3 [MENU] ボタンを押す

4 [上]/[下]/[左]/[右] 十字カーソルボタンで、メニュー「PROPERTY」-「CLIP PROPERTY」にカーソルを合わせて[SET] ボタンを押す

選択したクリップに関する情報が表示されます。



1)クリップ番号

2)サムネール

3)クリップ付加情報

クリップに挿入された各種インジケータ、付加されているテキストメモやボイスメモの数が表示されます。また、クリップが記録されたP2カードに、ライトプロテクトがかかけられているとき、🔒マークが表示されます。

◆NOTE:

- [V] ボイスメモ / インジケータ
ボイスメモが付加されたクリップに表示されます。クリッププロパティモードのときのみ表示されます。
- 本機ではボイスメモの記録 / 再生は行えません。

4)クリップ情報

以下の情報が表示されます。

CLIP NAME:	クリップ名
START TC:	記録開始時のタイムコード
START UB:	記録開始時のユーザズビットの値
DATE:	記録した日付
TIME:	記録開始時の時刻
DURATION:	クリップの長さ
V_FORMAT:	クリップの記録フォーマット
FRAME RATE:	再生フレームレート
REC RATE:	記録フレームレート

5)クリップメタデータ

クリップの詳細情報(クリップメタデータ)を参照するための項目が表示されます。

5 必要に応じてクリップメタデータの内容を参照する



[上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンでクリップメタデータの項目にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押すと、以下の情報が表示されます。

GLOBAL	グローバルクリップID
CLIP ID:	(同じ番号が他のクリップに付くことがない、世界で唯一の番号)
USER CLIP NAME:	ユーザーが付けることのできるクリップ名。通常はGLOBAL CLIP IDが入っています。
VIDEO:	ビデオ信号方式など (フレームレート、プルダウン、アスペクト比)
AUDIO:	オーディオの各チャンネル方式など (サンプリングレート、ビットレート)
ACCESS:	最終更新日など (作成者、作成日、最終更新日、最終更新者)
DEVICE:	記録した機器のメーカー名、シリアル番号、モデル名
SHOOT:	記録開始、終了した日付など (撮影者、撮影開始日、撮影終了日、高度、経度、緯度、撮影地情報源、撮影地)
SCENARIO:	番組名、シーンNo. など (プログラム名、シーン番号、テイク番号)

NEWS:	レポーター、取材目的および対象
MEMO:	テキストメモの番号、記録位置、メモ入力者、テキスト情報

◆NOTE:

- 位置については、先頭からのフレーム数で表します。
- テキスト内容は最大1000文字添付可能ですが、最大先頭の500文字が表示されます。
- テキスト番号は[左] / [右] 十字カーソルボタンで動かします。

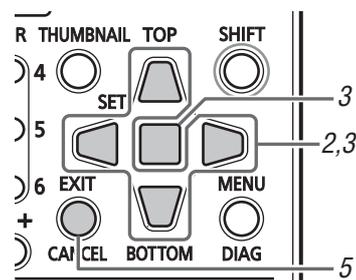
THUMBNAIL:	サムネールの元となる画像のフレーム位置(通常は先頭:0)やサムネールサイズ(幅、高さ)
PROXY:	プロキシデータに関する詳細情報 (フォーマット、ビデオコーデックなど)

◆NOTE:

- 太字はクリップメタデータの変更が可能です

クリップメタデータの変更

クリップのメタデータを変更することができます。



1 クリップのメタデータを表示する

2 [上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンで、修正したいメタデータにカーソルを合わせ、[SET] ボタン押す

変更可能なメタデータは、以下の図の「テキスト情報」のように表示されています。



- 3** [上]/[下]/[左]/[右] 十字カーソルボタンで、変更項目へ移動し、[SET] ボタンを押す
メタデータ変更の画面が表示されます。
(→「キーボードの利用」79 ページ)



4 変更終了後「OK」を選択する

変更したメタデータをクリップへ保存し、メタデータの表示へ戻ります。
「EXIT」を選択すると入力を取り消し、元へ戻ります。

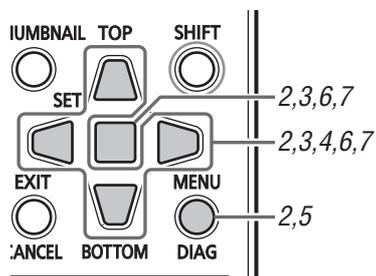
◆NOTE:

- 緯度および経度を削除する場合は、高度に空白を設定してください。単独では削除できません。
- インジケーターがついた不完全クリップは、メタデータを変更することができませんので、不足クリップの入ったP2カードを挿入してください。
- MEMO項目は、100文字以上添付されている場合は変更することができません。

5 [EXIT] ボタンを押して、処理を終了する

サムネールを変更する

テキストメモを付加している位置の画像にサムネールの変更を行うことができます。



1 変更したい映像にテキストメモを付加する

(→「テキストメモを付加する」17 ページ)

2 サムネール表示をテキストメモ表示に変更する

メニュー「THUMBNAIL」-「TEXT MEMO CLIPS」を選択します。

3 [上]/[下]/[左]/[右] 十字カーソルボタンで、変更す

るサムネールへ移動し、[SET] ボタンを押す
カーソルが下段に移ります。

4 変更したいサムネールに[左]/[右] 十字カーソルボタンで移動する

5 [MENU] ボタンを押す

6 [上]/[下]/[左]/[右] 十字カーソルボタンで、メニュー「OPERATION」-「EXCH.THUMBNAIL」にカーソルを合わせ[SET] ボタンを押す

7 確認メッセージで「YES」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す
メニューが閉じて、サムネールが変更されます。

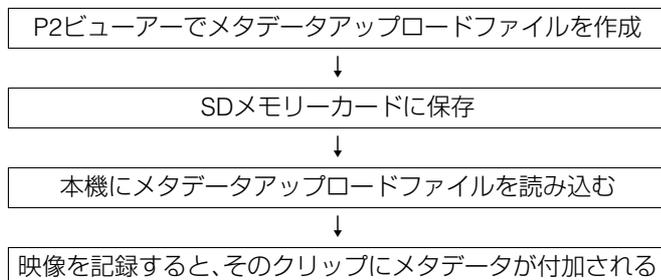


◆NOTE:

- クリップの情報表示の「THUMBNAIL」項目で、サムネールの変更位置(先頭からのフレーム数)を見ることができます。通常の先頭フレームのサムネールの場合は0と表示されます。
- サムネールを変更しても、サムネール画面からの再生はクリップの先頭からとなります。
- メニュー「SETUP」-「SYSTEM」-「FREQUENCY」設定と異なるAVC-Intraクリップでは、テキストメモクリップの表示時に、下段に表示されるテキストメモ位置のサムネールが表示されずに [T] が表示される場合があります。

クリップ記録時にメタデータを付加する

撮影者名やレポーター名、撮影場所、テキストメモなどの情報を記述したメタデータアップロードファイルを、SDメモリーカードに保存しておき、記録前に事前にそのファイルを読み込んでおくことで、クリップメタデータとして記録することができます。



メタデータアップロードファイルの準備

メタデータアップロードファイルは、パーソナルコンピューター上でP2ビューアーを使用して作成します。P2ビューアーはP2カードに記録されたクリップを、Windows PCで操作するためのアプリケーションソフトで、当社のWebサイトで無償配布しています。URLについては(→「[ウェブサイトURLについて](#)」2ページ)をご覧ください。P2ビューアーをパーソナルコンピューターにインストールし、メタデータアップロードファイルを作成してSDメモリーカードに書き込んでください。

◆NOTE:

- P2ビューアーは最新アップデート版をご使用ください。
- メタデータアップロードファイルの作成方法については、P2ビューアーのヘルプを参照してください。
- メタデータアップロードファイルは、本機でフォーマットしたSDメモリーカードに書き込んでください。(→「P2カード / SDメモリーカードをフォーマットする」25ページ)

メタデータを付加するための設定

■ メタデータの記録設定

クリップを記録するときに、読み込んだメタデータをクリップに付加するまたは付加しないを設定します。(→設定メニュー「META DATA」55ページ)

■ USER CLIP NAMEの記録方法の選択

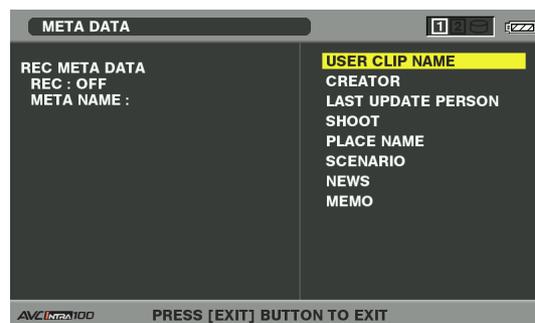
USER CLIP NAMEに記録するデータの種類を設定します。(→設定メニュー「META DATA」55ページ)
メニュー「META DATA」- 「USER CLIP NAME」と「META DATA」- 「RECORD」の組み合わせで記録されるデータが変わります。

記録方法	記録されるUSER CLIP NAME	
クリップメタデータ RECORD=ON	TYPE1	読み込んだメタデータ設定値
	TYPE2	読み込んだメタデータ設定値+カウンター値
クリップメタデータ RECORD=OFF	TYPE1	GLOBAL CLIP IDと同じ
	TYPE2	CLIP NAMEと同じ

■ カウンター値について

カウンター値は、4桁の数字で表示されます。カウンター値は、USER CLIP NAMEの記録方法を「TYPE2」に設定してクリップメタデータファイルを読み込んだとき、記録を行って新しいクリップを生成するたびに1ずつ増加します。カウンター値は、以下の操作でリセットできます。

1. [MENU] ボタンを押す
2. [上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンでメニュー「META DATA」- 「PROPERTY」のメタデータ画面から「USER CLIP NAME」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す



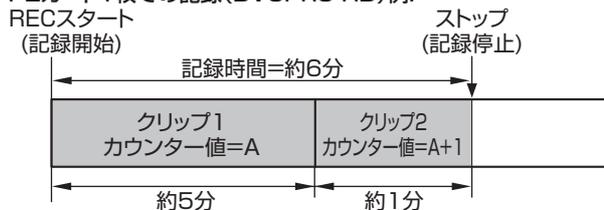
3. [上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンで「COUNT RESET」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す
カウンター値が1にリセットされます。
4. [EXIT] ボタンを押して、処理を終了する

4 GB超でのUSER CLIP NAMEのカウンター値インクリメントについて

以下の場合、1ショットが複数のクリップとして記録され、カウンター値も自動的に1ずつ増加して記録されます。

- 本機で8 GB以上のP2カードを使用して、1回の連続記録時間が一定時間を超えるとき。(→「4 GB超でのクリップの分割について」Vol.1 28ページ)
- 1回の記録がカードをまたいで記録されたとき。

P2カード1枚での記録(DVCPRO HD)例:



P2カード2枚でのまたぎ記録例:

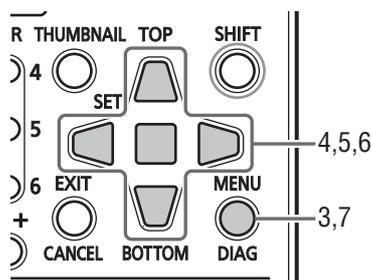


なお、P2機器でクリップのサムネイル表示およびプロパティ表示を行ったときは、クリップ1のサムネイルおよびカウンター値が表示されます。

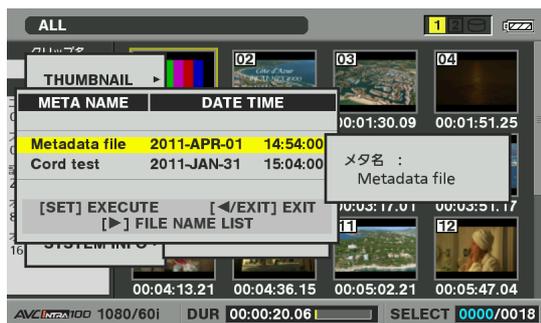
メタデータアップロードファイル

■ ファイルの読み込み

以下の操作でSDメモリーカードからメタデータ設定値を読み込みます。



1. メタデータアップロードファイルを保存しているSDメモリーカードを本機に挿入する
2. サムネイル画面を表示する
3. [MENU] ボタンを押す
4. [上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンで、メニュー「META DATA」 - 「LOAD」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す



SDメモリーカード内のメタデータアップロードファイルのメタデータ名が表示されます。

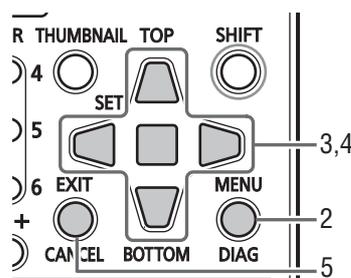
◆NOTE:

- メタデータ名を表示中に[右]十字カーソルボタンを押すとファイル名の表示に切り替えることができます。[左]十字カーソルボタンを押すとメタデータ名の表示へ戻ります。
- ファイルの一覧表示のメタデータ名にASCII表示文字以外は表示されず「*」で表示されます。ただしカーソルをファイルに合わせると右側に日本語で表示できます。

5. [上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンで、読み込むファイルにカーソルを合わせて、[SET] ボタンを押す
6. 確認メッセージで「YES」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す
メタデータが読み込まれます。
7. [MENU] ボタンを押して、処理を終了する

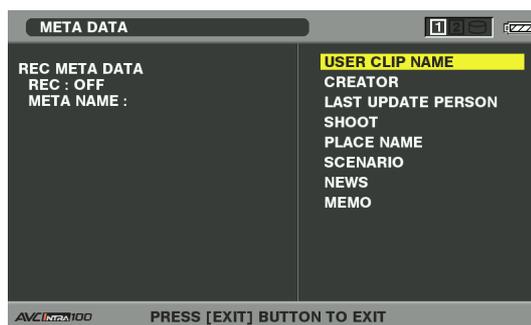
■ 読み込んだメタデータの確認と修正

SDメモリーカードから読み込んだメタデータの内容を確認できます。



1. サムネイル画面を表示する
2. [MENU] ボタンを押し、メニュー「META DATA」 - 「PROPERTY」と選択する

下記のようなロードしたメタデータ画面が表示されます。



3. [上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンでカーソルを動かし、[SET] ボタンを押す

読み込んだメタデータの各設定内容が確認できます。



4. メタデータの各設定内容を確認中に、[上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンでカーソルを動かし、設定内容を変更したい項目に合わせて[SET] ボタンを押す

ソフトキーボード画面が表示され、設定内容を変更することができます。



◆NOTE:

〈設定できるメタデータの種類〉

- [上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンで確認したいメタデータの項目にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押すと、情報が表示されます。

USER CLIP NAME:	読み込んだユーザークリップ名、カウンター値、記録されるデータ
CREATOR:	作成者
LAST UPDATE PERSON:	最終更新者
SHOOT:	撮影者
PLACE NAME:	撮影地
SCENARIO:	プログラム名、シーン番号、テイク番号
NEWS:	レポーター、取材目的、取材対象
MEMO:	メモ入力者、テキスト情報

- 内容を確認できたら、[EXIT]または[SET] ボタンを押します。情報が表示されていた画面が消えます。
- 設定変更を終了するときは「OK」を選択します。

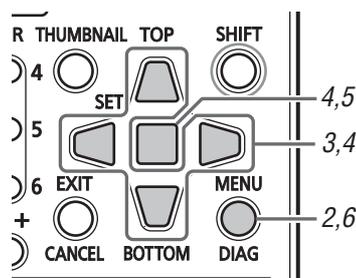
5. [EXIT]を押し、メタデータの確認画面を終了する

■メタデータ設定を削除する

以下の操作で本機内部に保存されているメタデータを削除し設定の初期化ができます。

(→設定メニュー「META DATA」55 ページ)

P2カード / SDメモリーカードをフォーマットする



1 サムネール画面を表示する

2 [MENU] ボタンを押す

3 [上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンで、メニュー「OPERATION」 - 「FORMAT」 - 「SLOT n」(n はフォーマットしたいP2カードが挿入されたP2カードスロット番号)にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す

◆NOTE:

- 「SD CARD」を選択するとSDメモリーカードスロットに挿入されたSDメモリーカードをフォーマットします。

4 確認メッセージの「YES」を選択し[SET] ボタンを押す

フォーマットが開始されます。

◆NOTE:

- フォーマットしないときは「NO」を選択し、[SET] ボタンを押します。
- フォーマットにより消去されたデータは復元することができませんので、必ずデータを確認した後に実行してください。

5 完了メッセージが表示されたらOKを選択([SET] ボタンを押す)する

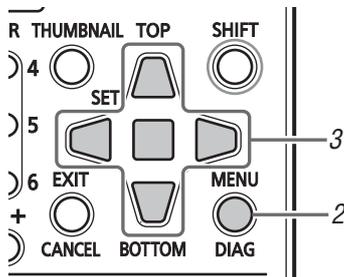
◆NOTE:

- 続けて別のP2カードスロットのP2カードやSDメモリーカードをフォーマットするときは、操作手順3～5の操作を繰り返します。

6 [MENU] ボタンを押して、処理を終了する

カードの状態を確認する

P2カードスロットの状態やP2カードの使用状況など、カードの情報を画面に表示して確認できます。



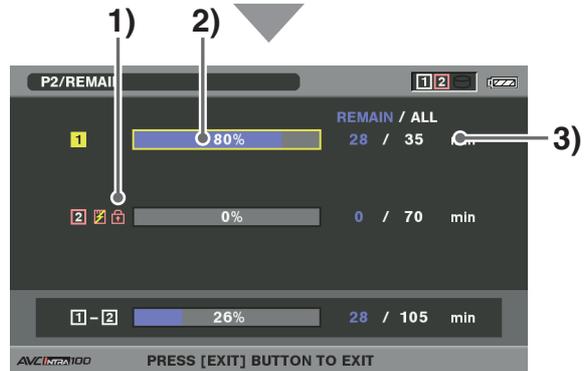
1 サムネール画面を表示する

2 [MENU] ボタンを押す

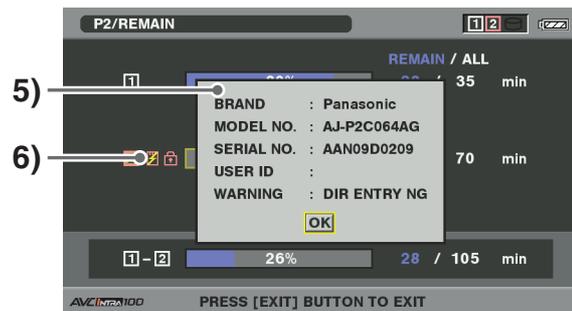
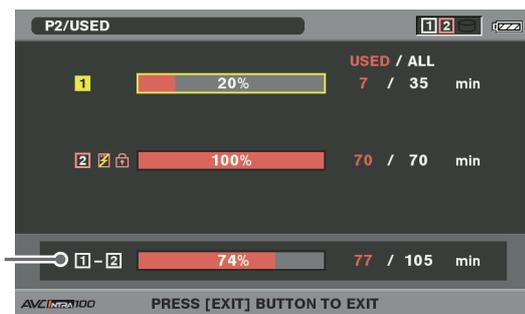
3 [上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンで、メニュー「PROPERTY」 - 「CARD STATUS」にカーソルを合わせて、[SET] ボタンを押す
P2カードの状態が表示されます。

◆NOTE:

- メニュー「PROPERTY」 - 「PROPERTY SETUP - P2CARD CAP」で表示を残容量と使用容量のいずれかに切り替えることができます。
(→設定メニュー「PROPERTY」 - 「PROPERTY SETUP - P2 CARD CAP」 54 ページ)



または



1)書き込み禁止マーク

P2カードに、ライトプロテクトがかかっているとき、マークが表示されます。

2)P2カード状態

記録残量表示のときは、P2カードの記録残量がメーターとパーセントで表示されます。

使用済み容量表示のときは、P2カードの使用容量がメーターとパーセントで表示されます。

また、カードの状態によって、以下のように表示されます。

FORMAT ERROR!:	フォーマットされていないP2カードが挿入されている。
NOT SUPPORTED!:	本機に対応していないカードが挿入されている。
NO CARD!:	P2カードが挿入されていない。

3)P2カード残量(または使用容量) / 総容量

P2カードの記録残量(または使用容量)/ 総容量が、分に換算して表示されます。分以下は切り捨て表示のため、P2カードごとの記録残量(または使用容量)の合計と総容量が一致しないことがあります。

4)スロット記録残量(または使用容量)合計

2つのP2カードスロットの記録残量(または使用容量)を総合計した数値が表示されます。

◆NOTE:

- ライトプロテクトがかかっているP2カードの空き容量は、空き容量の合計に含まれません。

5)P2カード詳細表示

P2カード状態表示のスロットにカーソルを合わせて[SET] ボタンを押すと、P2カードのモデル番号などの詳細情報が表示されます。

もう一度[SET]または[EXIT] ボタンを押すと、詳細情報が消えます。

6)警告カードマーク

P2カードが以下の場合にこのマークが表示されます。警告内容はP2カード詳細表示で確認することができます。

- 「RUN DOWN CARD」
P2カードの規定の書き換え回数を超えた場合
- 「DIR ENTRY NG」
P2カードのディレクトリー配置が不正規な場合

4 [EXIT] ボタンを押して、処理を終了する

◆NOTE:

- P2カード内のクリップ数が記録上限に達した場合はP2カード詳細表示に上限到達を示す「OVER MAX NUMBER CLIPS」が表示されます

USB HOST端子で外部機器と接続する

使用できるストレージデバイス

以下のストレージデバイスを使用できます。

- Panasonicポータブルハードディスクユニット P2 Store(AJ-PCS060G)
- USB2.0 / USB3.0で接続できるハードディスクドライブやソリッドステートドライブ

◆NOTE:

- P2 StoreはVer2.**以降のみの対応となります。Ver1.**は接続できません。Ver1.**については、Ver2.**にバージョンアップ後ご利用ください。

ストレージデバイスのタイプと利用できる機能について

使用するストレージデバイスにより、利用できる機能が異なります。ストレージデバイスのタイプはストレージデバイスのエクスプローラー画面の左側に「PARTITION:」に続けて表示されます。

(→「ストレージデバイスの情報の表示(エクスプローラー画面)」32 ページ)

◆NOTE:

- USB3.0端子は、USBバスパワー(5 V, 0.9 A)にも対応していますが、ストレージデバイスによっては起動できないものもあります。その場合はストレージデバイスに別途電力を供給してください。
- 2 TB(2048 GB)以上のストレージデバイスには対応していません。

ストレージデバイスのタイプと利用できる機能

ストレージ デバイス タイプ	特徴	利用できる機能							
		サムネール 表示	P2カード単位		クリップ単位		再生 確認*3	クリップ 画像表示	フォーマット
			P2→ ストレージ	ストレージ →P2	P2→ ストレージ	ストレージ →P2			
TYPE S	カード単位で高速に書き込み / 読み込みするための特殊形式です。	○	○	○	○*1	○	○	○	○
P2STORE	P2 Store(AJ-PCS060G)のことです。書き込みはできません。	○	×	○	×	○	○	○	×
FAT	先頭の基本パーティションがFAT16またはFAT32になっているものです。そのパーティションのルート、あるいは、任意のフォルダーの下*2の「CONTENTS」フォルダーが対象になります。	○	○	×	○	○	○	○	○
OTHER	上記以外のストレージデバイスです。 • NTFSなど、FAT16、FAT32以外のファイルシステムの場合があります。	×	×	×	×	×	×	×	○*4

*1 クリップの追加書き込みを行った場合は、そのパーティションのカード単位での書き戻しはできなくなります。

*2 フォルダーは第3階層までで、かつフォルダー数は最大100個となります。フォルダーの表示は上の階層から順に表示されます。またロングファイル名、2バイト文字のファイル名には対応していません。

例:

/CONTENTS	表示可能
/SAMPLE/CONTENTS	表示可能
/SAMPLE/20090101/CONTENTS	表示可能
/SAMPLE/20090101/1200/CONTENTS	表示不可→4階層なので表示できません

*3 ストレージデバイスからの再生はストレージデバイスの性能や条件によって映像や音声途切れる場合があります。完全な再生は保証いたしません。

*4 2 TB以上のストレージデバイスの場合、フォーマットはできません。

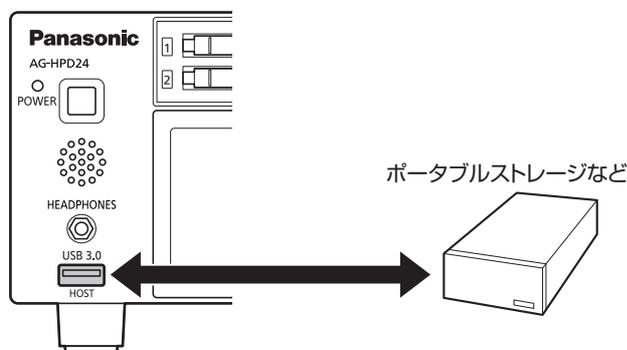
◆NOTE:

- ストレージデバイスは以下の条件でご使用ください。
- 動作保証範囲内(温度など)で使用する。
- 振動する場所や不安定な場所に置かない。
- ストレージデバイスやケーブルによっては正しく動作しないことがあります。
- コピーに十分な容量のストレージデバイスをご使用ください。
- 電源が入っていないストレージデバイスであっても、ハブなどを介した複数台の接続は行わないでください。ストレージデバイス以外の機器も、ハブなどを介してストレージデバイスと一緒に接続しないでください。

- フォーマットやコピー中にケーブルを抜いたり、対象のP2カードを取り出したり、本機やストレージデバイスの電源を切ったりしないでください。本機およびストレージデバイスの電源の再起動が必要になります。
- ストレージデバイスは非常に精密な機器ですので、使用状況によってはデータの読み書きができなくなるおそれがあります。ストレージデバイスの故障あるいは何らかの不具合によるデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機からのコピーで使用したストレージデバイスを他のパーソナルコンピューターなどで中身を置き換えた場合、以後の本機での動作、およびストレージデバイスのデータは保証できません。
- 不良クリップが含まれるP2カードは、事前に修復してからストレージデバイスへコピーすることをお勧めします。
- USB変換ケーブルを介して接続されたSATA(シリアルATA)や、PATA(パラレルATA)インターフェースのストレージデバイスは、認識できない場合があります。
- 本機の記録再生中などはケーブルの抜き差しを行わないようにしてください。記録再生が正常に行われません。
- ストレージデバイスによっては、接続後の最初の再生確認に関してパフォーマンスが低下する場合があります。

ストレージデバイスの接続

1 フロントのUSB 3.0端子とストレージデバイスを接続します。



2 メニュー「STORAGE」-「USB HOST」を「ENABLE」に設定する

◆NOTE:

- 「ENABLE」に設定したときは、記録動作やEE出力は実行できません。
- USB3.0対応のストレージに接続する場合は、USB3.0規格に準拠したケーブルをご使用ください。USB2.0用のケーブルではUSB2.0の転送性能を超えることはできません。

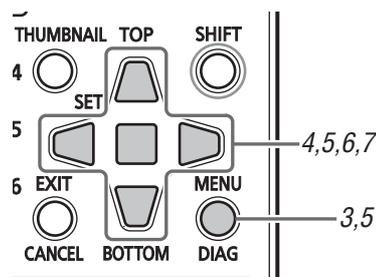
3 ストレージデバイスを認識し使用可能な場合は、サムネイル画面の右上の (灰色)が (白色)に変わります。

ストレージデバイスのフォーマット

ストレージデバイスをTYPE SまたはFATで使用できる形式に初期化します。

◆NOTE:

- ストレージデバイスのフォーマットを行うと、ストレージデバイスの内容はすべて消去されますのでお気をつけください。



1 サムネイル画面を表示する

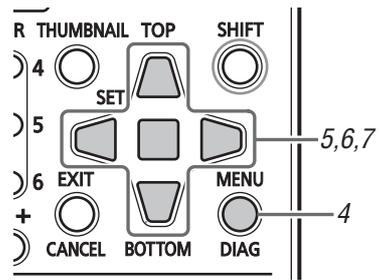
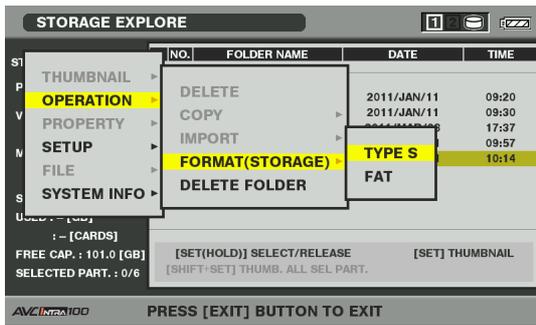
2 USBのストレージデバイスを接続する

ストレージデバイスが認識されるとストレージデバイスの状態表示(→「サムネイル画面の表示」Vol.1 32 ページ)が白色(または、赤色)に変わります。

3 [MENU] ボタンを押す

4 [上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンで、メニュー「STORAGE」-「EXPLORE」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す エクスプロー画面が開きます。

5 [MENU] ボタンを押し、[上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンで、メニュー「OPERATION」-「FORMAT(STORAGE)」にカーソルを合わせ[SET] ボタンを押した後、フォーマットしたい形式(TYPE S、FAT)を選び、[SET] ボタンを押す



6 確認メッセージで「YES」にカーソルを合わせ、
[SET] ボタンを押す

7 再度確認メッセージが出たら、「YES」にカーソルを
合わせて[SET] ボタンを押す
ストレージデバイスがフォーマットされます。

◆NOTE:

- フォーマットにより消去されたデータは復元することができませんので、必ずデータを確認した後に実行してください。

カード単位でのストレージデバイスへの エクスポート

P2カード単位でストレージデバイスへエクスポート(P2カードからストレージデバイスへの書き出し)を行うことができます。ストレージデバイスのフォーマット形式によってコピー結果と最大コピー枚数が異なります。

ストレージ デバイスタイプ	コピー結果	最大コピー枚数*2
TYPE S	カードごとにパーティションが作成され、その中にカードに含まれる全データがコピーされます。本機のエクスプローラー画面でコピーしたP2カードの品番やシリアル番号が確認できます。	23
FAT	カードごとにフォルダー*1が作成され、その中にカードに含まれる全データがコピーされます。本機のエクスプローラー画面でフォルダー名が確認できます。	100

*1フォルダーは年月日のフォルダーとその下に時分秒フォルダーの2階層が作られます。

例) 2011年3月30日 12時34分56秒の場合:
/11-03-30/12-34-56

*2ストレージデバイスの容量を超えてコピーすることはできません。

1 ストレージデバイスを接続する

ストレージデバイスがTYPE SタイプまたはFATタイプでない場合は、ストレージデバイスをTYPE SタイプまたはFATタイプにフォーマットします。
(→「ストレージデバイスのフォーマット」29 ページ)

2 P2カードを挿入する

3 サムネール画面を表示する

4 [MENU] ボタンを押す

5 [上]/[下]/[左]/[右] 十字カーソルボタンでメニュー「STORAGE」-「EXPORT」にカーソルを合わせ、
[SET] ボタンを押す

6 コピー元のP2カードスロット番号にカーソルを
合わせ、[SET] ボタンを押す

TYPE Sタイプの場合、「ALL SLOT」を選ぶと、そのとき挿入されているカードすべてを一括エクスポートします。

7 確認メッセージで「YES」にカーソルを合わせ、
[SET] ボタンを押す

エクスポートが始まります。エクスポート中は進捗バーが表示されます。

エクスポートが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

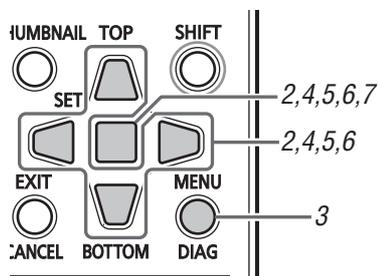


◆NOTE:

- TYPE Sタイプでのエクスポートの場合、エクスポート後にP2カードデータとコピーしたデータのベリファイ(比較)を自動的に行うことができます。工場出荷初期状態ではエクスポート時のベリファイが有効になっています。エクスポート時のベリファイを行わないように設定すると、エクスポートしたデータとの照合は行いませんが、エクスポート完了までの時間が短くなります。ベリファイを行わないための設定はメニュー「[STORAGE] - [SETUP] - [VERIFY]」を「OFF」にします。FATタイプの場合は、この設定値に関わらず、ベリファイは行われません。
- エクスポートを途中で中断したいときは、[SET] ボタンを押し、「[CANCEL]」の確認表示で「YES」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押すと中断できます。
- ベリファイ中に処理を中断しても、そのP2カードのコピーは終了しています。
- コンピューターで既に割り当てられているネットワークとドライブが重なって、見えないパーティションがある場合は、弊社のWebサイトで無償配布しているドライブマウントコンバーターをご利用ください。ストレージデバイスをWindows PCに接続したとき、指定したフォルダーへマウントすることができます。

クリップ単位でのストレージデバイスへのコピー

カード全体でなく、選択したクリップだけをストレージデバイスへコピーすることができます。



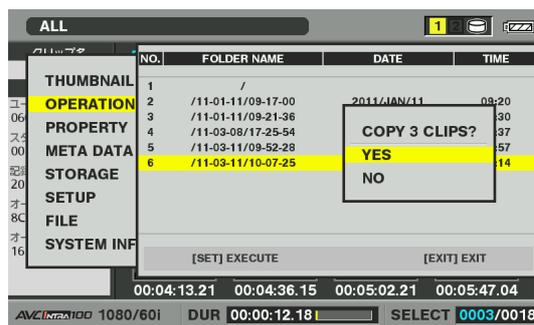
1 ストレージデバイスを接続する

2 サムネール画面を表示し、[上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンでコピーするクリップにカーソルを合わせて、[SET] ボタンを押して選択する
複数のクリップを選択することもできます。

3 [MENU] ボタンを押す

4 [上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンで、メニュー「[OPERATION] - [COPY] - [STORAGE]」にカーソルを合わせ[SET] ボタンを押す

5 ストレージデバイスのフォルダーあるいはパーティション一覧が表示されるので、コピー先を選択し [SET] ボタンを押す



◆NOTE:

- FATタイプのストレージデバイスの場合、表示されるフォルダーは以下のものになります。
 - ルート
 - 第3階層までにCONTENTSフォルダーを含むフォルダー
- TYPE Sタイプのストレージデバイスにおいて、パーティションが1つもない場合はコピーできません。FATタイプにフォーマットするか、エクスポートによりパーティションを作成してからコピーしてください。

6 確認メッセージで「YES」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す

コピーが始まります。コピー中は進捗バーが表示されます。コピーが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

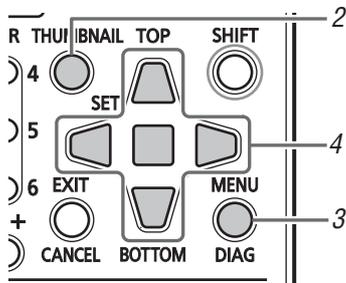
◆NOTE:

- コピーを中断したいときは、[上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンで「[CANCEL]」にカーソルを合わせて[SET] ボタンを押し、「[CANCEL]」の確認表示で「YES」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押すと中断できます。途中までコピーされたコピー先のクリップは削除されます。
- TYPE Sタイプのストレージデバイスへクリップをコピーした場合は、そのパーティションへはカード単位でのインポートはできなくなります。またその場合カードの品番表示に「UNKNOWN」と表示されます。

7 [SET] ボタンを押して完了する

ストレージデバイスの情報の表示(エクスプロー画面)

ストレージデバイス情報の表示、ストレージデバイスのパーティション/フォルダーのサムネールの表示選択、操作対象のパーティション/フォルダーの選択ができます(エクスプロー画面表示)。

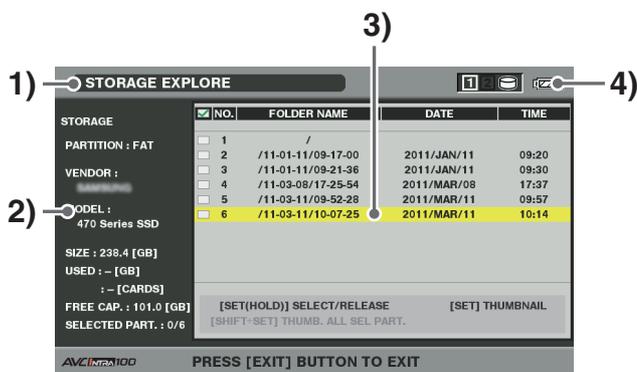


1) ストレージデバイスを接続する

2) サムネール画面を表示する

3) [MENU] ボタンを押す

4) [上]/[下]/[左]/[右] 十字カーソルボタンで、メニュー「STORAGE」-「EXPLORE」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す エクスプロー画面が表示されます。



1) 表示状態

ストレージデバイスのエクスプロー画面であることを示します。

2) デバイス情報

以下の情報が表示されます。

カード単位で書き込み/読み出しが可能なストレージデバイス (TYPE S、P2STORE)	PARTITION:	TYPE S / P2 STORE
	VENDOR:	ベンダー名
	MODEL:	モデル名
	SIZE:	総容量(単位:GB)
	USED:	使用量(単位:GB) 使用P2カード領域 (単位:枚数)最大23
	FREE CAP.:	残量(単位:GB)
	SELECTED PART.:	選択された パーティション数
上記以外のストレージデバイス (FAT、OTHER)	PARTITION:	FAT/OTHER
	VENDOR:	ベンダー名
	MODEL:	モデル名
	SIZE:	総容量(単位:GB)
	FREE CAP.:	残量(単位:GB)
	SELECTED PART.:	選択された フォルダー数

3) パーティション情報(TYPE Sタイプのストレージデバイス、または、P2 Store の場合)

<input checked="" type="checkbox"/>	パーティションを操作対象として選択している場合、チェックマークが表示されます。
NUMBER(NO.):	パーティション番号(1~)
MODEL:	P2カードのモデル名
PARTITION NAME:	パーティションにつけられた名称 (→「パーティション名の設定」33 ページ)
DATE / TIME:	パーティション記録日時
SERIAL:	P2カードのシリアル番号

フォルダー情報(FATタイプのストレージデバイスの場合)

<input checked="" type="checkbox"/>	フォルダーを操作対象として選択している場合、チェックマークが表示されます。
NUMBER(NO.):	フォルダー番号(1~)
FOLDER NAME:	フォルダー名 (CONTENTS フォルダは含みません)
DATE / TIME:	フォルダー作成日時

◆NOTE:

- TYPE Sタイプのストレージデバイスの場合、[左]/[右] 十字カーソルボタンで、パーティション名とシリアル名を切り替えて表示することができます。
- P2 Storeに無効なパーティションがあるときは、パーティション情報がグレーで表示されます。
- メニュー「PROPERTY」-「FREE CAP. OF PARTITION」で対象パーティションの残量を確認することもできます。

4) ストレージデバイスインジケーター

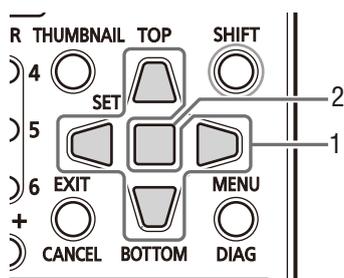
接続/未接続の区別、ストレージデバイスのタイプが表示されます。

■ エクスプローラー画面での各種操作について

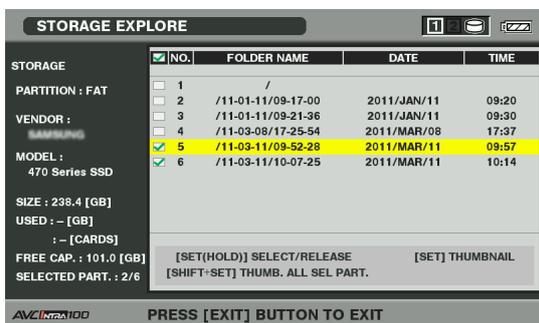
パーティション/フォルダーの操作対象選択

パーティション/フォルダーを操作対象として選択すると、選択したパーティション/フォルダーに含まれるすべてのクリップを一括してサムネールとして表示できます。
(→「サムネール画面の表示」Vol.1 32 ページ)

この操作対象としては最大6パーティション/フォルダーまで選択することができます。



1. エクスプローラー画面にて、パーティション/フォルダーへカーソルを合わせる
2. [SET] ボタンを長押し(1秒以上)する
パーティション/フォルダーが選択され、□に☑が表示がされる



操作対象選択はストレージデバイスを切り離すあるいは電源を切るまで有効です。操作対象選択を解除する場合は選択されたパーティションで再度[SET] ボタンを長押し(1秒以上)します。

[CANCEL] ボタンを押すとすべての選択が解除されます。

- 7個目を指定した場合は、設定できずワーニングが表示されます。

◆NOTE:

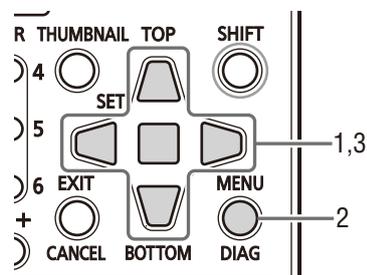
- TYPE Sタイプのストレージデバイスで、MODELが「UNKNOWN」*1になったパーティションと他のパーティションにまたがって記録されているクリップは正常な1つのクリップとなりません。
- *1 TYPE Sタイプのストレージデバイスにクリップコピーを行うことで、コピー先のパーティションのMODELが「UNKNOWN」に変更されます。
- パーティション名の設定は、TYPE Sタイプのストレージデバイスのとき実行できます。設定したパーティション名は、エクスプローラー画面の「PARTITION NAME」に表示されます。

パーティション名の設定

ストレージデバイスがTYPE Sタイプの場合、パーティションに名称(最大20文字)を付けることができます。

◆NOTE:

- 設定したパーティション名は、エクスプローラー画面の「PARTITION NAME」に表示されます。



1. ストレージのエクスプローラー画面において、設定したいパーティションへカーソルを合わせる
続けて[SET]ボタンを押してサムネールの一覧を表示してパーティション名をつけることもできます。
2. [MENU]ボタンを押す
3. [上]/[下]/[左]/[右] 十字カーソルボタンで、メニュー「OPERATION」-「CHANGE PARTITION NAME」にカーソルを合わせ[SET] ボタンを押す
ソフトキーボードが表示されます。
4. パーティションに設定する名称を入力し「OK」を選択する
パーティション名称が設定されます。

最後のパーティションの削除

メニュー「OPERATION」-「DELETE LAST PARTITION」(→設定メニュー「OPERATION」-「DELETE LAST PARTITION」53 ページ)でストレージデバイスの最後のパーティションの削除ができます。

◆NOTE:

- 事前にカーソルを最後のパーティションに移動しておいてください。
- 最後のパーティションの削除は、TYPE Sタイプのストレージデバイスのときだけ実行できます。削除できるのは、最後のパーティションだけです。途中のパーティションは削除できません。
- 削除したパーティションは復活できませんので、よく確認してから削除してください。

■ ストレージデバイスのクリップのサムネール表示と映像のモニター表示

サムネールを表示する

ストレージデバイスに保存したクリップも、本機に装着したP2カードと同様にサムネール画面を表示して管理できます。

1. エクスプロア画面を表示する

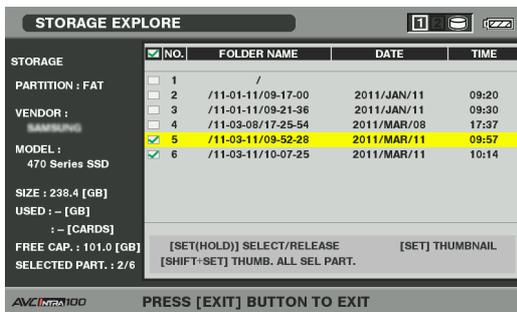
パーティションまたはフォルダ一覧が表示されます。

2. [上]/[下]/[左]/[右] 十字カーソルボタンでサムネール画面表示したいパーティションまたはフォルダにカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す

そのパーティションまたはフォルダのクリップがサムネール表示されます。また、元のエクスプロア画面へは[EXIT] ボタンを押すことで戻ります。

◆NOTE:

- 操作対象選択がされている場合は[SHIFT] + [SET] ボタンを押すと操作対象として選択している全パーティションのサムネールを一括して表示することができます。



SET ▾ ▲ EXIT



1) クリップ情報

クリップのプロパティ表示

2) ストレージデバイス情報

TYPE Sの場合

SERIAL:	P2カードのシリアル番号
MODEL:	P2カードのモデル名
SELECTED PART.:	パーティションを操作対象として選択している場合、チェックマーク(☑)を表示します。
SELECTED PART. No.:	パーティションを複数選択している場合のみ表示され、選択しているパーティション番号の一覧を示します。
NUMBER (NO.):	パーティション番号(1~)
DATE / TIME:	パーティション記録日時

VERIFY:	記録時のベリファイの設定とベリファイ結果
ON:	ベリファイ実施して、一致
FINISHED	
ON:	ベリファイ実施したが不一致
FAILED	<ul style="list-style-type: none"> • P2 Storeのときは「—」と表示します。
OFF:	ベリファイしていない
NAME:	ユーザーがつけたパーティションの名称
SIZE / USED / FREE CAP.:	ストレージデバイスの全容量/使用済み容量 / 残量

FATの場合

SELECTED PART.:	パーティションを操作対象として選択している場合、チェックマーク(☑)を表示します。
SELECTED PART. No.:	フォルダを複数選択している場合のみ表示され、選択しているフォルダ番号の一覧を示します。
NUMBER (NO.):	フォルダ番号(1~)
DATE / TIME:	フォルダ作成日時
FOLDER:	フォルダ名*1
SIZE / FREE CAP.:	ストレージデバイスの容量 / 残量

*1:ルートには作成日時は表示されません。

◆NOTE:

- [SHIFT] + [+] / [-] ボタンを使うと、エクスプロア画面に戻ることなく、前後のパーティションまたはフォルダのサムネール表示へ移動できます。
- 必要に応じてサムネール画面の表示の変更を行うことができます。操作はP2カードのサムネール表示(→「サムネール画面の表示の変更」12 ページ)と同じです。
- 1001個目以降のクリップは表示されません。

クリップの情報を表示する

ストレージデバイスに保存したクリップの各種メタ情報を表示できます。表示の方法はP2カードのクリップのプロパティと同じです。

1. ストレージデバイスのサムネール画面で、対象のクリップへカーソルを移動する
2. [MENU] ボタンを押す
3. [上]/[下]/[左]/[右] 十字カーソルボタンで、メニュー「PROPERTY」 - 「CLIP PROPERTY」にカーソルを合わせて、[SET] ボタンを押す
(→「クリップの情報を表示・修正する」20 ページ)
ただし、修正を行うことはできません。

クリップを削除する

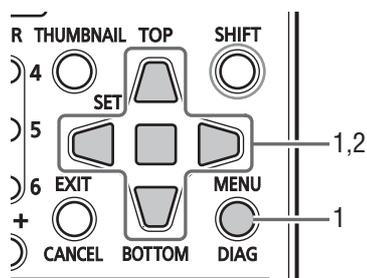
ストレージデバイスに保存された不要なクリップを削除できます。

1. ストレージデバイスのサムネール画面で、削除するクリップを選択する
2. [MENU] ボタンを押す
3. [上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンで、メニュー「OPERATION」 - 「DELETE」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す
4. 確認メッセージで「YES」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す

◆NOTE:

- [X] (不良クリップインジケータ) や [?] (不明クリップインジケータ) が表示されたクリップは、削除できないことがあります。

クリップの映像と音声の確認をする



1. ストレージデバイスのサムネール画面を表示する
2. [上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンで、表示したいクリップにカーソルを合わせる
3. [PLAY]  ボタンを押す

カーソルを合わせたクリップから、再生が始まります。カーソルを合わせたクリップが終わると、それ以降のクリップが順に再生され、最後のクリップの再生が終わるとストレージデバイスのサムネール画面に戻ります。

◆NOTE:

- クリップを再生するときには、クリップを選択(サムネールに水色の枠が表示された状態)にする必要はありません。
- サムネール表示設定を変更して、選択したクリップだけを再生したり、テキストメモが挿入されたクリップだけを再生したりすることができます。
- [PLAY]  ボタンの代わりに [STILL / PAUSE]  ボタンを押すと、クリップの先頭フレームの映像が静止画として表示されます。
- [PLAY]  ボタンの代わりに、[REW]  ボタンを押すと早戻し、[FF]  ボタンを押すと早送りが行えます。
- クリップ番号が赤色に表示されたクリップは再生できません。
- クリップの再生中に [STOP]  ボタンを押すと、再生を停止してサムネール画面に戻ります。
- 再生を停止すると、カーソル位置は停止直前に再生していたクリップに移動します。
- 異なった圧縮記録フォーマット(DVCPRO HD、

DVCPRO50、DVCPRO、DV、AVC-Intra 50、AVC-Intra 100) を再生すると、クリップとクリップの間で映像・音声 が乱れることがあります。

- テキストメモやメタデータなどのデータを付加・修正することはできません。
- [USER] ボタンに [ONE CLIP PLAY] を割り当てているときは、割り当てた [USER] ボタンを押すと、カーソル位置のクリップのみを再生することができます。
- ストレージデバイスによっては再生時に映像が止まったり音が途切れたりすることがあります。途切れなく再生するためには高速なストレージデバイスを使用してください。映像の途切れが発生した場合はワーニング(E-75)が表示されます。[STOP]  ボタンなどを押すことによりワーニング表示は消えます。

ストレージデバイスからP2カードへの書き戻し(インポート)

■ TYPE SのストレージデバイスやP2 Storeからパーティション単位でインポート

パーティション単位(カード単位)で、もとのカードと同じ品番のP2カードへインポート(ストレージデバイスからP2カードへの書き戻し)することができます。

1. インポート先となるP2カードを挿入する

P2カードは必ずフォーマット済みのカードを挿入してください。

2. ストレージデバイスを接続する

3. メニュー「STORAGE」 - 「EXPLORE」を選択し、エクスプロー画面を表示する

4. エクスプローで、インポートするパーティションのサムネールを表示する

5. メニュー「OPERATION」 - 「IMPORT」を選択する

6. インポート先のP2カードスロット番号にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す

確認メッセージで「YES」を選択するとインポートが始まります。

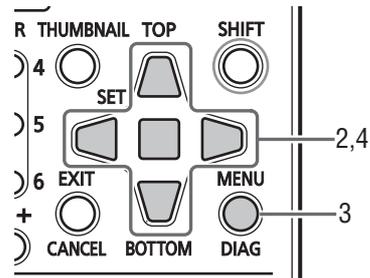
インポートが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

◆NOTE:

- 元のP2カードとは異なるP2カードにインポートしたとき、クリップによっては不完全(インジケータ付き)クリップになることがあります。この場合、連結機能を使ってクリップを再構成してください。
(→「不完全クリップの連結」20 ページ)
- メニュー「STORAGE」 - 「SETUP」 - 「VERIFY」の設定により、コピー時にベリファイを行うかどうかを切り替えることができます。
- 異なる品番のP2カードへの、パーティション単位でのインポートはできません。その場合はクリップ単位でコピーを行ってください。

■ クリップ単位でP2カードへコピー

ストレージデバイスのクリップを指定して、P2カードにコピーできます。



1. ストレージデバイスのサムネール画面を表示する

2. コピーするクリップを選択する

3. [MENU] ボタンを押す

- #### 4. メニュー「OPERATION」 - 「COPY」のリストからコピー先にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す
- 確認メッセージで「YES」を選択すると、コピーが始まります。
コピーが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

USBデバイスモード

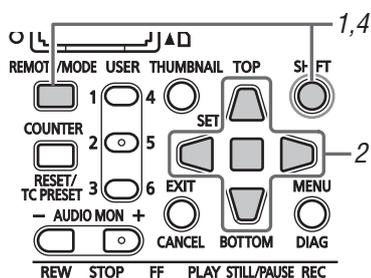
パーソナルコンピューターなどとUSB2.0で接続することにより、本機のP2カードスロットに挿入されたP2カードをマストレージとして扱うことができます。このとき、パーソナルコンピューターには、USB専用ドライバー(付属CD-ROM)をインストールする必要があります。

また、弊社のWebサイトで無償配布しているP2ビューアーを使用すると、P2カードに記録されたクリップが、Windows PCで操作できます。

URLについては(→「ウェブサイトURLについて」2ページ)

◆NOTE:

- この接続での操作については、利用するコンピューターやアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。



1 停止状態のときに[MODE] ボタンを押す

2 選択画面で、「USB DEVICE」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す



液晶モニターの「USB DEVICE」の文字が点滅してモードが切り替わります。モードが切り替わると、液晶モニターに「USB DEVICE DISCONNECT」と表示されます。その後パーソナルコンピューターとの接続が完了すると、「USB DEVICE CONNECT」の表示に切り替わります。

◆NOTE:

- 「3D REC/PB」や「SYNC PB」モードを選択すると、スレーブ機との通信が確立するまでモード変更はできません。誤って選択した場合に操作を取り消す場合は電源を入れなおしてください。

3 USBデバイスモードでの操作を行う

◆NOTE:

- 利用するコンピューターやアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

4 [MODE] ボタンを押して、通常のモードに戻る

◆NOTE:

- USBデバイスモードでは、録画・再生を含むほとんどの操作はできません。
- Windows PCをお使いの場合は、付属のCD-ROMからドライバーのインストールを行ってください。

3D録再モード(3D REC/PB)

Dual P2 3Dクリップの記録や再生を行う3D録再モードについて説明します。
接続や記録・再生操作については以下を参照してください。
(→「3D信号の記録再生を行う」Vol.1 36 ページ)

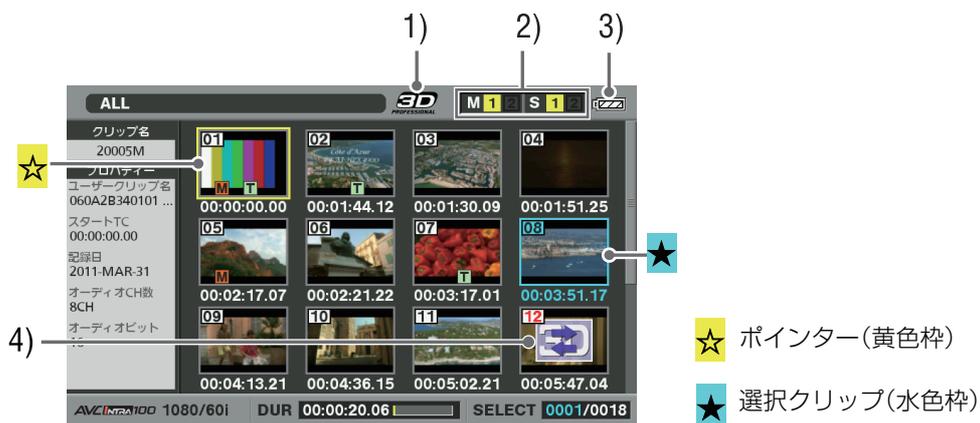
クリップの表示と管理

表示・再生されるクリップが「Dual P2 3Dクリップ」に限定されますが、一部の制限を除いて基本的な操作は通常の場合(メインモード)と同様に行うことができます。通常の場合(メインモード)と異なる部分を中心に説明を行います。

サムネール画面の各部の名称とはたらき

◆NOTE:

- サムネール画面には本機あるいは3D対応のP2機器にて記録したDual P2 3Dクリップのみを表示します。通常のP2クリップは表示されませんので間違えてフォーマットなどで消してしまわないようお気をつけください。



1) 「3D」ロゴ

3Dのサムネールを表示している状態を示します。

2) スロット状態表示

Lにはマスター側、Rにはスレーブ側のP2カードの状態を表示します。(→表示内容の詳細は「サムネール画面」10 ページ参照)

3) バッテリー残量表示

マスター側のバッテリー残量を表示します。

◆NOTE:

- スレーブ側のバッテリー残量は、スレーブ側に表示します。

4) Dual P2 3Dクリップ異常状態インジケータ

L / R誤挿入などDual P2 3Dクリップとして問題がある場合に表示されます。



Lのクリップがスレーブ側の機器、またはRのクリップがマスター側の機器に挿入されています。正しく挿入しなおしてください。



LまたはRのクリップが挿入されていません。不足しているクリップを挿入してください

◆NOTE:

- 不良クリップインジケータ(黄色の[X])が表示されている場合、クリップの修復(→設定メニュー「OPERATION」 - 「REPAIR CLIP」53 ページ)をお勧めします。

サムネイル画面の表示の変更

メインモードの場合と同様に使用状況に応じてサムネイル画面をカスタマイズし、効率よく操作を行うことができます。(→「クリップの情報を表示・修正する」40 ページ)

◆NOTE:

- メニュー項目のうち一部機能は3D録再モードでは対応しないものがあります。

クリップの選択と解除

メインモードの場合と同様にサムネイル画面で操作を行うとき、操作の対象となるクリップを選択します。(→「クリップの選択と解除」16 ページ)
ただし、Dual P2 3Dクリップ以外はサムネイル表示されませんので、それらのクリップを操作する場合はメインモードで行う必要があります。

クリップを再生する

メインモードの場合と同様に再生を行います。

◆NOTE:

- 再生中、可変速再生中は、クリップ送り / クリップ戻しはできません。[STILL]ボタンを押し静止(SHTL 0.0)状態にしてから行ってください。
- テキストメモ送り / テキストメモ戻しは、3D録再モードでは行えません。
- 異なった映像フォーマット(1080i、720p)や異なった圧縮記録フォーマット(AVC-Intra 50、AVC-Intra 100)を再生すると、クリップとクリップの間で映像・音声が入乱れることがあります。

可変速再生を行う

マスター側はメインモードの場合と同様に可変速再生操作を行うことができます。ただし、スレーブ側はその間は動作しないため映像は3Dとはなりません。可変速再生中の映像出力は出力信号方式によって変わります。

- 左右個別方式:** 映像はLCDのみに表示され、SDI/HDMIへは出力されません。
ただし、メニュー「SETUP」-「VIDEO」-「DISCRETE BLACK」の設定が「OFF」のときはマスター側のSDI / HDMI出力にのみ映像を出力します。
- サイドバイサイド、フレームパッキング方式:** LCDへの表示および、SDI/HDMIへはL側の映像のみ(R側の映像もL側の映像と同じ)を出力します。

◆NOTE:

- 再生中はクリップのシークは行えません。シークはSTILL(SHTL 0.0)状態で行ってください。
- 外部機器から制御した制止状態は、制御方式により映像の出力・非出力が異なります。

テキストメモやショットマークを付加する

メインモードと同様の操作でテキストメモやショットマークを付加することができます。ただし、マスター(L)側のクリップにのみ付加されます。

クリップをコピーする

3D録再モードでは、クリップのコピーは行えません。

クリップを削除する

メインモードと同様の操作でクリップは削除できます。このとき、マスター(L)側、スレーブ(R)側 両方のクリップが削除されます。

◆NOTE:

- マスター側、スレーブ側が逆に挿入されているDual P2 3Dクリップも削除することができます。
- マスター側、スレーブ側のどちらかが存在しないDual P2 3Dクリップも削除することができます。マスター側、スレーブ側の一方しか存在しないDual P2 3Dクリップは再生できなくなりますのでお気をつけください。
- クリップを構成するカードに書き込み禁止のカードが含まれていた場合は、該当するクリップは削除されません。

クリップを修復・連結する

不良クリップの修復

メインモードと同様の操作で不良クリップインジケータ(黄色の)が表示されているクリップは修復することができます。

不完全クリップの連結

3D録再モードでは連結機能は使用できません。

◆NOTE:

- 不完全クリップに対して連結が必要になった場合には、メインモードで連結機能を実施してください。

クリップの情報を表示・修正する

メインモードと同様の操作でクリップ情報の表示と修正ができます。ただし、表示・修正ともマスター(L)側のクリップにのみ行われます。

◆NOTE:

- マスター側、スレーブ側の素材が逆に挿入されているDual P2 3Dクリップや、マスター側、スレーブ側のどちらかが存在しないDual P2 3Dクリップに対してはクリップ情報の修正はできません。
- スレーブ側しか存在しないDual P2 3Dクリップについては、クリップの情報が正しく表示されません。

サムネールを変更する

メインモードと同様の操作でサムネールの変更ができます。ただし、修正はマスター(L)側のクリップにのみ行われます。

◆NOTE:

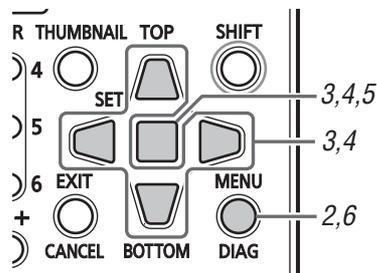
- マスター側、スレーブ側の素材が逆に挿入されているDual P2 3Dクリップや、マスター側、スレーブ側のどちらかが存在しないDual P2 3Dクリップに対してはサムネールの変更は行えません。

クリップ記録時にメタデータを付加する

メインモードと同様の操作で記録クリップにメタデータを付加することができます。ただし、マスター(L)側のクリップにのみ付加されます。

P2カードをフォーマットする

メインモードと同様の操作でP2カードをフォーマットできます。ただし、マスター側、スレーブ側の各機器に挿入されているすべてのP2カード(スロット指定できません)をフォーマットします。



1 サムネール画面を表示する

2 [MENU] ボタンを押す

3 [上] / [下] / [左] / [右] 十字カーソルボタンで、メニュー「OPERATION」 - 「FORMAT」 - 「ALL P2」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す

◆NOTE:

- 「SD CARD」を選択すると、マスター側のSDメモリーカードスロットに挿入されたSDメモリーカードをフォーマットします。

4 「YES」を選択し[SET] ボタンを押す 全カードのフォーマットが開始されます。

◆NOTE:

- フォーマットしないときは「NO」を選択し、[SET] ボタンを押します。
- フォーマットにより消去されたデータは復元することができませんので、必ずデータを確認した後に実行してください。

5 完了メッセージが表示されたらOKを選択([SET]ボタンを押す)する

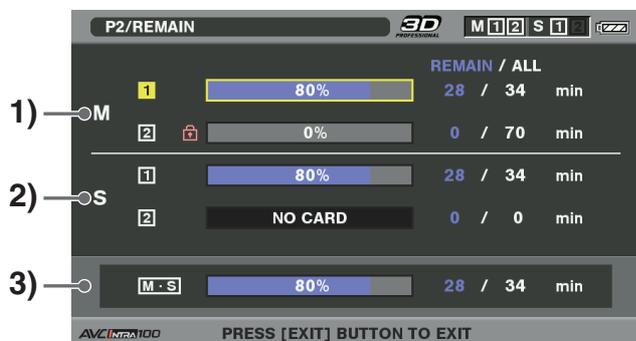
6 [MENU] ボタンを押して、処理を終了する

◆NOTE:

- 挿入されているP2カードに書き込み禁止のP2カードが含まれている場合は、フォーマットできません。

カードの状態を確認する

メインモードと同様にしてP2カードスロットの状態やP2カードの使用状況など、P2カードの情報を画面に表示して確認できます。マスター側にてマスター側、スレーブ側 両方のP2カードの状態を確認できます。



1) マスター側P2カード状態表示

マスター側のスロット1、2の記録残量または使用容量をメーターと時間(分単位)で表示します。

2) スレーブ側P2カード状態表示

スレーブ側のスロット1、2の記録残量または使用容量をメーターと時間(分単位)で表示します。

3) 全記録残量(または使用容量)合計

3Dとして記録できる残量または使用容量と3Dとして記録できる容量を表示します。

◆NOTE:

- マスター側、スレーブ側それぞれ対応するスロットのカード容量の少ない方の合計値を全容量とし、記録残量の少ない方の合計値を全記録残量とします。

同期再生モード(SYNC PB)

AG-HPD24を2台接続した同期再生モードにおける再生や操作について説明します。接続およびモードの切替操作については以下を参照してください。

(→「同期再生を行う」Vol.1 44 ページ)

再生

次の条件を満たしているときには2台は同期してクリップを再生します。(→「同期再生を行う」Vol.1 44 ページ)

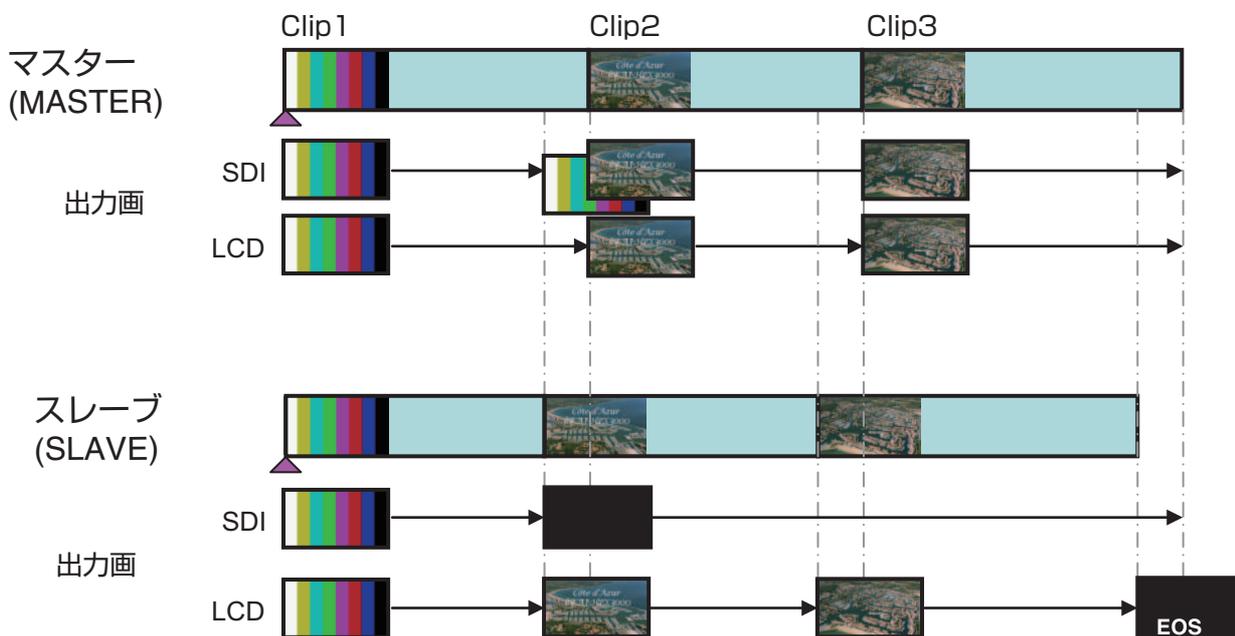
- マスター側とスレーブ側の画とTCとフォーマットが一致している
 - マスター側とスレーブ側のサムネイル上のクリップ番号が同じ (同じ作成日時順に並んでいる)
 - クリップ内でTCが連続している
 - マスター側とスレーブ側のクリップの長さやTCの先頭値が同じ
- これらの条件があていない場合は正しく同期再生できません。

<例1>

クリップ(Clip)1の開始点は同じだが、長さが異なる(スレーブ側のクリップが短い)

→ スレーブ側のクリップ(Clip)1が終了したところからスレーブ側のSDI出力はミュートされブラックになります。またそのときのマスター側の再生は、メニュー「SETUP」-「VIDEO」-「DISCRETE BLACK」によりブラック / 再生の選択ができます。

次の図は、「DISCRETE BLACK」=「OFF」のときを表します。



<例2>

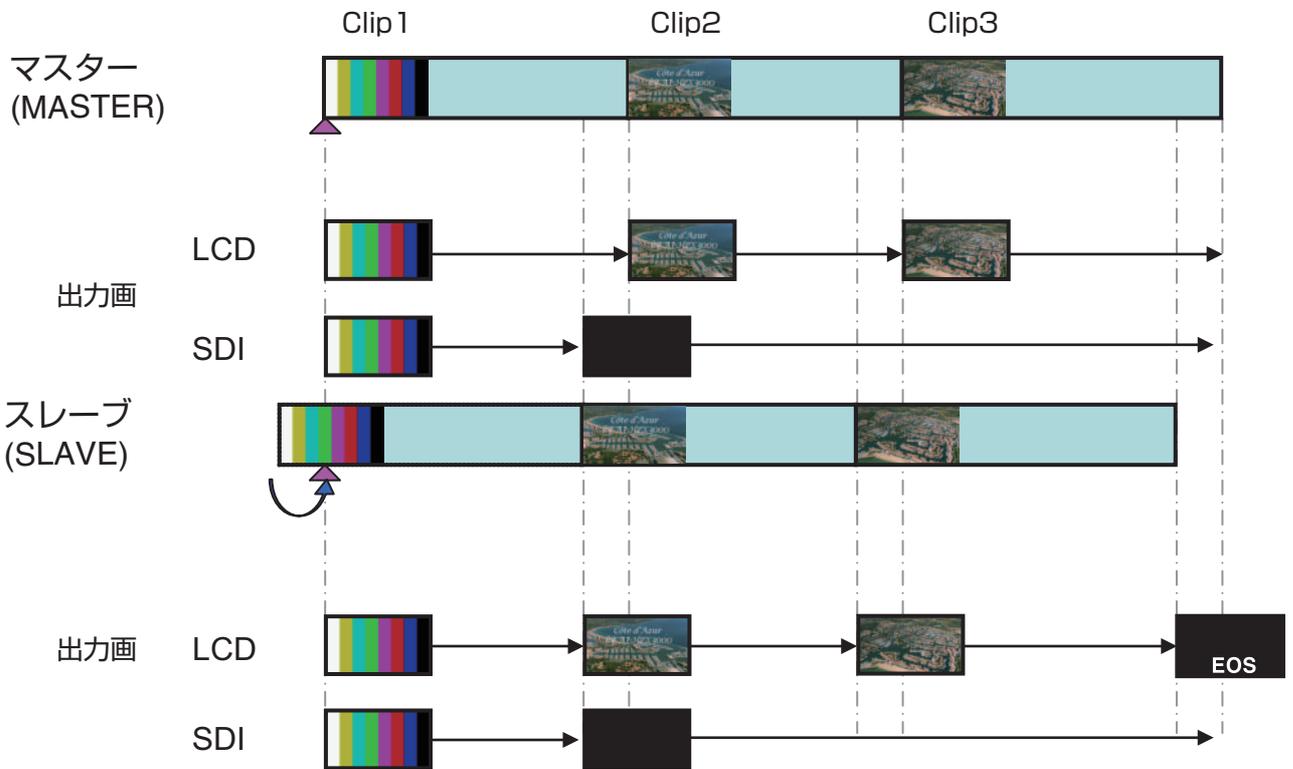
Clip1の開始点が異なる(長さは同じ)

→スレーブ側のClip1はマスター側の先頭に頭だし後再生を始めます。その間SDIからは正しくL,Rの映像が出力されます。スレーブがClip1の再生を終えると、Clip番号またはTCが異なるため、SDIはミュートされブラックになります。そのときのマスター側の再生は、メニュー「SETUP」-「VIDEO」-「DISCRETE BLACK」によりブラック再生の選択ができます。次の図は「DISCRETE BLACK」=「ON」のときを表します。
また、HDMI出力の場合はブラックではなく、L,Rともマスター側(L)の映像となります。

マスター



スレーブ



◆NOTE:

- マスター側とスレーブ側の画 (TC)が異なっている部分から再生した場合は、マスター側のみの再生となります。

クリップの表示と管理

メインモードの場合と同様の操作を行うことができます。スレーブ側では、サムネール画面を表示してクリップの確認をすることができますが、THUMBNAIL、[上]/[下]/[左]/[右]十字カーソルボタン以外の操作はできません。ここでは、メインモードと異なる部分を中心に説明を行います。

◆NOTE:

- 次の操作は行えません。
 - クリップのコピー
 - クリップの削除
 - 不良クリップの修復
 - 不完全クリップの連結
 - サムネールの変更
 - 記録メタデータの付加(記録は行えません)
 - P2カードのフォーマット

サムネール画面の表示の変更

同期再生モードで可能な操作は、全サムネール(ALL CLIP)選択のみです。選択クリップ表示やTEXT MEMOクリップ表示などを行うことはできません。

クリップを再生する

マスター側の操作で、再生を行います。スレーブ側で操作はできません。またスレーブ側のサムネール画面が開いているときは、クリップの再生はできません。

◆NOTE:

- 異なった映像フォーマット(1080i、720p)や異なった圧縮記録フォーマット(DVCPRO HD、DVCPRO50、DVCPRO、DV、AVC-Intra 50、AVC-Intra 100)を再生すると、クリップとクリップの間で映像・音声がかかります。

可変速再生を行う

マスター側は、メインモードの場合と同様に、可変速再生を行います。スレーブ側は動作しません。

◆NOTE:

- **左右個別方式:** 映像はLCDのみに表示され、SDIへは出力されません。ただし、メニュー「SETUP」-「VIDEO」-「DISCRETE BLACK」が「OFF」のときはマスター側のSDI出力にのみ映像を出力します。
- **サイドバイサイド、フレームパッキング方式:** LCDへの表示および、SDI/HDMIへはマスター側の映像のみ(R側の映像もマスター側の映像)を出力します。

クリップの情報を表示・修正する

マスター側のクリップの情報表示・修正はメインモードと同様に行うことができます。スレーブ側では表示・修正は行えません。

カードの状態を確認する

メインモードと同様にマスター側のP2カードスロットの状態やP2カードの使用状況など、カードの情報を画面に表示して確認できます。スレーブ側では表示・修正は行えません。

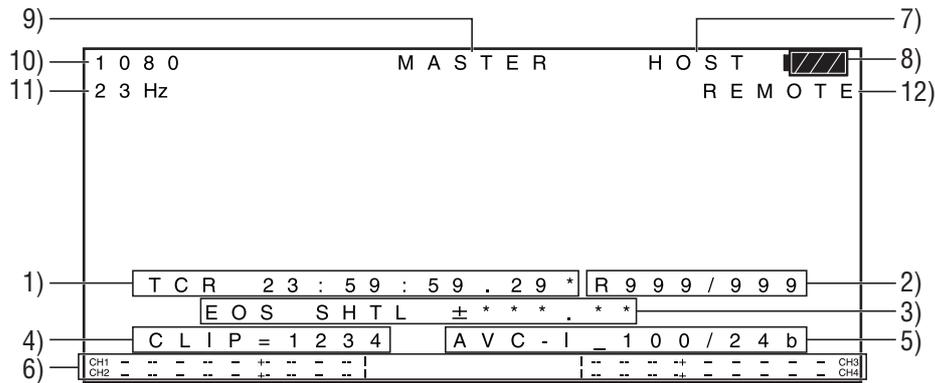
画面の表示

OSD表示

再生や記録画面上にフォーマットやタイムコード、モードなどが省略文字で表示されます。

◆NOTE:

- 本表示はメニュー「SETUP」-「DISPLAY」-「OSD GRADE」で全表示(「ALL」)/1~6のみ表示(「MODE&TC」)を切り替えることができます。また、「MODE&TC」については、メニュー「SETUP」-「DISPLAY」-「OSD TC SELECT」で表示内容を切り替えることができます。
- 表示する出力先はメニュー「SETUP」-「DISPLAY」-「OSD OUTPUT」で切り替えることができます。
- 以下の配置はLCD上の位置になります。その他の出力先についてはフォーマットによっては中央寄りになります。



1) タイムコードなど、表示している情報とその種類

CTL	先頭からの相対位置
TCR	記録されたタイムコードデータ
TCR.	VAUX領域に記録されたタイムコードデータ
UBR	記録されたユーザズビットデータ
UBR.	VAUX領域に記録されたユーザズビットデータ
TCG	タイムコードジェネレーターのタイムコードデータ
UBG	タイムコードジェネレーターのユーザズビットデータ
TIME	サブコードに記録された時間情報
DATE	サブコードに記録された日付情報

◆NOTE:

- P2カードから正しくデータを読み取ることができなかったときは、「T*R」や「U*R」が表示されます。
- 第2、第4フィールドの場合にフレームの後ろに「*」が表示されます。
- ドロップフレームのときは、秒の後の「:」コロンが「.」ピリオドになります。

2) カード残量および全容量

カードの残量(記録可能時間)とカードの全容量を分単位で表示します。

◆NOTE:

- 600分以上は、時間(HOUR)単位での表示となり、数字の右に「h」を表示します。
- 残量、カード長情報が確定しないときは、ブランク表示を行います。
- 99時間を超える場合は99hと表示します。

3) 動作状態表示

現在のデッキの状態を表示します。

4) クリップ番号

サムネール表示のクリップ番号を表示します。

5) 圧縮記録フォーマット表示

記録、もしくは記録待機時は圧縮記録フォーマットを表示します。

再生時は、再生しているクリップの圧縮記録フォーマットを表示します。

AVC-Intra(AVC-I)のときはオーディオの量子化ビット数も合わせて表示されます。

6) オーディオレベルメーター表示

記録もしくは記録待機時は入力レベル、再生時は再生している音声レベルを表示します。

また、[AUDIO MON] ボタンの [+]/[-] を押したときは、モニターボリュームの設定値を、オーディオレベルメーターの上の行 (4, 5) に表示します。

7) USB HOST表示

USB HOST端子が有効(外部入力端子が無効)のときに「HOST」が表示されます。

8) バッテリー残量表示

バッテリーの残量が少なくなるにつれ、表示が変わります。



◆NOTE:

- 残量の最後の2段階は表示が点滅します。
- ACアダプター使用時に  以外が表示される場合がありますが、問題ありません。

9) マスター側 / スレーブ側表示

3D録再モード / 同期再生モードのマスター側 / スレーブ側の状態が表示されます。

10) システムフォーマット表示

記録もしくは記録待機時は、設定メニューのシステムフォーマットが表示されます。

再生時は、再生しているクリップのシステムフォーマットが表示されます。

11) システム周波数表示

システムの周波数が表示されます。

12) REMOTE、REF ERROR、TEXT MEMO表示

REMOTE状態のときに「REMOTE」の表示をします。REF IN端子の信号がシステムの周波数と異なる場合やSDI入力信号と同期していない場合など、基準信号に同期できないときに「REF ERROR」の表示をします。メニュー「[SETUP] - 「DISPLAY」 - 「OSD GRADE」で「MODE&TC」設定になっているときにも本項目は表示されます。

また、メニュー「[SETUP] - 「DISPLAY」 - 「OSD TC SELECT」が「T&S&M」以外に設定されているときは、TEXT MEMO、MARKERの付加時のメッセージを表示します (REMOTEが表示されている場合も、一時的に優先して表示します)。

◆NOTE:

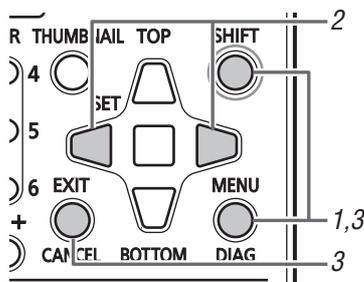
- 「REF ERROR」が表示されているときは、正常に動作しません。接続・入力信号を確認してください。

デッキ情報(ダイアグ)表示

デッキの情報を表示します。デッキの情報にはUSERボタン情報、ビデオ情報、オーディオ情報、ワーニング情報があります。

2 [左] / [右] 十字カーソルボタンを押す

押すたびに、各情報表示が切り替わります。

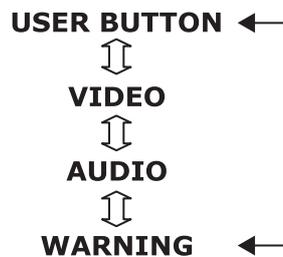


1 [DIAG] ボタンを押す

ユーザーボタンの設定値情報を表示します。
また一度表示を行った後は前回表示したページを開きます。

◆NOTE:

- メニュー表示中は表示されません
- 表示する出力先はメニュー「[SETUP] - 「DISPLAY」 - 「OSD OUTPUT」で切り替えることができます。
- ダイアグ表示中は再生など他の操作はできません。



各項目内容

USER BOTTON:

USER1-6に設定されている機能名および現在の設定値を表示します。

VIDEO:

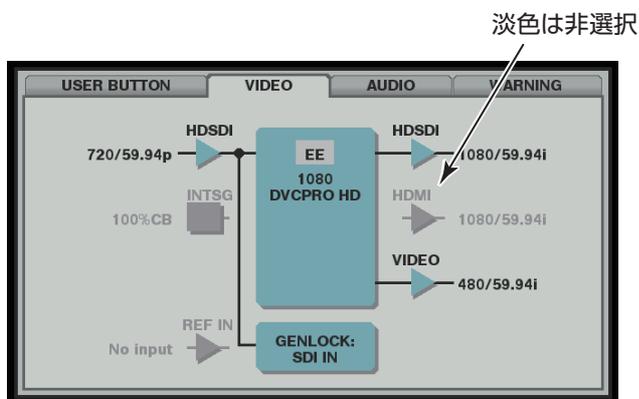
- 入力信号や出力信号のフォーマットや有無
 - システムの圧縮記録フォーマット
 - 基準信号の有無
- などを表示します。

◆NOTE:

- 3D録再モードと同期再生モードでは、「GENLOCK」はスレーブ側の状態を表示します。

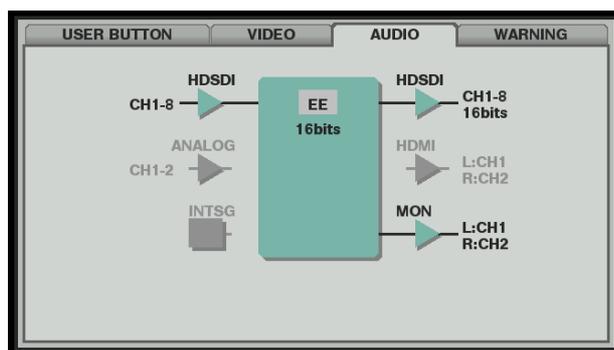
<例>

- 入力はHDSDIを選択し720/59.94P信号を入力
- システムは1080/59.94i、DVCPRO HD
- 出力はSDIを選択
- 基準信号は無入力
- システムの基準はビデオ入力信号基準



AUDIO:

- 入力信号や、チャンネル数
 - オーディオの量子化ビット数
 - 出力信号やチャンネル数
 - モニターチャンネル設定
- などを表示します。



WARNING:

- ワーニング・エラー情報
- (→「ワーニング・エラー情報の詳細」83 ページ)

3 [DIAG] ボタンを押す

元の表示に戻ります。

[EXIT] ボタンまたは[MENU]ボタンを押しても元の表示に戻ります。

ウェーブフォームモニター (WFM)表示

画面に簡易波形モニターを表示し、映像監視などが行えます。

メニュー「SETUP」- 「DISPLAY」- 「WFM TYPE」を設定すると表示できます。

WAVE: 波形を表示

VECTOR: ベクトルを表示

◆NOTE:

- 表示する出力先はメニュー「SETUP」- 「DISPLAY」- 「OSD OUTPUT」で切り替えることができます。
- 表示位置は右上固定です。また各表示の大きさは出力先により異なります。
- メニューおよびサムネール表示中は表示されません。

タイムコード・ユーザーズビット・CTL

タイムコード

タイムコードは、タイムコードジェネレーターによって発生されるタイムコード信号を記録します。タイムコード値はディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。

TCR 00 : 07 : 04 : 24
↑ ↑ ↑ ↑
時 分 秒 フレーム

ユーザーズビット

ユーザーズビットは、タイムコード信号のうちでユーザーに開放された32ビット(8桁)の情報枠のことで、オペレーターナンバーなどを記録することができます。ユーザーズビットに使用できる数字(文字)は0~9とABCDEFです。

CTL

再生時は、先頭から再生している画像までの相対位置が表示されます。記録は、カウンター値が「0:00:00:00」から開始されます。記録終了時は、先頭からの相対位置が表示されます

◆NOTE:

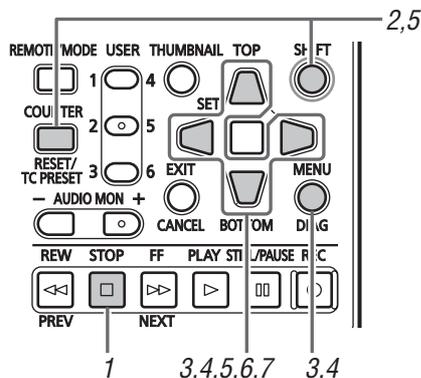
- メニュー「SETUP」-「SYSTEM」-「FREQUENCY」が「23.98 Hz」、「24 Hz」、「59-23」、「60-24」のときには再生画とCTLが1フレームずれることがあります。

タイムコードの設定など

(→設定メニュー「TC / UB / CTL」 63 ページ)

タイムコード/ユーザーズビットの設定

内部モード



1 停止モードにする

[STOP] ボタンを押して、停止モードにしてください。

2 [COUNTER] ボタンで「TC」または「UB」を選択する

3 メニュー「SETUP」-「TC/UB/CTL」-「RUN MODE」でタイムコードジェネレーターの歩進方法を設定する

REC RUN: 記録中のみ歩進させる。

FREE RUN: 動作モードに関係なく歩進させる。

4 メニュー「SETUP」-「TC/UB/CTL」-「TCG MODE」 「UBG MODE」でTCとUBの各モードを設定する

REGEN: P2カードに記録された最終タイムコードとのタイムコードの連続性を保ちます。

REGEN: P2カードに記録された最終タイムコードとのタイムコードの連続性を保つ。

PRESET: TC PRESETボタンで設定された値から記録を開始する。

EXT: 外部タイムコード入力に従って記録する。

5 [TC PRESET] ボタンを使ってタイムコード / ユーザーズビットの開始値を設定する

TC/UBの設定方法:

1) [TC PRESET] ボタンを押す

左端の桁が点滅します。

2) [上] / [下] 十字カーソルボタンを押して値を変更する

3) [左] / [右] 十字カーソルボタンを押して、設定する桁を選択する

選択された桁が点滅します。

設定範囲は次のとおりです。

タイムコード:	[59.94 Hz]
	00:00:00:00 - 23:59:59:29
	[50 Hz]
	00:00:00:00 - 23:59:59:24
	[23.98 Hz][24 Hz][59-23]
	[60-24]
	00:00:00:00 - 23:59:59:23
ユーザーズビット:	00000000 - FF FF FF FF

6 手順2～3を繰り返して、値を変更する

[RESET] ボタンを押すと、プリセット値を0にリセットできます。

7 開始値の設定終了後、[SET] ボタンを押す

メニュー「SETUP」 - 「TC/UB/CTL」 - 「RUN MODE」を「FREE RUN」に設定したときは、すぐにタイムコードの歩進が開始します。

設定をキャンセルするには、[EXIT]ボタンまたは[CANCEL]ボタンを押します。

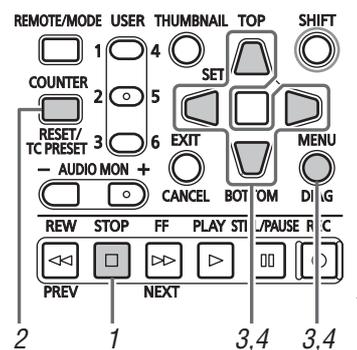
■ 電源供給がないときのタイムコードについて

電源供給がないときもバックアップ機能がはたらいて、タイムコードジェネレーターは長時間(約1年間)動作を続けます。

◆NOTE:

- タイムコードジェネレーターが動作モードに関係なく歩進している下記のときに、バックアップ機能ははたらきます。
 - メニュー「SETUP」 - 「TC/UB/CTL」 - 「TCG MODE」を「PRESET」に設定し、「SETUP」 - 「TC/UB/CTL」 - 「RUN MODE」を「FREE RUN」に設定したとき。
 - メニュー「SETUP」 - 「TC/UB/CTL」 - 「TCG MODE」を「EXT」に設定し、「SETUP」 - 「TC/UB/CTL」 - 「EXT TC SEL」で設定した外部タイムコード入力を、リアパネルの端子から外したとき。
- メニュー「SETUP」 - 「SYSTEM」 - 「FREQUENCY」の設定を変更したとき、歩進データはクリアされます。
- メニュー「SETUP」 - 「BASIC」 - 「VFR REC」が「ON」に設定されている場合、「RUN MODE」は、メニュー設定に関係なく「REC RUN」に設定されます。

外部モード



1 [STOP] ボタンを押して、停止モードにする

2 [COUNTER]ボタンで「TC」を選択する

3 メニュー「SETUP」 - 「TC/UB/CTL」 - 「TCG MODE」 / 「UBG MODE」を「EXT」にする

(外部タイムコードの選択)

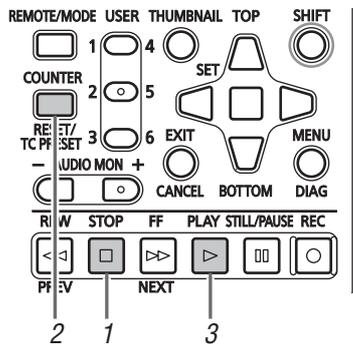
4 メニュー「SETUP」 - 「TC/UB/CTL」 - 「EXT TC SEL」で、外部入力タイムコードの種類を選択する

EXT LTC:	リアパネルのTIME CODE IN端子(BNC)に入力されるLTC信号を記録します。
SLTC:	SDI IN端子に入力されるシリアル信号に付加されるLTC信号を記録します。

◆NOTE:

- 「SLTC」設定時に、入力信号としてSD SDIが選択されているときは、入力ビデオ信号のVITCが記録されます。
- メニュー「SETUP」 - 「SYSTEM」 - 「FREQUENCY」が「59-23」、「60-24」では、メニュー「SETUP」 - 「TC / UB / CTL」 - 「EXT TC SEL」は表示されません。このときSLTC固定となります。
- メニュー「SETUP」 - 「BASIC」 - 「VFR REC」が「ON」に設定されている場合、「TCG MODE」メニューに関係なく「REC RUN」に設定されます。

タイムコード/ユーザーズビットの再生



1 停止モードにする

2 [COUNTER]ボタンで「TC」または「UB」を選択する

3 [PLAY] ボタンを押す

再生が開始され、タイムコードが液晶画面に表示されます。

T * R 00:01:04:07*

" ": 第1、第3フィールド
 "*": 第2、第4フィールド

ドロップフレームモードのときは、秒とフレームの間のコロンが「.」になります。

タイムコード信号が欠如したとき、*表示になります。

設定メニュー

メニュー内容

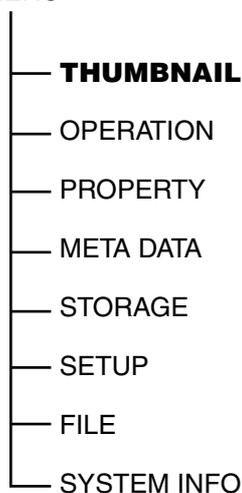
◆NOTE:

- メニュー「SETUP」-「DISPLAY」-「CROSS HATCH」を「OFF」以外に設定して、民生モニターなどに出力信号を入力すると、映像信号のクロスハッチが擬似映像となって現れることがありますので、お気をつけください。

THUMBNAIL

サムネイルの表示設定を行います。

MENU



項目	設定内容および概略機能説明	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
ALL CLIP	全クリップをサムネイルに表示します	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
SAME FORMAT CLIPS	システムフォーマットと同じフォーマットで、かつ、メニュー (AUDIO SMPL RES)で設定した音声ビット数と同じクリップのみをサムネイルに表示します。 NOTE: <ul style="list-style-type: none">•メニュー「SETUP」-「SYSTEM」-「FREQUENCY」が「23.98 Hz」「24 Hz」「59 - 23」「60 - 24」、の場合、記録可能なフォーマットのクリップのみを表示します。•音声記録されていないクリップに対しては、メニュー (AUDIO SMPL RES)の設定値と一致しているものとみなします。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
SELECTED CLIPS	SETボタンで選択したクリップのみをサムネイルに表示します。このときサムネイルの並び順は、選択した順番となります。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

項目	設定内容および概略機能説明	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
MARKED CLIPS	ショットマークが付加されたクリップのみをサムネールに表示します。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	
TEXT MEMO CLIPS	テキストメモデータがあるクリップのみをサムネールに表示します。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	
SLOT CLIPS	選択したスロットのクリップのみをサムネールに表示します。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○		

OPERATION

P2カードのフォーマットやクリップの削除、コピーなどの各種処理を行います。

MENU

- THUMBNAIL
- **OPERATION**
- PROPERTY
- META DATA
- STORAGE
- SETUP
- FILE
- SYSTEM INFO

項目	設定内容および概略機能説明	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
DELETE	選択しているクリップを削除します。 NOTE: • 途中で削除を中止するには、SETボタンまたはCANCEL(SHIFT+EXIT)ボタンを押してキャンセルしてください。途中で削除されたクリップはキャンセルしても戻りません。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	
FORMAT	FORMATメニューを選択後指定するスロットのP2カードをフォーマットします。 NOTE: • フォーマットにより消去されたデータは復元することができませんので、必ずデータを確認した後に実行してください。 • 3D録再モードのときはスロットに挿入されている全カードをフォーマットします。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	

項目	設定内容および概略機能説明	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
REPAIR CLIP	記録中、急に電源が切れるなどの原因で発生した、不具合のある不良クリップインジケータ(黄色の X)が表示されたクリップを、修復します。 NOTE: <ul style="list-style-type: none"> 壊れ方によっては修復できないときがあります。修復不可能な場合は赤色のインジケータ(X)が表示されます。 	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	
RE- CONNECTION	複数のP2カードにまたがって記録されているクリップが連続したクリップとして認識されず、不完全クリップ(I)インジケータが表示されている場合に、この連結機能を使って、連続したクリップ(元の連結したクリップ)に復元することができます。 NOTE: 不完全クリップは以下のようなときにできます。 <ul style="list-style-type: none"> 複数のP2カードに記録されたクリップを、P2カードごとに別々にコピーしたとき。 複数カードに記録されたクリップを、カードごとに別々にストレージデバイスへコピー後、P2カードへ書き戻したとき。 DVCPRO HDまたはAVC Intra100で約5分以上(DVCPRO50またはAVC Intra50では約10分、DVCPRO、DVは約20分以上)の長いクリップをストレージデバイスへコピー後、P2カードに書き戻したとき。 3つ以上に分かれた不完全クリップの一部分のクリップだけを連結しても、元のクリップを構成するすべてのクリップを連結するまでは、不完全クリップマーク(I)が付いたままになります。 	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○		
COPY	選択しているクリップを、任意のP2カードスロットのP2カードやストレージデバイスにコピーします。 NOTE: <ul style="list-style-type: none"> コピー中に電源をOFFにしたり、カードを抜き差ししたりしないでください。不良クリップができます。不良クリップができてしまった場合は、クリップを削除してから、再度コピーを行ってください。 不完全クリップは連結した後でコピーしてください。 	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○		
EXCH.THUMB NAIL	クリップのサムネイルを任意のテキストメモの位置にある映像に変更します。テキストメモクリップを表示中に実行できます。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	
CHANGE PARTITION NAME	ストレージのパーティションの名称を設定・変更します。 NOTE: <ul style="list-style-type: none"> ストレージエクスプローラー時のみ表示されます。 初期値はパーティション作成時の日時です。 TYPE Sのストレージのみ有効です。 	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○		
DELETE LAST PARTITION	ストレージの最後のパーティションを削除します。 NOTE: <ul style="list-style-type: none"> カーソルが最後のパーティションにあるときのみ削除することができます。 ストレージエクスプローラー時のみ表示されます。 	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○		

PROPERTY

クリップやカード情報の詳細表示などへの切り替えや、表示の設定を行います。

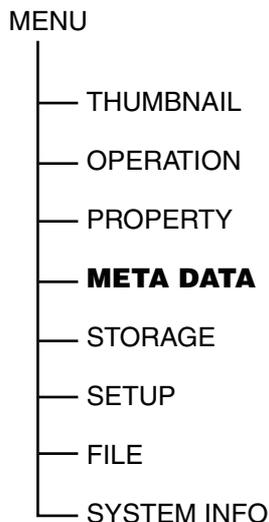
MENU

- THUMBNAIL
- OPERATION
- **PROPERTY**
- META DATA
- STORAGE
- SETUP
- FILE
- SYSTEM INFO

項目	設定内容および概略機能説明 (XXは初期値を表します。)	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
CLIP PROPERTY	クリップの詳細な情報を画面に表示します。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	○
CARD STATUS	P2カードスロットのカード状態を表示します。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	○
DEVICES - SD CARD	SDメモリーカードの情報を表示します。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	○
PROPERTY SETUP - P2 CARD CAP	P2カードの情報を表示するときに、残容量表示あるいは使用済み容量のどちらを表示するかを設定します。 REMAIN: 残容量表示 USED: 使用済み容量表示	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	○
FREE CAP. OF PARTITION	ストレージのサムネール表示のときにパーティション内の空き容量を表示します。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○		

META DATA

メタデータの設定と表示を行います。



項目	設定内容および概略機能説明 (XXは初期値を表します。)	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
LOAD	SDメモリーカードに保存されたメタデータアップロードファイルをロードします。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
RECORD	ロードされているメタデータを記録時に付加するか、付加しないかを設定します。 ON: 付加する OFF: 付加しない	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
USER CLIP NAME	USER CLIP NAMEへ記録するデータを設定します。 RECORD = ONのとき TYPE1: ロードしたデータ設定値を記録する TYPE2: ロードしたデータ+カウンター値を記録する RECORD = OFFのとき TYPE1: GLOBAL CLIP IDと同じ値を記録する TYPE2: CLIP NAMEと同じ値を記録する	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
INITIALIZE	ロードした全メタデータを削除し、初期化します。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
PROPERTY	ロードしたメタデータの確認や修正を行います。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
LANGUAGE	メタデータを表示するときの表示言語を設定します。 ENGLISH: 英語 JAPANESE: 日本語	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

STORAGE

ストレージデバイスの設定や情報の表示切り替えを行います。

MENU

- THUMBNAIL
- OPERATION
- PROPERTY
- META DATA
- **STORAGE**
- SETUP
- FILE
- SYSTEM INFO

項目	設定内容および概略機能説明 (XXは初期値を表します。)	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
EXPORT	カード単位でP2カードからストレージへエクスポート(書き出し)します。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○		
EXPLORE	ストレージの各種情報表示画面へ切り替えます。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○		
SETUP - VERIFY	エクスポート時にベリファイを行うか、行わないかを設定します。 ON : ベリファイを行う OFF : ベリファイを行わない NOTE : • TYPE Sフォーマットのストレージ使用時のみ有効です。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○		
USB HOST	USB HOSTモードとして動作するか、動作しないかを設定します。 ENABLE : USB HOSTモードとして動作します。EEおよび記録はできません。 DISABLE : USB HOSTは動作しません NOTE : • 電源をOFFにすると、次回電源投入時は初期値(DISABLE)に戻ります。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○		

SETUP

本機の各種動作設定を行います。

MENU

- THUMBNAIL
- OPERATION
- PROPERTY
- META DATA
- STORAGE
- **SETUP**
- FILE
- SYSTEM INFO

THUMBNAIL

サムネール関係の設定を行います。

項目	設定内容および概略機能説明 (XXは初期値を表します。)	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
INDICATOR	<p>以下の項目から表示したい項目を選択し、SETを押すとチェックが付きその項目が表示されます。ALL HIDE を選択している場合は他の項目は選択できません。</p> <p>ALL HIDE: インジケータをすべて非表示 MARKER: ショットマークインジケータを表示 TEXT MEMO: テキストメモインジケータを表示 WIDE: ワイドインジケータを表示 PROXY: プロキシインジケータを表示</p> <p>NOTE:</p> <ul style="list-style-type: none"> 上記設定に関わらず不良クリップインジケータ X (黄色)、X (赤)、不明クリップインジケータ ?、不完全クリップインジケータ ! は常に表示されます。 3D録再モードおよび同期再生モードでは、ワイドインジケータは表示されません。 	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	○
DATA DISPLAY	<p>時間表示部に表示する内容を選択します。</p> <p>TC: タイムコード UB: ユーザーズビット TIME: 記録時刻 DATE: 記録日 DATE TIME: 記録日時 CLIP NAME: クリップ名 USER CLIP NAME: ユーザークリップ名の先頭の最大15文字(英語表示の場合) SLOT: スロット番号 THUMBNAIL TC: サムネール位置のタイムコード</p> <p>NOTE:</p> <ul style="list-style-type: none"> 3DモードではSLOTは表示されません。 	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	○

項目	設定内容および概略機能説明 (XXは初期値を表します。)	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
DATE FORMAT	<p>記録日時の表示書式を選択します。</p> <p>Y - M - D: 年月日 M - D - Y: 月日年 D - M - Y: 日月年</p> <p>NOTE:</p> <ul style="list-style-type: none"> この設定は、クリップのプロパティで表示される記録日、DATA DISPLAYでDATEを選択したときに表示される記録日時、およびメタデータのロードなど各種ファイル表示の作成日時にも反映されます。 	<p>59.94Hz 50Hz</p> <p>23.98Hz 24Hz</p> <p>59-23Hz 60-24Hz</p>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
THUMBNAIL SIZE	<p>サムネイルモードで画面に表示されるサムネイルの大きさを設定します。</p> <p>LARGE: 大(サムネイル表示: 3 x 2) NORMAL: 標準(サムネイル表示: 4 x 3)</p>	<p>59.94Hz 50Hz</p> <p>23.98Hz 24Hz</p> <p>59-23Hz 60-24Hz</p>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
PB POSITION	<p>サムネイル画面から再生するときの再生開始位置を設定します。</p> <p>RESUME: 再生を停止した位置から再生 THUMBNAIL TC: サムネイル位置のタイムコードから再生 START TC: スタートタイムコード(クリップの先頭)から再生</p>	<p>59.94Hz 50Hz</p> <p>23.98Hz 24Hz</p> <p>59-23Hz 60-24Hz</p>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
SORT	<p>サムネイルの表示順番を設定します。</p> <p>OFF: 記録日時順 ON: スロット順(同一スロット内のクリップ記録日時順に表示されます)。</p>	<p>59.94Hz 50Hz</p> <p>23.98Hz 24Hz</p> <p>59-23Hz 60-24Hz</p>	<input type="radio"/>		

項目	設定内容および概略機能説明 (XXは初期値を表します。)	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
PROPERTY DISP.	サムネールの左側に表示される簡易プロパティ項目を設定します。 USER CLIP NAME: ユーザークリップ名を表示 START TC: スタートTCを表示 REC DATE: 記録年月日を表示 REC TIME: 記録時刻を表示 NUM. OF AUDIO CH: オーディオチャンネル数を表示 AUDIO RATE: オーディオのサンプリングレートを表示 AUDIO BIT: オーディオのビットレートを表示 CREATOR: 作成者を表示 SHOOTER: 撮影者を表示 PLACE NAME: 撮影地を表示 PROGRAM NAME: プログラム名を表示 SCENE NO.: シーン番号を表示 TAKE NO.: テイク番号を表示 REPORTER: レポーターを表示 PURPOSE: 取材目的を表示 OBJECT: 取材対象を表示 START UB: スタートユーザーズビットを表示 REC RATE: 記録フレームレートを表示 LAST UP DATE: 最終更新日を表示 LAST UP PERSON: 最終更新者を表示 MANUFACTURER: 機材メーカー名を表示 SERIAL NO.: シリアル番号を表示 MODEL NAME: モデル名を表示 ALTITUDE: 高度を表示 LONGITUDE: 経度を表示 LATITUDE: 緯度を表示 THUMBNAIL OFFSET: サムネール記録位置を表示 3D CLIP: クリップが2D / 3D(L) / 3D(R)かを表示 NOTE: <ul style="list-style-type: none"> • 同時に表示できる項目数は最大6項目です。 • 6項目選択した段階で残りの未チェック項目はすべて選択不可となります。 • チェック済みの項目を未チェック状態に戻すことで再び項目の変更が可能になります。 • 3Dモードでは3D CLIPは表示されません。 	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
KEYBOARD	接続するキーボードの種類を設定します。 QWERTY(101) QWERTY(109) AZERTY QWERTZ	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

BASIC

基本動作の設定を行います。

項目	設定内容および概略機能説明 (XXは初期値を表します。)	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
POWER ON GUI	電源投入時にサムネール画面を表示するかを設定します。 THUMBNAIL: サムネール画面を表示する QEE: サムネール画面を表示しない	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	○
STOP EE SEL	停止(STOP)時にEEモードにするか再生モードにするかを選択します。 EE: EEモード PB: 再生モード	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	
VFR REC	記録フォーマットが720pの場合に、VFR(バリアブルフレームレート)記録をするかどうかを選択します。 ON: VFR記録をする OFF: VFR記録をしない	59-23Hz 60-24Hz	○		
LOOP REC	LOOP RECを行うかどうかを選択します。 ON: LOOP RECを行う OFF: LOOP RECを行わない NOTE: • 電源をOFFにすると、次回電源投入時は初期値(OFF)に戻ります。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○		
AUTO REC	カメラレコーダーからのHD SDI入力信号の記録 / 停止信号に従って、自動的に記録 / 停止を行うかどうかを選択します。 TYPE1: HD SDIIに付加されているLTC情報内の記録 / 停止信号に従って自動的に記録 / 停止を行います。 TYPE2: HD SDIIに付加されているSVITC情報内の記録 / 停止信号に従って自動的に記録 / 停止を行います。 TYPE3: 他社製カメラレコーダー使用時に設定します。 OFF: 自動的に記録 / 停止を行いません。 NOTE: • サムネール画面を表示中は、本設定は無効となり動作しません。 • OFF以外に設定し、REMOTEモードのREC PAUSE状態になると、スーパーインポーズ画面にARECと表示されます。 • REMOTEモードに設定してください。 • TYPE1またはTYPE2は、「弊社カメラレコーダー、記録フォーマットと記録 / 停止信号(Recording Mark)」(→62 ページ)を参照してください。 • 自動記録を開始するには、RECボタンとSTILLボタンを同時に押して本機をREC PAUSE状態にしてください。REC PAUSE状態以外では動作しません。また、自動停止を受け付けた後は、REC PAUSE状態になります。 • 通常操作で本機が記録状態にあるときには、本設定は無効となり、自動停止しません。 • TYPE3対応確認機器は、下記のWebサイトをご覧ください。 (日本語) http://panasonic.biz/sav/autorec_j (英語) http://panasonic.biz/sav/autorec_e	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	

項目	設定内容および概略機能説明 (XXは初期値を表します。)	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
OUTPUT REF	<p>ビデオ出力のリファレンスを選択します。</p> <p>AUTO: REF端子に入力されたREF信号をリファレンスとして使用します。REF端子に入力がないときは選択されているビデオ入力信号がリファレンスになります。REF入力信号もビデオ入力信号もないときは内部基準となります。</p> <p>REF: REF入力信号がリファレンスになります。その信号がなければ内部基準となります。</p> <p>INPUT: ビデオ入力信号がリファレンスになります。その信号がなければ内部基準となります。</p> <p>NOTE:</p> <ul style="list-style-type: none"> 2D / 3D時、59.94 Hz, 50 Hz以外では、AUTO固定になります。 3D録再モード時は、スレーブ側の設定となります。マスター側はREF固定になります。 同期再生モード時には、REF設定のみになります。 ビデオ入力信号がINT SGの場合、ビデオ入力信号のリファレンスは内部基準になります。 	59.94Hz 50Hz	○	○	
REPEAT PLAY	<p>再生のときに、リピート再生を行うかどうかを設定します。</p> <p>ON: リピート再生をします。最終クリップを再生後、先頭のクリップから再生を続けます</p> <p>OFF: リピート再生をしません。最終クリップで再生を停止します。</p> <p>NOTE:</p> <ul style="list-style-type: none"> TEXTMEMOの再生時は、リピート再生を行いません。 リピート再生中にP2カードを抜くと、存在しなくなったクリップの再生に到達した時点で再生を中止します。 リピート再生中にP2カードを挿入しても、再生を停止して再度リピート再生を実施するまで、追加されたクリップは再生されません。 	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	○
SHUTTLE MAX	<p>シャトル動作の最大速度を設定します。</p> <p>X8: ×8倍速 X16: ×16倍速 X32: ×32倍速 X60: ×60倍速 X100: ×100倍速</p>	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	○
FF. REW MAX	<p>FF、REW動作の最大速度を設定します。</p> <p>X32: ×32倍速 X60: ×60倍速 X100: ×100倍速 SEEK: クリップの先頭へのシーク(移動)動作</p> <p>NOTE:</p> <ul style="list-style-type: none"> SEEK選択時も9PからのFF、REWコマンドに対しては×100倍速のFF、REW動作となります。ただし、メニュー ID OF 9P REMOTE が ORIGINAL に設定されているときは、9PからのFFおよびREWコマンドにてシーク(移動)動作となります。サムネール画面ではカーソルが左右に移動します。 シーク(移動)動作は、再生モード時に有効となります。 	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	○
SEEK POS SEL	<p>NEXT (SHIFT + FF)、PREV (SHIFT + REW)シーク(移動)動作で移動する位置を選択します。</p> <p>CLIP: クリップの先頭 CLIP&TEXT MEMO: クリップの先頭、およびテキストメモの設定点</p>	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○		
PLAY DELAY	<p>PLAYの立ち上がり時間をフレーム単位で設定します。</p> <p>0~15</p>	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	○

項目	設定内容および概略機能説明 (XXは初期値を表します。)	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
ID OF 9P REMOTE	コントローラーに返すID情報を設定します。 DVCPRO: DVCPRO ORIGINAL: 独自ID OTHER: その他 NOTE: <ul style="list-style-type: none"> 「OTHER」にはDVCPRO以外のVTRのID情報を設定していません。 「ORIGINAL」に設定したとき、サムネールからの再生中に9PリモートからのSTOPコマンドにてSTILL (SHTL + 0.0)になります。また、STANDBY OFFコマンドにてSTOPモードとなり、サムネールに戻ります。 	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	○
LOCAL ENABLE	REMOTEがONのときに、キーパネルで操作できるボタンを制限します。 ENABLE: すべて可能 STOP: STOPボタンのみ可能 DISABLE: すべて不可	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	○
BEEP	ビープ音のON / OFF を切り替えます。 ON: ビープ音を出力します。 OFF: ビープ音を出力しません。 NOTE: <ul style="list-style-type: none"> ビープ音はANALOG AUDIO MON出力端子からも出力されます。 	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	○

弊社カメラレコーダー、記録フォーマットと記録 / 停止信号(Recording Mark)

機種	記録フォーマット	Recording Mark TYPE	備考		
AJ-HDC27F, H	720 / **p over 60p	TYPE1			
AJ-HDX900	720 / 59.94p				
	720 / 23.98p over 59.94p				
	720 / 29.97p over 59.94p				
	720 / 50p				
	720 / 50p over 50p				
AJ-HDX400, A	1080 / 59.94i			TYPE1 / TYPE2	TYPE1で使用の場合はカメラ側設定UB_MODEをFRAM_RATEに設定、TYPE2で使用の場合カメラ側設定VITC_UB_MODEをFRAM_RATEに変更してお使いください。
	1080 / 23.98p over 59.94i				
	1080 / 29.97p over 59.94i				
	1080 / 50i				
	1080 / 25p over 50i				
AJ-HDX400E	1080 / 50i				
	1080 / 25p over 50i				
AG-HPX555	720 / **p	1080 / **i			
AG-HPX175					
AG-HPX305					
AG-HPX375					
AJ-HPX2100					
AJ-HPX3000*1					
AJ-HPX2700					
AJ-HPX3100					
AJ-HPX3700*1					

*1記録フォーマットは1080 / **iのみとなります。

TC / UB / CTL

タイムコード関係の設定を行います。

項目	設定内容および概略機能説明 (XXは初期値を表します。)	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
CTL DISPLAY	CTLカウンター表示の12 / 24時間表示を選択します。 ±12h : 12時間表示 24h: 24時間表示	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	○
VITC BLANK	再生時、メニュー VITC POS-1と VITC POS-2で指定した位置に VITC信号を出力するかどうかを選択します。 BLANK : 出力しません。 THROUGH : 出力します。 NOTE : <ul style="list-style-type: none"> 本設定は、VIDEO出力およびSD SDI出力にのみ有効です。 EE時は、入力信号に多重されたVITC信号がそのまま出力されます。 	59.94Hz 50Hz	○	○	○
VITC POS-1	VITC信号の挿入位置を設定します。 59.94 Hz設定時: LINE 10 ~ LINE 16 ~ LINE 20 50 Hz設定時: LINE 7 ~ LINE 11 ~ LINE 22 NOTE : <ul style="list-style-type: none"> メニュー VITC POS-2と同じラインは選択できません。 本設定は、VIDEO出力および SD SDI出力にのみ有効です。 RESETボタンを押しても工場出荷時設定に戻りません。 メニュー「SETUP」-「SYSTEM」-「FREQUENCY」で23.98 Hz、24 Hz、59 - 23、60 - 24が選択されているときは、VITC信号を出力しません 	59.94Hz 50Hz	○	○	○
VITC POS-2	VITC信号の挿入位置を設定します。 59.94 Hz設定時: LINE 10 ~ LINE 18 ~ LINE 20 50 Hz設定時: LINE 7 ~ LINE 12 ~ LINE 22 NOTE : <ul style="list-style-type: none"> メニュー VITC POS-1と同じラインは選択できません。 本設定は、VIDEO出力およびSD SDI出力にのみ有効です。 RESETボタンを押しても工場出荷時設定に戻りません。 メニュー「SETUP」-「SYSTEM」-「FREQUENCY」で23.98 Hz、24 Hz、59-23、60-24が選択されているときは、VITC信号を出力しません。 	59.94Hz 50Hz	○	○	○
TCG MODE	内蔵タイムコードジェネレーターのTCの動作モードを設定します。 REGEN : P2カードに記録された最終のタイムコードとの連続性を保つように内蔵タイムコードジェネレーターを同期させます。 PRESET : TC PRESETボタンで設定された値から記録を開始します。 EXT : タイムコード入力端子または、映像信号のVITC、SLTCから入力する外部タイムコードを使用します。選択はメニュー「EXT TC SEL」で設定します。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	
UBG MODE	内蔵タイムコードジェネレーターのUBの動作モードを設定します。 REGEN : P2カードに記録された最終のユーザーズビットに内蔵タイムコードジェネレーターを同期させます。 PRESET : TC PRESETボタンで設定された値から記録を開始します。 EXT : タイムコード入力端子または、映像信号のVITC、SLTCから入力する外部UBを使用します。選択はメニュー「EXT TC SEL」で設定します。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	

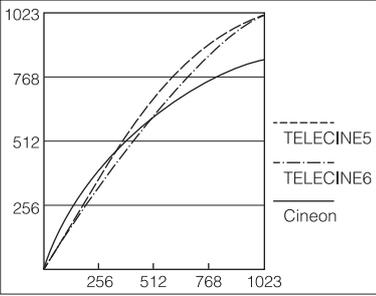
項目	設定内容および概略機能説明 (XXは初期値を表します。)	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
RUN MODE	内蔵タイムコードジェネレーターが歩進する動作モードを設定します。 REC RUN: 記録中のみ歩進します。 FREE RUN: 電源が投入されている間、動作モードに関係なく歩進します。 NOTE: • メニュー「SETUP」-「BASIC」-「VFR REC」が「ON」に設定されている場合は、FREE RUNが選択されていても記録中のみ歩進します。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	
EXT TC SEL	外部タイムコードを用いるときに使用するタイムコードを設定します。 EXT LTC: TIME CODE IN端子のLTCを使用します。 SLTC (VITC): HD SDI INに入力されたシリアル信号に付加されているLTC情報を使用します。メニュー「SETUP」-「SYSTEM」-「FORMAT」が480iまたは576iが設定されているときはSD SDI INに入力されたVITC情報を使用します。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz	○	○	
DF MODE	CTLおよびTCGのDF / NDFモードを設定します。 DE: ドロップフレームモードを使用します。 NDF: ノンドロップフレームモードを使用します。	59.94Hz	○	○	○
HD EMBD VITC	HD SDI出力にVITC情報を重畳するかしないかを選択します。 ON: VITCを重畳します。 OFF: VITCは重畳しません。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	○
HD EMBD LTC	HD SDI出力にLTC情報を重畳するかしないかを選択します。 ON: LTCを重畳します。 OFF: LTCは重畳しません。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	○
TC OUTPUT REF	「TCG MODE」設定が「EXT」のとき、外部LTC入力に対してTIME CODE OUT端子から出力されるタイムコードの位相を切り替えます。(EEモード時のみ) VOUT: 出力映像に合わせます。 TC IN: 外部タイムコード入力に合わせます。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz	○	○	

VIDEO

ビデオ関係の設定を行います。

項目	設定内容および概略機能説明 (XXは初期値を表します。)	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
INPUT SEL	ビデオの入力信号を選択します。 SDI: SDI端子を選択します。 INT SG: 内部の信号発生器を選択します。信号は、メニュー「INT SG」で選択された内部信号に切り替わります。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	
INT SG	内蔵信号の種類を設定します。SMPTE、ARIB信号は、HDモードのみ有効(SDモード時はブラック)です。 100%CB: 100%カラーバー 75%CB: 75%カラーバー SMPTE: SMPTEカラーバー ARIB: ARIBカラーバー BLACK: ブラック	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	

項目	設定内容および概略機能説明 (XXは初期値を表します。)	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
CC (F1) BLANK	SD SDIおよびアナログコンポジット出力から出力される第1フィールドのクローズドキャプション信号のON / OFFを選択します。 BLANK: 強制ブランキングします。 THROUGH: ブランキングしません。 NOTE: • EE時は入力信号に多重されたクローズドキャプションがそのまま出力されます。	59.94Hz	○		○
CC (F2) BLANK	SD SDIおよびアナログコンポジット出力から出力される第2フィールドのクローズドキャプション信号のON / OFFを選択します。 BLANK: 強制ブランキングします。 THROUGH: ブランキングしません。 NOTE: • EE時は入力信号に多重されたクローズドキャプションがそのまま出力されます。	59.94Hz	○		○
CC REC	SD SDI入力信号に多重されたクローズドキャプション信号を記録するかどうかを選択します。 ON: 入力信号にクローズドキャプション信号が多重されている場合に記録します。 OFF: 記録しません。EE出力もブランキングされます。	59.94Hz	○		
COMPRESSION MODE	記録時に行う映像の圧縮処理方法を選択します。 DARK: 約10IRE(70 mV)以下の暗い部分に発生する圧縮映像ひずみを少なくして記録します。 NORMAL: 通常の圧縮処理で記録します。 NOTE: • 本設定は、DVCPRO HD 720pモードで記録する場合に有効になります。	59.94Hz 50Hz 59-23Hz 60-24Hz	○		
WIDE SEL	メニュー「SETUP」-「SYSTEM」-「FORMAT」= 480iまたは576i設定時、WIDE情報を記録するかどうかを選択します。 WIDE: 記録する NORMAL: 記録しない	59.94Hz 50Hz	○		
EDH(SD)	SDI OUTにEDHを重畳するかどうかを選択します。 ON: 重畳する OFF: 重畳しない	59.94Hz 50Hz	○		
OUTPUT SEL	デジタル音声・映像を出力する出力端子を選択します。 メインモードのとき SDI: SDI端子から出力する HDMI: HDMI端子から出力する 3D録再モードおよび同期再生モードのとき SDI(S / S): SDI端子からサイドバイサイド方式で出力する DISCRETE L / R: SDI端子からサイマルキャスト方式で出力する HDMI(S / S): HDMI端子からサイドバイサイド方式で出力する HDMI(FP): HDMI端子からフレームパッキング方式で出力する	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	○
DISCRETE BLACK	「OUTPUT SEL」が「DISCRETE L / R」に設定されているときに、PLAY、STILL以外の再生モードにてマスター側の出力画を選択します。スレーブ側はブラック出力となります。 ON: ブラック出力 OFF: 再生画を出力	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz		○	○

項目	設定内容および概略機能説明 (XXは初期値を表します。)	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
OUTPUT FORMAT	<p>ビデオ出力端子から出力される映像信号を選択します。</p> <p>59.94 Hz設定時 AUTO: 現在の記録、再生フォーマットに従って、自動的に出力を切り替えます。 1080i: 1080 / 59.94i 720p: 720 / 59.94P 480i: 480 / 59.94i</p> <p>50 Hz設定時 AUTO: 現在の記録、再生フォーマットに従って、自動的に出力を切り替えます。 1080i: 1080 / 50i 720p: 720 / 50P 576i: 576 / 50i</p> <p>NOTE:</p> <ul style="list-style-type: none"> • AUTO以外を選択した場合、記録、再生フォーマットと異なる信号は自動的に変換されて出力します。 • 3D録再モードおよび同期再生モード時は、480iまたは576iは選択できません。 • 同期再生モードでは、AUTO設定時、480i / 576iフォーマットのクリップを再生すると、SDI出力はメニュー「SYSTEM」 - 「FORMAT」で設定したフォーマットに変換され出力されます 	59.94Hz 50Hz			
DOWNCONV. MODE	<p>ダウンコンバーター出力時のアスペクト比を選択します。</p> <p>CROP: サイドカットモード LT-BOX: レターボックスモード SQUEEZE: スクウィーズモード</p>	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 59-23Hz			
UPCONV. MODE	<p>アップコンバーター出力時のアスペクト比を選択します。</p> <p>SIDE PANEL: サイドパネルモード CROP: 垂直方向の上部と下部のカット STRETCH: ストレッチモード</p>	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 59-23Hz			
GAMMA SELECT	<p>ガンマ補正の選択を行います。</p> <p>GAMMA1: VaricamやAJ-HPX3100のFILM RECモードで撮影された映像を、フィルム質感の映像(AJ-GBX27GにおけるHD Gamma CorrectorのTelecine 5相当)に補正します。</p> <p>GAMMA 2: VaricamやAJ-HPX3100のFILM RECモードで撮影された映像を、フィルム質感の映像(AJ-GBX27GにおけるHD Gamma CorrectorのTelecine 6相当)に補正します。</p> <p>GAMMA 3: VaricamやAJ-HPX3100のFILM RECモードで撮影された映像を、フィルムレコーディングに適したCineonカーブに変換します。</p> <p>OFF: ガンマ補正を行いません。</p>  <p>NOTE:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本設定は、再生時に有効になります。 • OFF以外を選択した場合、OSDにガンマ補正值(GM*)が常時表示されます。 • 本機の電源をOFFにすると、このGAMMA設定もOFFに戻ります。 	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz			

AUDIO

オーディオ関係の設定を行います。

項目	設定内容および概略機能説明 (XXは初期値を表します。)	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
INPUT SEL	オーディオの入力信号を選択します。 SDI : SDI端子を選択します。 ANALOG : ANALOG AUDIO IN端子を選択します。 INT SG : 内部の信号発生器を選択します。 NOTE : • 3D録再モードおよび同期再生モードでANALOG選択時は、ス レープ側のオーディオはミュートとなります。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
CH1 INPUT LEVEL	アナログオーディオ入力CH1のレベルを選択します。 4 dB 0 dB -3 dB -20 dB	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
CH2 INPUT LEVEL	アナログオーディオ入力CH2のレベルを選択します。 4 dB 0 dB -3 dB -20 dB	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
REF LEVEL	基準レベルを選択します。 FS-20 : -20 dB FS-18 : -18 dB FS-12 : -12 dB	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
EMBD CH SEL	SD SDI出力に多重するチャンネルを設定します。 CH1-4 : CH1-4の4チャンネルを出力します。 CH5-8 : CH5-8の4チャンネルを出力します。 CH1-8 : CH1-8の8チャンネルを出力します。 NOTE : • DV、DVCPRO、DVCPRO50を再生した場合は常にCH1-4の4 チャンネルが多重されます。 • 受信する機器によっては8チャンネル受信できない場合があり ます。CH1-8を設定する場合は受信機器の仕様を確認のうえご 使用ください。	59.94Hz 50Hz	<input type="radio"/>		
MONITOR CH	モニター出力に出力する音声を選択します。CH1とCH2の出力を選 択します。また、HDMI出力の音声もこの設定に従います。 CH1 / CH2 : LにCH1、RにCH2を出力します。 CH3 / CH4 : LにCH3、RにCH4を出力します。 CH1 + 3 / CH2 + 4 : LにCH1 + 3、RにCH2 + 4を出力します。 CH5 / CH6 : LにCH5、RにCH6を出力します。 CH7 / CH8 : LにCH7、RにCH8を出力します。 CH5 + 7 / CH6 + 8 : LにCH5 + 7、RにCH6 + 8を出力します。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
SPEAKER OUT	スピーカーへの出力ON / OFFを切り替えます。 ON : スピーカーから出力します。 OFF : スピーカーから出力しません。(BEEP音も出力しません。)	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
LEVEL METER	オーディオメーターで表示するチャンネルを切り替えます。 CH1-4 : CH1から4のレベルを表示します。 CH5-8 : CH5から8のレベルを表示します。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

DISPLAY

表示関係の設定を行います。

項目	設定内容および概略機能説明 (XXは初期値を表します。)	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
OSD OUTPUT	サムネール画面やメニュー、ダイアグなどの画面表示をVIDEO OUT や SDI OUTへ出力するかを設定します。 LCD : 出力しません(液晶モニターのみに表示) LCD&VIDEO : VIDEO OUTへ出力します。 ALL : VIDEO OUTとSDI OUT両方へ出力します。 NOTE : <ul style="list-style-type: none"> メニュー「SETUP」-「SYSTEM」-「FREQUENCY」設定が「23.98 Hz」および「59-23」のときは、LCDとLCD&VIDEOのみ設定可能です。 「ALL」選択はメインモードのみ可能です。 	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 59-23Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
OSD GRADE	ビデオ画面でのスーパー表示を設定します。 ALL : すべてを表示します。 MODE&TC : モードとタイムコードを表示します。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
OSD TC SELECT	スーパー表示内容を設定します。 ここで、データとはCOUNTERボタンで選択されているCTL / TC / UBの値のことを指します。 TIME : データ T&STA : データ・動作状態 T&S&M : データ・動作状態・クリップ番号・映像フォーマット・音声ビット数 T&RT : データ・REC TIME T&RD : データ・REC DATE T&UB : データ・ユーザーズビット ただし、COUNTERボタンでUBを選択しているときは、ユーザーズビットの次にタイムコードが表示されます。 T&CTL : データ・CTL ただし、COUNTERボタンでCTLを選択しているときは、CTLデータの次にタイムコードが表示されます。 T&T : データ・タイムコード NOTE : <ul style="list-style-type: none"> T&S&Mに設定したときは、ワーニングやエラーが発生するとエラーメッセージがスーパー表示されます。 音声ビット数は、オーディオデータがないクリップの場合も16bと表示されます。 	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
WFM TYPE	ウェーブフォーム、ベクトルモニター表示を選択します。 WAVE : 波形表示 VECTOR : ベクトル表示 QFE : 表示しません	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
CROSS HATCH	SDIまたはHDMI出力へのクロスハッチ表示を選択します。 1%~6%: 1%幅で表示します。 QFE : 表示しません NOTE : <ul style="list-style-type: none"> 480iまたは576i出力時には表示されません。 3D録再モードおよび同期再生モードにて、メニュー「SETUP」-「VIDEO」-「OUTPUT SEL」が「HDMI(FP)」に設定している場合には表示されません。 	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4:3 MARKER	液晶モニターに4:3 マーカーを表示するかどうかを設定します。 ON : 表示します。 QFE : 表示しません。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>		

LCD

LCD表示関係の設定を行います。

項目	設定内容および概略機能説明 (XXは初期値を表します。)	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
TIMEOUT	いずれかの操作を行った後一定時間(約5分)が経過すると、自動的に液晶モニターのLCDを消すことができます。 5min: 自動的にLCDが消えます。 OFF: LCDは消えません。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
BACKLIGHT	液晶モニターのバックライトの明るさの調整を行います。 LIGHT: 明るい DARK: 暗い	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
COLOR LEVEL	液晶モニターの色合いの調整を行います。 15 ~ 0 ~ -15	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
BRIGHTNESS	液晶モニターの明るさの調整を行います。 15 ~ 0 ~ -15	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
CONTRAST	液晶モニターのコントラストの調整を行います。 30 ~ 0 ~ -30 NOTE: • この設定値とR,G,Bのコントラストの設定をかけた値がR,G,Bそれぞれのコントラスト調整値となります。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
R CONTRAST	液晶モニターのR(Red)のコントラストの調整を行います。 30 ~ 0 ~ -30 NOTE: • この設定値とCONTRASTの設定値をかけた値が調整値となります。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
G CONTRAST	液晶モニターのG(Green)のコントラストの調整を行います。 30 ~ 0 ~ -30 NOTE: • この設定値とCONTRASTの設定値をかけた値が調整値となります。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
B CONTRAST	液晶モニターのB(Blue)のコントラストの調整を行います。 30 ~ 0 ~ -30 NOTE: • この設定値とCONTRASTの設定値をかけた値が調整値となります。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

USER BUTTON

[USER1] ~ [USER6]の各ボタンにメニューで設定した特定の機能を割り振ることができます。設定は内部に保存され、電源のオフ・オンを行ってもそのまま利用できます。また割り振られた機能や設定はダイアグ表示で確認することもできます。

項目	設定内容および概略機能説明 (XXは初期値を表します。)	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
USER1	TEXT MEMO: テキストメモボタンとして機能します。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	MARKER: マーカーON / OFFボタンとして機能します。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	DELETE: MENU - OPERATION - DELETEショートカットボタンとして機能します。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	FORMAT: MENU - OPERATION - FORMATショートカットボタンとして機能します。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	COPY: MENU - OPERATION - COPYショートカットボタンとして機能します。		<input type="radio"/>		
	CLIP PROPERTY: MENU - PROPERTY - CLIP PROPERTYショートカットボタンとして機能します。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	CARD STATUS: MENU - PROPERTY - CARD STATUSショートカットボタンとして機能します。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	STORAGE EXPLORE: MENU - STORAGE - EXPLOREショートカットボタンとして機能します。		<input type="radio"/>		
	REC VOLUME: 記録ボリュームの設定ボタンとして機能します。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	ONE CLIP PLAY: 単一クリップ再生ボタンとして機能します。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	SLOT CLIPS: サムネール画面の表示をSELECTED CLIPS→SLOT1→SLOT2→と切り替えます。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	SLOT SEL: 記録するP2カードスロットを変更します。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	DATA DISPLAY: MENU - SETUP - THUMBNAIL - DATA DISPLAYの設定を変更します。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	STOP EE SEL: MENU - SETUP - BASIC - STOP EE SELの設定を変更します。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	OUTPUT REF: MENU - SETUP - BASIC - OUTPUT REFの設定を変更します。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	SEEK POS SEL: MENU - SETUP - BASIC - SEEK POS SELの設定を変更します。		<input type="radio"/>		
	CTL DISPLAY: MENU - SETUP - TC / UB / CTL - CTL DISPLAYの設定を変更します。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	TCG MODE: MENU - SETUP - TC / UB / CTL - TCG MODEの設定を変更します。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	UBG MODE: MENU - SETUP - TC / UB / CTL - UBG MODEの設定を変更します。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	RUN MODE: MENU - SETUP - TC / UB / CTL - RUN MODEの設定を変更します。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	EXT TC SEL: MENU - SETUP - TC / UB / CTL - EXT TC SELの設定を変更します。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	VIDEO IN SEL: MENU - SETUP - VIDEO - INPUT SELの設定を変更します。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	INT SG: MENU - SETUP - VIDEO - INT SGの設定を変更します。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
AUDIO IN SEL: MENU - SETUP - AUDIO - INPUT SELの設定を変更します。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
MONITOR CH: MENU - SETUP - AUDIO - MONITOR CHの設定を変更します。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

項目	設定内容および概略機能説明 (XXは初期値を表します。)	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
USER1	LEVEL METER: MENU - SETUP - AUDIO - LEVEL METERの設定を変更します。		○	○	○
	OSD OUTPUT: MENU - SETUP - DISPLAY - OSD OUTPUTの設定を変更します。		○	○	○
	OSD GRADE: MENU - SETUP - DISPLAY - OSD GRADEの設定を変更します。		○	○	○
	WFM TYPE: MENU - SETUP - DISPLAY - WFM TYPEの設定を変更します。		○	○	○
	CROSS HATCH: MENU - SETUP - DISPLAY - CROSS HATCHの設定を変更します。		○	○	○
	USB HOST: MENU - STORAGE - USB HOSTの設定を変更します。		○		
	NOTE: <ul style="list-style-type: none"> 既にチェックで設定されている項目で[SET]ボタンを押すと、割り当てが解除されます。 同じ項目を他のUSERボタンに設定することも可能です。 				
USER2	USER1と同様 工場出荷時設定は MONITER.CH です。				
USER3	USER1と同様 工場出荷時設定は TEXT MEMO です。				
USER4	USER1と同様 工場出荷時設定は COPY です。				
USER5	USER1と同様 工場出荷時設定は LEVEL METER です。				
USER6	USER1と同様 工場出荷時設定は MARKER です。				

SYSTEM

周波数などの機器設定を行います。

項目	設定内容および概略機能説明 (XXは初期値を表します。)	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
FREQUENCY	<p>システム周波数の選択を行います。</p> <p>59.94 Hz: 59.94 Hzのシステム周波数を選択します。</p> <p>50 Hz: 50 Hzのシステム周波数を選択します。</p> <p>23.98 Hz: 23.98 Hzのシステム周波数を選択します。</p> <p>24 Hz: 24 Hzのシステム周波数を選択します。</p> <p>59-23: 23.98 Hzのシステム周波数を選択します。</p> <p>入力は59.94 Hzで受け付けます。AJ-HDC27Hなどから出力される2:3プルダウンされた24フレームの信号を記録する場合に選択します。</p> <p>60-24: 24 Hzのシステム周波数を選択します。</p> <p>入力は60 Hzで受け付けます。AJ-HDC27Hなどから出力される2:3プルダウンされた24フレームの信号を記録する場合に選択します。</p> <p>NOTE:</p> <ul style="list-style-type: none"> この項目の設定を変更しただけでは、設定内容が本機に反映されません。設定内容を本機に反映するためには、再起動が必要です。再起動が必要な場合は、確認のダイアログが表示されます。 3D録再モードおよび同期再生モード時には、非表示となり切り替えはできません。MAINモードでのみ切り替え可能となります。 59 - 23, 60 - 24時には、3D録再モードおよび同期再生モードへの移行はできません。 	<p>59.94Hz 50Hz</p> <p>23.98Hz 24Hz</p> <p>59-23Hz 60-24Hz</p>	○		
FORMAT	<p>本機の記録/システムフォーマットを設定します。</p> <p>1080i (1080p): 1080iモード(59.94Hz, 50Hz設定時) / 1080pモード(59-23設定時)</p> <p>720p: 720pモード</p> <p>480i (576i): 480iモード(59.94Hz設定時) / 576iモード(50Hz設定時)</p> <p>NOTE:</p> <ul style="list-style-type: none"> メニュー「FREQUENCY」で「23.98 Hz, 24 Hz」が選択されている場合は表示されません。記録フォーマットは1080pとなります。 メニュー「FREQUENCY」で「60 - 24」が選択されている場合は表示されません。記録フォーマットは720pとなります。 3D録再モードおよび同期再生モードでは、「1080i(1080p)」または「720p」選択のみとなります。 	<p>59.94Hz 50Hz</p> <p>23.98Hz 24Hz</p> <p>59-23Hz 60-24Hz</p>	○	○	○
REC FORMAT(SD)	<p>FORMATが480iまたは576iに設定されている場合の記録フォーマットを選択します。</p> <p>DV: DV(25 Mbps)を選択します。</p> <p>DVCPRO: DVCPRO(25 Mbps)を選択します。</p> <p>DVCPRO50: DVCPRO50(50 Mbps)を選択します。</p>	<p>59.94Hz 50Hz</p>	○		
REC FORMAT(HD)	<p>FORMATが1080i, 1080pまたは720pに設定されている場合の記録フォーマットを選択します。</p> <p>DVCPRO HD: DVCPRO HD(100 Mbps)を選択します。</p> <p>AVC-I 50: AVC-Intra 50を選択します。</p> <p>AVC-I 100: AVC-Intra 100を選択します。</p> <p>NOTE:</p> <ul style="list-style-type: none"> メニュー「FREQUENCY」が「23.98 Hz, 24 Hz」を選択されている場合は、DVCPRO HDは選択できません。また、「FORMAT」が「1080p」を選択されている場合は「DVCPRO HD」に設定してもDVCPRO HD記録できません。AVC-Intra 100記録となります。 3D録再モードのとき、DVCPRO HDは選択できません。 	<p>59.94Hz 50Hz</p> <p>23.98Hz 24Hz</p> <p>59-23Hz 60-24Hz</p>	○	○	

項目	設定内容および概略機能説明 (XXは初期値を表します。)	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
AUDIO SMPL RES	記録フォーマットがAVC-Intra100 / AVC-Intra50の場合の音声記録の量子化ビット数を選択します。 16BIT: 音声記録ビット数を16ビットとします。8チャンネル記録になります。 24BIT: 音声記録ビット数を24ビットとします。4チャンネル記録になります。 NOTE: • 記録フォーマットがDVCPRO HD, DVCPRO50, DVCPRO, DVの場合は16ビットとなります。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	
25M REC CH	DVCPRO(25 Mbps)またはDV(25 Mbps)を記録する場合のオーディオのチャンネル数を設定します。 0: 2チャンネル(2CH)記録する 1: 4チャンネル(4CH)記録する NOTE: • AVC-Intra50, AVC-Intra100ではAUDIO SMPL RESが16BITの場合は4チャンネル, 24BITの場合は8チャンネルを, DVCPRO HDでは常に8チャンネルを, DVCPRO50では常に4チャンネルを記録します。	59.94Hz 50Hz	○		
SYS H(HD)	HD SDI出力のシステム位相を調整します。(13.5nsステップ) 2750 ~ 0 ~ -2750 -: 位相が進みます。 +: 位相が遅れます。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	○
SYS H(SD)	アナログコンポジット出力およびSD SDI出力のシステム位相を調整します。(37nsステップ) 1728 ~ 0 ~ -1728 -: 進み +: 遅れ	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 59-23Hz	○		
AUTO POWER OFF	ボタンの操作がなかったときに、電源を自動的にOFFにするまでの時間を設定します。 10min: 非操作10分で電源をオフします。 30min: 非操作30分で電源をオフします。 60min: 非操作60分で電源をオフします。 90min: 非操作90分で電源をオフします。 120min: 非操作120分で電源をオフします。 QFE: 本機の電源をOFFにせずに通電状態を保持します。 NOTE: • この設定が「OFF」以外となっても、再生中(可変速再生、早送り/早戻し再生、一時停止含む)および記録中は、電源OFFになりません。 • USBケーブルで外部機器と接続して通信状態になっているときは、上記ボタンの操作がなかった場合でも電源OFFにはなりません。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	○
CLOCK SET	本機の内蔵カレンダーおよび時計を設定します。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	○

FILE

メニューの設定をSDメモリーカードへ書き出しおよび読み込みをすることができます。また、メニューの設定を工場出荷状態に初期化することができます。

MENU

- THUMBNAIL
- OPERATION
- PROPERTY
- META DATA
- STORAGE
- SETUP
- **FILE**
- SYSTEM INFO

項目	設定内容および概略機能説明	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
LOAD	<p>ロードしたいデータを選択すると、SDメモリーカード内のファイル一覧が表示されます。指定したファイルを読み込みます。</p> <p>ALL: メニュー内の全データ W / O SYSTEM: SETUPのSYSTEM以外の項目</p> <p>NOTE:</p> <ul style="list-style-type: none"> • ALLを選択しても、バックアップ対象外のメニュー項目はLOADされません。 バックアップ対象外のメニューは 「STORAGE」- 「USB HOST」 「SETUP」 - 「BASIC」 - 「LOOP REC」 「SETUP」 - 「BASIC」 - 「GAMMA SEL」 です。 • 3D録再モードおよび同期再生モードでは、ALLを選択しても「SETUP」 - 「SYSTEM」 - 「FREQUENCY」で設定した値はLOADされません。 	<p>59.94Hz 50Hz</p> <p>23.98Hz 24Hz</p> <p>59-23Hz 60-24Hz</p>	○	○	○
SAVE AS	<p>保存したいデータを選択した後、ファイル名を入力してSDメモリーカードに保存します。</p> <p>ALL: メニュー内の全データ W / O SYSTEM: SETUPのSYSTEM以外の項目</p>	<p>59.94Hz 50Hz</p> <p>23.98Hz 24Hz</p> <p>59-23Hz 60-24Hz</p>	○	○	○
SDCARD PROPERTY	SDメモリーカードの容量や使用量などを表示します。	<p>59.94Hz 50Hz</p> <p>23.98Hz 24Hz</p> <p>59-23Hz 60-24Hz</p>	○	○	○
SDCARD FORMAT	SDメモリーカードのフォーマットをします。	<p>59.94Hz 50Hz</p> <p>23.98Hz 24Hz</p> <p>59-23Hz 60-24Hz</p>	○	○	○
INITIAL MENU	<p>メニューの設定を工場出荷状態に初期化します。</p> <p>ALL: メニュー内の全データ W / O SYSTEM: SETUPのSYSTEM以外の項目</p> <p>NOTE:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 3D録再モードおよび同期再生モードでは、ALLを選択しても「SETUP」 - 「SYSTEM」 - 「FREQUENCY」で設定した値は初期化されません。 	<p>59.94Hz 50Hz</p> <p>23.98Hz 24Hz</p> <p>59-23Hz 60-24Hz</p>	○	○	○

LOAD

1 MENUを開きます。

SDメモリーカードを挿入し、メニュー「FILE」-「LOAD」から読み込む項目を選択します。

ALL(全項目のデータ)またはW/O SYSTEM(メニュー「SETUP」-「SYSTEM」以外の項目)を選択し、[SET] ボタンを押します。

2 FILEを選択します。

ファイルリストから読み込むファイルを選択し、[SET] ボタンを押します。

- 拡張子は表示されません。
- ALLを選択した場合、書き込み時にW/O SYSTEMを選択したファイルはリストに表示されません。



確認ダイアログが表示されます。

3 「YES」/「NO」の確認があるので、「YES」へカーソルを移動して[SET] ボタンを押します。

- ALLを選択して全項目の読み込みを行うときに、「SETUP」-「SYSTEM」-「FREQUENCY」が現在の設定と異なる場合には、システムが自動的に再起動します。

SAVE

1 MENUの選択をします。

SDメモリーカードを挿入し、[FILE]-[SAVE AS]から保存するメニュー項目を選択します。

ALL(全項目のデータ)またはW/O SYSTEM([SETUP]-[SYSTEM]以外の項目のデータ)を選択し、[SET]ボタンを押します。

- SDメモリーカードがフォーマットされていない場合には、[FILE]-[SDCARD FORMAT]によりフォーマットを行ってください。
- 書き込み禁止状態では、[SAVE AS]、[SDCARD FORMAT]の操作はできません。

2 FILE名の入力をします。

ファイル名を8文字までの長さで入力してください。拡張子は自動的に付加されます。

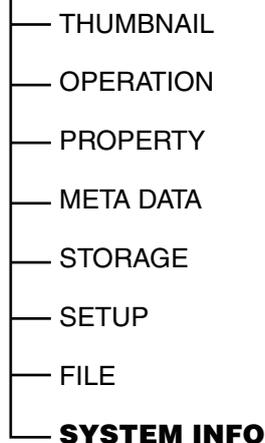
- デフォルトでは月日時分のファイル名が表示されています。
- 同じファイル名で保存することはできません。



SYSTEM INFO

システムの情報を表示します。

MENU



記録 / 再生中や、HDD EXPLOREからは表示できません。

項目	設定内容および概略機能説明	SYSTEM FREQによる 表示項目	モード		
			2D (メイン)	3D	SYNC PB
VERSION	ファームウェアのバージョンを表示します。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	○
MODEL	モデル名とシリアル番号を表示します。	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	○
HOURL METER	アワーメーターを表示します。 OPERATION: 電源ON時間 POWER ON: 電源ON回数 LCD ON: LCD点灯時間	59.94Hz 50Hz 23.98Hz 24Hz 59-23Hz 60-24Hz	○	○	○

■ メニューリセット

項目リセット

各項目の選択状態において、[RESET]ボタンを押すことで、その項目のリセットが可能です。
[RESET]ボタンを押すとすぐにリセットされます。

リセット可能な項目

- PROPERTY - PROPERTY SETUP
- META DATA - RECORD
- META DATA - USER CLIP NAME
- STORAGE - SETUP
- SYSTEMメニューを除くSETUPの項目

入力 / 出力対応フォーマット一覧

メニュー「FREQUENCY」、「REC FORMAT」などの設定によって、次のように入力 / 出力フォーマットが選択されます。

記録フォーマット	入力信号	システム周波数	SDI出力*1
AVC-Intra 50 / 100	1080 / 59.94i	59.94	1080 / 59.94i
			720 / 59.94P
			480 / 59.94i
	1080 / 50i	50	1080 / 50i
			720 / 50P
			576 / 50i
	1080 / 23.98P over 59.94i *2	59-23	1080 / 23.98PsF
	1080 / 23.98PsF	23.98	1080 / 23.98PsF
	1080 / 24PsF	24	1080 / 24PsF
	720 / 59.94P	59.94	720 / 59.94P
			1080 / 59.94i
			480 / 59.94i
720 / 50P	50	720 / 50P	
		1080 / 50i	
720 / 50i		576 / 50i	
720 / 23.98P over 59.94P *3	59-23	1080 / 23.98PsF	
720 / 24P over 60P *3	60-24	1080 / 24PsF	
DVCPRO HD	1080 / 59.94i	59.94	1080 / 59.94i
			720 / 59.94P
			480 / 59.94i
	1080 / 50i	50	1080 / 50i
			720 / 50P
			576 / 50i

*1 メニュー「SETUP」 - 「VIDEO」 - 「OUTPUT FORMAT」にて選択

*2 AJ-HPX3100のHD-SDI(1080 / 23.98P over 59.94i)出力

*3 AJ-HDC27シリーズのHD-SDI(バリエラブルフレームレート信号)出力

記録フォーマット	入力信号	システム周波数	SDI出力*4
DVCPRO HD	1080 / 29.97PsF	59.94	1080 / 29.97PsF
			720 / 59.94P *1
			480 / 59.94i *1
	1080 / 23.98P over 59.94i *5	59.94	1080 / 23.98PsF *3
			1080 / 59.94i *2
			720 / 59.94P *2
			480 / 59.94i *2
	1080 / 23.98PsF	---	---
	1080 / 24PsF	---	---
	1080 / 25PsF	---	---
720 / 59.94P	59.94	720 / 59.94P	
		1080 / 59.94i	
		480 / 59.94i	
		720 / 50P	
		1080 / 50i	
720 / 50P	50	576 / 50i	
		720 / 50P	
		1080 / 50i	
720 / 23.98P over 59.94P *7	59-23	1080 / 23.98PsF	
720 / 24P over 60P *6	60-24	1080 / 24PsF	
DVCPRO50 / DVCPRO DV	480 / 59.94i	59.94	480 / 59.94i
			1080 / 59.94i
			720 / 59.94P
	480 / 29.97P over 59.94i	59.94	480 / 59.94i *1
			1080 / 29.97PsF
			720 / 59.94P *1
	480 / 23.98P over 59.94i	59.94	1080 / 23.98PsF *3
			480 / 59.94i *2
			1080 / 59.94i *2
			720 / 59.94P *2
	576 / 50i	50	576 / 50i
			1080 / 50i
720 / 50P			
576 / 25P over 50i	50	576 / 50i *1	
		1080 / 25PsF	
		720 / 50P *1	

*1 2:2 プルダウン

*2 2:3 プルダウン

*3 メニュー「SETUP」 - 「SYSTEM」 - 「FREQUENCY」を「23.98 Hz」または「59-23」に設定した場合、再生のみ有効

*4 メニュー「SETUP」 - 「VIDEO」 - 「OUTPUT FORMAT」にて選択

*5 AJ-HPX3100のHD-SDI(1080 / 23.98P over 59.94i)出力

*6 AJ-HDC27シリーズのHD-SDI(バリエーションフレームレート信号)出力

*7 AJ-HPX2700のHD-SDI(720 / 25P over 50P)出力

キーボードの利用

フルキーボード

フルキーボードは、メタデータの入力など英数字の入力が必要なときに表示されます。
入力したい文字にカーソルを移動し、[SET]ボタンを押すと文字が入力されます。
カーソルの移動は[上]/[下]/[左]/[右] 十字カーソルボタンで行います。



次のキーボード上のキーは、対応する機能を実行します。

キー	機能
BS	1文字削除
Caps	大文字小文字切り替え
OK	入力保存しソフトキーボードを閉じる
EXIT	入力破棄しソフトキーボードを閉じる
◀◀	カーソル位置を先頭文字に移動
◀	カーソル位置を1文字分戻す
▶	カーソル位置を1文字分進める
▶▶	カーソル位置を最終文字の次の入力位置に移動

◆NOTE:

- [RESET]ボタン押しで入力文字をすべて消去します。
- [EXIT]ボタンを押したときは閉じる前に確認メッセージが表示されますので、閉じる場合は「YES」を選択して[SET]ボタンを押してください。
- Capsの切り替えにより、記号の内容も変化します。

テンキーボード

テンキーボードは、数字のみ入力が必要なときに表示されます。
入力したい数字にカーソルを移動し、[SET]ボタンを押すと数字が入力されます。
カーソルの移動は[上]/[下]/[左]/[右] 十字カーソルボタンで行います。



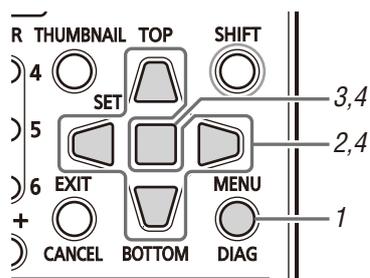
次のキーボード上のキーは、対応する機能を実行します。

キー	機能
BS	1文字削除
OK	入力保存しソフトキーボードを閉じる
EXIT	入力破棄しソフトキーボードを閉じる
◀	〈10進数入力時〉 カーソル位置を1文字分戻す 〈タイムコード入力時〉 カーソル位置を1項目戻す
▶	〈10進数入力時〉 カーソル位置を1文字分進める 〈タイムコード入力時〉 カーソル位置を1項目進める

USBキーボード

フルキーボードやテンキーボードを表示するメニューを選択しているときに、USBキーボードをKEYBOARD端子に接続すると、USBキーボードからの入力を行うことができます。メニューで事前にキーボードの種類の設定が必要です。(→設定メニュー「SETUP」-「THUMBNAIL」57 ページ)

必要に応じて、使用するキーボードの種類を設定します。



1 [MENU] ボタンを押す

2 メニュー「SETUP」-「THUMBNAIL」にて、[上]/[下]/[左]/[右] 十字カーソルボタンで「KEYBOARD」にカーソルを合わせる

3 [SET] ボタンを押す
項目メニューに入ります。

4 設定したいキーボード配列の項目へカーソルを移動し[SET] ボタンを押す

◆NOTE:

- 消費電流が100 mAを越えるキーボードをご使用になると保護回路が動作し、本体の電源がOFFになる場合があります。
- 入力できる文字は英数字と記号のみとなります。
- キーボードによっては正しく動作しない場合があります。

未永くお使いいただくために

お手入れについて

お手入れの際は、ベンジンやシンナーを使わないでください。

- ベンジンやシンナーを使うと、本機が変形したり、塗装がはげたりするおそれがあります。
- お手入れの際は、バッテリーを外しておくか、電源コードをコンセントから抜いておきます。
- 柔らかい、清潔な布で本機を拭いてください。汚れがひどいときは、水でうすめた台所用洗剤にひたした布で汚れを拭き、乾いた布で仕上げてください。

結露

結露が起こるのは、暖房を入れた部屋の窓ガラス一面に水滴(露)が付くのと同一原理です。本機やカードを温度・湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

- 湯気が立ちこめる湿度の多いところや、暖房を入れた直後の部屋へ移動したとき
 - 冷房を入れているところから急に温度・湿度の高いところへ移動したとき
- このようなところへ移動したときは、すぐ電源を入れずに、10分程度放置したままでお待ちください。

保管上のお願い

保管時は、本機からバッテリーを外してください。

湿気が少なく、比較的温度が一定な場所にそれぞれ保管してください。

「推奨周囲温度: 15℃～25℃」

「推奨相対湿度: 40%～60%」

■ 本機

- ほこりが入らないよう、柔らかい布で包んでください。
- 外装の劣化や液晶画面の損傷のおそれがありますので、直射日光が当たらない場所で保管してください。

■ バッテリー

- 極端に低温、高温になるところでは、バッテリーの寿命が短くなります。
- 油煙やほこりの多いところ、および湿度の高いところに保管すると、端子がさびるなどして故障の原因となることがあります。
- バッテリーの端子に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させないでください。端子間がショートし発熱することがあり、この状態で触れるとやけどをするおそれがあります。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、本機で充電容量を使い切って再保管することをお勧めします。

■ P2カード・SDメモリーカード

- P2カードを本機から取り出したときは、必ず専用キャップを取り付けて砂やほこりがコネクタ一部に付着しないようにしてください。また、保管時や携帯時は、専用ケースに入れてください。
- SDメモリーカードを本機から取り出したときは、必ずケースに収納してください。
- 腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。
- 車の中や直射日光の当たるところなど温度が高くなるところには置かないでください。
- 湿度の高いところやほこりが多いところには置かないでください。

ワーニングおよびエラーメッセージ

本機にワーニングが発生すると、録再画面のOSD表示にエラー番号やメッセージなどが表示されます。また、本機の動作に異常が発生すると、録再画面のOSD表示にエラー番号が点滅表示されます。

エラー情報の表示について

電源を入れた後や操作中に異常が検出されると、POWERランプ、P2カードアクセスランプおよびビープ音で、異常を知らせます。

ビープ音はメニュー「SETUP」-「BASIC」-「BEEP」が「ON」に設定されているとき(→設定メニュー「BASIC」-「BEEP」62ページ)に有効です。

モニター表示*1	警告内容	POWERランプ	ビープ音	内容	対策
E-37, 38表示*2	システムエラー	4回 / 秒で点滅	速い繰り返し	P2マイコン、または制御の異常です。動作は停止します。	一度、電源を切ってからご使用ください。
E-30表示*2	P2カード取り出し異常	4回 / 秒で点滅	速い繰り返し	アクセス中のP2カードを取り出したため、内部メモリーに異常が発生しています。	電源をOFFにしてください。取り出したP2カードのクリップに異常がある場合、修復を行ってください。
E-31表示*2	記録エラー	4回 / 秒で点滅	速い繰り返し	記録データの異常です。	一度電源を切ってからお使いください。正常に記録できない場合はP2カードを交換してください。
E-BA表示 一定時間は表示する*2	バッテリーエンド	1回 / 秒で点滅	速い繰り返し	バッテリーの消耗です。記録再生は停止します。さらに電圧が下がると自動的に電源がOFFになります。	充電したバッテリーに交換してください。
E-21表示*2	記録異常	4回 / 秒で点滅	速い繰り返し	記録の異常です。記録を停止します。	一度電源を切ってからお使いください。正常に記録できない場合はP2カードを交換してください。一度停止(STOP)した後、再生動作を行うとエラーは解除され、表示やビープ音は消えます。
E-80,81,83,84表示*2	接続エラー	4回 / 秒で点滅	速い繰り返し	3D録再モードまたは同期再生モードのシステムに異常が発生しました。	電源をOFFにして接続などを確認してください。
バッテリー残量表示 が1個点滅	バッテリーニアエンド	1回 / 秒で点滅	なし	バッテリーの消耗間近です。	必要に応じてバッテリーを交換してください。

*1 メニュー「SETUP」-「DISPLAY」-「OSD OUTPUT」の出力先と同じ範囲とします。

*2 表示箇所の詳細はOSD表示(→設定メニュー「DISPLAY」-「OSD OUTPUT」68ページ)を参照してください。また、エラー番号と「AUOT OFF」を交互に表示します。

ワーニング・エラー情報の詳細

動作へのワーニング情報の表示

- ワーニングまたはエラー発生時に、OSD表示にメッセージが表示されます。

モニター表示	内容	デッキ動作
CANNOT REC	P2カードに記録ができないときに表示します。 【原因】 <ul style="list-style-type: none"> ライトプロテクトがされている カードに容量がない 使えないカードに記録しようとしている 記録中にカード状態が変わった VFR記録を開始したが有効フレーム情報が入力されなかった BUSY中に記録しようとした 	停止 (STOP)
CANNOT LOOP REC	メニュー「SETUP」-「BASIC」-「LOOP REC」設定が「ON」のときに、P2カードに記録ができないときに表示します。 【原因】 <ul style="list-style-type: none"> ライトプロテクトがされている カードに容量がない 使えないカードに記録しようとしている 記録中にカード状態が変わった BUSY中に記録しようとした 	停止 (STOP)
CANNOT PLAY	クリップの異常などで、再生を停止したときに表示します。 【原因】 <ul style="list-style-type: none"> クリップがないときに、再生しようとしている 使えないカードで再生しようとしている その他の原因で再生を受け付けられない または 再生停止 BUSY中に再生しようとした 	停止 (STOP)
TEXT MEMO INVALID	テキストメモを登録できなかったとき(テキストメモを100以上登録した、など)に表示します。	動作継続
INT SG	メニュー「SETUP」-「VIDEO」-「INPUT SEL」で「INT SG」が選択されている、あるいはメニュー「SETUP」-「AUDIO」-「INPUT SEL」で「INT SG」が選択されている場合に、[REC] <input type="checkbox"/> ボタンを押してEEモードになる開始2秒間表示されます。	動作継続
NO INPUT	アナログオーディオを除き、「INPUT SEL」によって選択されている端子に入力信号がない場合に、[REC] <input type="checkbox"/> ボタンを押してEEモードになる開始2秒間表示されます。	動作継続
TEXT MEMO	テキストメモを付加したときに2秒間表示されます。	動作継続
MARK ON / MARK OFF	ショットマークを付加、消去したときに2秒間表示されます。	動作継続
SLOT SEL INVALID	[SLOT SEL]ボタン([USER]ボタンへ割り付け時)を押したときに、P2カードの記録スロット切り替えができないときに表示します。	動作継続
BUSY	クリップ情報を読み込み中や、クリップ構成が変化しているときに表示します。BUSYの表示中は、操作ができません。 【原因】 <ul style="list-style-type: none"> カード挿抜時 UPDATING中 記録後処理中 その他 	動作継続
REF ERROR	REF IN端子の信号がシステムの周波数と異なる場合やSDI入力信号と同期していない場合など、基準信号に同期できない場合に表示されます。本ワーニング表示中は正常に動作しません。接続・入力信号を確認してください。	動作継続

機器状態のワーニング情報の表示

機器の状態に問題があるとき、OSD表示にワーニング・エラーが「E-**」と表示されます。[DIAG]ボタンを押すと内容が表示されます。

表示		内容	デッキ動作
No	文字		
75	STORAGE INTERMITTENT	ストレージデバイスのクリップを再生中にストレージデバイスの性能低下などにより再生に途切れが発生したときに3秒間表示します。 より性能の高いストレージデバイスを使用してください。	動作継続
93	INVALID TC MODE	再生時、タイムコードがDFモードで記録されている場合に表示します。タイムコードのドロップポイントで映像出力が乱れ、音声出力はミュートされます。再生クリップを確認してください。 フレームレートが24Pのクリップを本機で再生する場合、タイムコードはNDFモードで記録されている必要があります。 EE、記録時にHD SDI入力上のタイムコードがDFモードの場合に表示されます。この場合、正常に記録されません。 本機に入力する信号を確認してください。入力するタイムコードはNDF設定にしてください。 (メニュー「SETUP」 - 「SYSTEM」 - 「FREQUENCY」が「23.98 Hz、24 Hz、59-23、60-24」に設定されている場合に表示されます。)	動作継続
95	INVALID EMBEDDED TC	記録された映像のフレームを、HD SDI入力上のタイムコードに同期させるときに、タイムコードが1倍速で歩進していない場合に表示されます。(メニュー「SETUP」 - 「SYSTEM」 - 「FREQUENCY」が「59-23、60-24」に設定されている場合に表示されます。)	動作継続
96	INVALID TC SEQUENCE	再生時、ユーザズビットのフレームレート情報が検出できない場合、または再生のタイムコードが不連続の場合に表示されます。不連続となる部分で映像出力が乱れ、音声出力はミュートされます。再生クリップを確認してください。 EE、記録時にHD SDI入力上のユーザズビットからフレームレート情報が検出できない場合、または入力のタイムコードが不連続の場合に表示されます。この場合、正常に記録されません。 本機に入力する信号を確認してください。入力する信号はタイムコードとブルダウンシーケンスが合ったものを入力してください。 (メニュー「SETUP」 - 「SYSTEM」 - 「FREQUENCY」が「23.98 Hz、24 Hz、59-23、60-24」に設定されている場合に表示されます。)	動作継続
97	NO ACTIVE FRAME	EE、記録時にHD SDI入力上のユーザズビットから有効フレーム情報が検出できない場合に表示されます。この場合正常に記録されません。 本機に入力する信号を確認してください。入力信号にはバリエーションフレームレートカメラからの有効フレーム情報が必要となります。 (メニュー「SETUP」 - 「SYSTEM」 - 「FREQUENCY」が「59-23、60-24」に設定され、メニュー「VFR REC」が「ON」に設定されている場合に表示されます。)	記録不可* ² 記録中は動作継続
26	CARD ERROR< ** >	P2カードが原因でデータ異常が発生したときに表示します。 記録時に発生した場合は記録停止後も次の操作を行うまで表示します。(** は発生したスロット番号) エラーが発生したスロットのP2カードを交換してください。	停止(STOP)
21	REC WARNING	記録中に映像や音声に異常が発生したときに表示します。 一度電源をOFFにしてからご使用ください。 記録中に入力信号が乱れると、記録が停止する場合があります。本機に入力する信号を確認してください。	記録中は停止(STOP) 入力乱れによる記録一時停止中は動作継続
50	BATTERY EMPTY	電源ON時に、内蔵時計のバックアップ電池の電圧低下を検出したときに表示します。* ¹ ACアダプターを接続し約4時間そのままにして電池の充電を行ってください。	動作継続
70	DIR NG CARD< ** >	ディレクトリー配置が不適切です。速やかにカードのバックアップを取り、フォーマット後ご使用ください。 ** は発生したスロット番号です。	動作継続
71	RUNDOWN CARD< ** >	規定の書き換え回数を超過しています。P2カードの交換をお勧めいたします。 ** は発生したスロット番号です。	動作継続

*¹ 充電後は、必ず本機の内蔵カレンダーおよび時計の設定を行ってください。

*² 記録操作をいったん受け付けますが、操作はキャンセルされ記録はできません。

表示		内容	デッキ動作
No	文字		
60	HDMI MONI NOT ACCEPT	HDMIモニターが本機の3D出力映像を受信できない場合に表示されます。HDMIモニターを3D映像を受信できるモニターに変更するか、本機の設定をモニターが受信可能な設定へ変更してください。	動作継続
62	SLAVE WARNING	スレーブ側の問題で動作できませんでした。スレーブ側の状態を確認してください。	停止 (STOP)
63	SYNC POSI FAILED	クリップの位置の同期に失敗しました。クリップの数や種類を確認してください。また、3Dクリップを再生中に基準信号や入力信号が乱れると、クリップの位置の同期に失敗する場合があります。一度[STOP]ボタンを押して停止し、接続・入力信号を確認後、再度再生を行ってください。	動作継続
64	INPUT L / R MISMATCH	SDI入力のL / R信号と接続している入力端子が一致しません。接続・入力信号を確認してください。	動作継続
65	REF IN NOT DETECT	基準信号が検出できません。接続・入力信号を確認してください。また、この表示が出ているときは、記録・再生を開始することができません。	停止 (STOP) 録再中は動作継続

サムネールのワーニング情報の表示

サムネールで問題のある操作を行ったときなどに、ワーニングが表示されます。

項目	メッセージ	内容	対応
サム ネール	CANNOT ACCESS!	コンテンツ不良などによりデータへアクセスできません。	メディア、クリップを正常な状態としてからご使用ください。
	CANNOT CHANGE!	サムネールが生成できず灰色■になっているテキストメモはサムネールが変更できません。	サムネールが表示できるよう設定やコンテンツを修正してください。
	CANNOT DELETE !	コンテンツバージョンが不整合のため削除できません。	機器とコンテンツのバージョンを合わせてください。
	CANNOT FORMAT!	P2カードなどの問題でフォーマットができません。	P2カードを確認してください。
	CANNOT RE-CONNECT!	またぎクリップではないコンテンツを選んでいたりなどでクリップの再結合ができません。	選択しているコンテンツを確認してください。
	CANNOT REPAIR IN SELECTION!	選択したクリップの一部が修復できませんでした。	選択しているコンテンツを確認してください。
	CANNOT REPAIR!	修復できないコンテンツを選んでいました。	選択しているコンテンツを確認してください。
	CANNOT SAVE! FILE NAME IN USE	既に同じ名前の設定ファイル名がSDメモリーカードに存在します。	別の名前で保存してください。
	CARD FULL!	P2、SDメモリーカードが一杯です。	空き領域のあるメディアを挿入してください。
	INVALID VALUE!	入力しようとしたデータ値が不正規です。	正常な範囲のデータを設定してください。
	LACK OF CAPACITY!	カードの記録容量が不足しています。	記録容量の十分あるカードを挿入してください。
	MISSING CLIP!	またぎクリップがすべてそろっていないクリップにはショットマークは付加できません。	またぎクリップが入ったカードをすべて挿入してください。
	NO CARD!	P2、SDメモリーカードが入っていません。	対応メディアを挿入してください。
	NO COPY TO SAME CARD!	コピー元とコピー先が同じカードのためコピーできません。	選択しているクリップが入っていないカードへコピーをしてください。
	NO INPUT!	データが入力されていません。	データを入力してから設定をしてください。
	NO SD CARD!	SDメモリーカードがありません。	SDメモリーカードを挿入してください。
	NOT SELECTED!	クリップを選択せずに削除などを行おうとしました。	削除などを行うクリップを選択してください。
	SAME CLIP IS SELECTED!	選択クリップ中に同一クリップ(COPYで複製したものが)複数個含まれています。	同一クリップ(COPYで複製したものは同時に複数個コピーはできませんので、同一クリップを選択から外してください。
	TOO MANY CLIPS!	選択しているクリップが多すぎます。	選択しているクリップ数を減らしてください。
	UNKNOWN CONTENTS FORMAT!	本機で対応していないバージョンのコンテンツのときの警告です。	機器とコンテンツのバージョンを合わせてください。
UNKNOWN DATA!	メタデータの文字コードが不正規です。	メタデータの文字コードはUTF-8となっています。ビューアーなどで正しい文字を入力してください。	
USER CLIP NAME MODIFIED!	クリップ名にカウンター値を付加するときに文字削除が必要となりました。	カウンター付加の設定でユーザークリップ名とカウンターは合わせて100バイトまでしか保存できませんので、文字を自動的に削除します。	
WRITE PROTECTED!	P2、SDメモリーカードがライトプロテクトされています。	書き込み可能なメディアを挿入してください。	
スト レージ	CANNOT ACCESS CARD!	P2カードのアクセス中にエラーが発生しました。	P2カードを確認してください。
	CANNOT ACCESS TARGET!	接続先のターゲットのアクセス中にエラーが発生しました。	ストレージデバイスの状態や接続を確認してください。
	CANNOT COPY! FORMAT STORAGE TO FAT	クリップコピー可能なパーティションがストレージデバイスに存在しないためクリップコピーできません。	FAT形式でフォーマットしなおすか、P2カードをEXPORTしてパーティションを作成してください。
	CANNOT FORMAT!	ストレージデバイスのフォーマットができません。	接続しているストレージデバイスを変更してください。
	CANNOT RECOGNIZE STORAGE	ストレージデバイスが正しく認識できません。	ストレージデバイスの電源を入れなおすか、接続するストレージデバイスを変更してください。

項目	メッセージ	内容	対応
ストレージ	CANNOT SELECT! MAX.6 PARTITIONS	6パーティションより多いストレージデバイスの選択(同時マウント)はできません。	選択済みパーティションを解除してください。
	CARD IS EMPTY! CANNOT COPY!	コピーするP2カードが空です。	空のカードはコピーする必要がないためコピーを行いません。
	FORMAT P2 CARD!	クリップの存在するP2カードへはインポートできません。	P2カードをフォーマットしてください。
	LACK OF CAPACITY!	ストレージデバイスの空き容量が足りません。	空き容量の十分ある新しいストレージデバイスまたはフォーマットしたストレージデバイスを使用してください。
	STORAGE DISCONNECTED!	ストレージデバイスの接続が切断されました。	USBをHOST端子に接続しなおしてください。またその後正常に動作しないときは、一度電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。
	MISMATCH COMPONENT!	コピー元とコピー先のP2カードの品番が不一致のため、コピーできません。	同一品番のP2カードを使用するか、クリップ単位でインポートしてください。
	P2 CARD IS UNFORMATTED!	P2カードが未フォーマットです。	フォーマットされたP2カードを使用してください。
	TOO MANY PARTITIONS!	パーティションが多すぎます。	ストレージデバイスの最大パーティション数は23ですので、新しいストレージデバイスまたはフォーマットしなおして使用してください。
	UNKNOWN DEVICE CONNECTED!	未対応のDVDドライブなどの機器が接続されています。	接続機器を正しいストレージデバイスに変更後、一度電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。
	VERIFICATION FAILED!	コピー後のベリファイ確認が不一致でした。	再度コピーを行ってください。
ソフト キー ボード	CANNOT CHANGE!	テキストメモがない状態で入力者を変更しようとしました。	テキストメモを先に入力してください。
	CANNOT SET! INVALID VALUE!	入力された値が異常です。	入力値を変更してください。

3D録再モードおよび同期再生モード起動中のワーニング情報の表示

メッセージ	内容	対応
ERROR REF IN NOT DETECT	基準信号が接続されていない、またはスレーブ側の電源が入っていません。	スレーブ側の電源を入れ、基準信号線の接続を確認してください。
ERROR USB DISCONNECT	LINK(USB)接続の信号が2分たっても検出されません。	LINK(USB)ケーブルの接続を確認してください。スレーブ側を電源投入し通常表示後にも出続ける場合は、スレーブ側に異常がないか確認してください。
ERROR SLAVE IS BUSY	スレーブ側が動作中でモード変更ができません。スレーブ側をマスター側と同時または後から立上げた場合にも起動処理中は表示されることがあります。	スレーブ側が録再中やメニュー表示中、およびリモート状態など、スレーブ側が動作中の場合に発生します。REMOTEやメニューを解除して、停止(STOP)状態にしてください。
ERROR SERIAL NO. MISMATCH	LINK(D-SUB)ケーブルとLINK(USB)ケーブルが同じ機器に接続されていません。	同じ機器に接続しなおしてください。
ERROR VERSION FIRMWARE MISMATCH	接続された機器のバージョンが合っていません。	機器のバージョンを合わせてから再度切り替えを行ってください。
ERROR D-SUB DISCONNECT	LINK(D-SUB)ケーブルが接続されていません。	LINK(D-SUB)ケーブルを接続してください。
WAITING FOR CONNECTION	2台同期接続の検出に時間がかかるため、その信号検出待ちです。	2分経過後信号が検出されない場合はエラーとなりますので、エラー検出後接続を確認してください。

エラー情報

エラー		内容	動作
番号	メッセージ		
E-30	TURN POWER OFF	カードの読み書きに異常が発生したときに表示されます。 一度、電源を切ってからご使用ください。	停止(STOP)
E-31	REC ERROR	記録中に異常が発生したときに表示されます。一度、電源を切ってからご使用 ください。	停止(STOP)
E-37	COMM ERROR	システムコントロールの指示に従わない場合に表示されます。 一度、電源を切ってからご使用ください。	停止(STOP)
E-38	SYSTEM ERROR	通信異常が発生したときに表示されます。 一度、電源を切ってからご使用ください。	停止(STOP)
E-BA	BATTERY	入力DC電圧が、アンダーカット電圧以下になったときに表示されます。	停止(STOP)
E-80	LINK D-SUB DISCONNECT	3D録再モードおよび同期再生モード用LINK D-SUBケーブルが外れるなど異 常が発生したときに表示されます。一度電源を切って接続を確認してからご 使用ください。	停止(STOP)
E-81	LINK USB DISCONNECT	3D録再モードおよび同期再生モード用LINK USBケーブルが外れるなど異常 が発生したときに表示されます。一度電源を切って接続を確認してからご使 用ください。	停止(STOP)
E-83	SLAVE ERROR	スレーブ側がAUTO OFFとなりました。スレーブ側とマスター側の電源を 切ってからご使用ください。	停止(STOP)
E-84	MASTER ERROR	マスター側がAUTO OFFとなりました。マスター側とスレーブ側の電源を 切ってからご使用ください。	停止(STOP)

- エラーの場合はOSDにエラー番号と「AUTO OFF」を交互に表示します。

本機搭載ファームウェアのアップデート

メニュー「SYSTEM INFO」-「VERSION」で本機のバージョンを確認のうえ、下記のWebサイトのファームウェアに関する最新情報にアクセスし、必要に応じてファームウェアをダウンロードしてください。

アップデートはダウンロードしたファイルを、SDメモリーカードを介して本機にダウンロードすることにより完了します。詳細情報は、下記のWebサイトをご覧ください。

日本語:http://panasonic.biz/sav/pass_j/

英語:http://panasonic.biz/sav/pass_e/

◆NOTE:

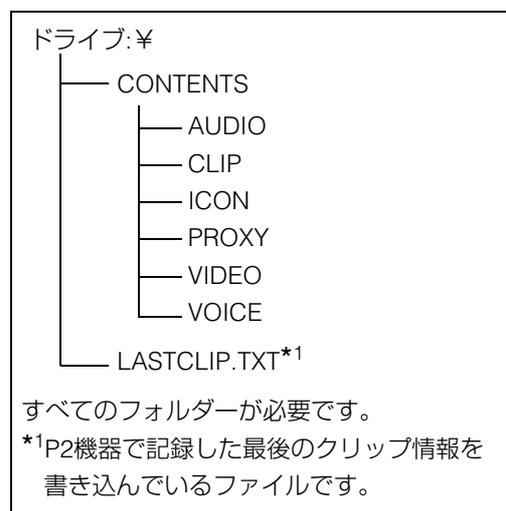
- 本機で使用するSDメモリーカードは、SD規格、SDHC規格に準拠したものをお使いください。
また、SDメモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。

P2カード記録データの取り扱いについて

P2カードはプロフェッショナル映像制作・放送用機器「P2HDシリーズ」の記録メディアに採用した、半導体メモリーカードです。

■P2フォーマットの記録データは、ファイル形式のため、パーソナルコンピューターとの親和性にすぐれています。そのファイル構造は独自フォーマットであり、MXFファイル化される映像、音声データだけでなく、さまざまな重要情報が含まれており、右のようなフォルダー構成に関連付けられています。

これらの情報が一部でも変更、または削除されると、P2データとして認識できない、もしくはカードがP2機器で使えなくなるなどの不具合が発生する場合があります。



■P2カード内のデータをパーソナルコンピューターなどに転送したり、パーソナルコンピューターに格納したデータをP2カードに書き戻したりする際は、情報の欠落を防ぐために、必ず専用ソフトウェア「P2ビューアー」をWebサイトよりダウンロードし、お使いください。

URLについては(→「[ウェブサイトURLについて](#)」2ページ)をご覧ください。

■Microsoft Windows ExplorerやApple Finderなど、一般のITツールを使用してパーソナルコンピューターに転送する場合は、下記のように行ってください。なお、P2カードへ戻す場合は、必ずP2ビューアーをご使用ください。

- CONTENTS フォルダとLASTCLIP.TXT ファイルごとに行ってください。
CONTENTSフォルダ以下は、操作しないでください。
コピーするときは、CONTENTSフォルダと同時にLASTCLIP.TXTファイルも行ってください。
- 複数のP2カードをパーソナルコンピューターに転送する場合、同一クリップ名の上書きを防ぐため、P2カードごとにフォルダを作成してください。
- P2カード内のデータ消去は行わないでください。
- フォーマットする場合は、必ずお使いのP2機器、もしくはP2ビューアーにて行ってください。

SD/SDHCメモリーカードのご使用について

本機で使用するSD / SDHCメモリーカード*1は、SD / SDHC規格に準拠したものをお使いください。SD / SDHC以外のメモリーカード(SDXCメモリーカード*3、マルチメディアカード*2など)は使用できません。

*1 SDHCメモリーカードは、2006年にSDアソシエーションにより策定された、2 GBを超える大容量メモリーカードの新規格 (version2.0)です。

*2 マルチメディアカード(MMC)は、InfineonTechnologies AG社の登録商標です。

*3 SDXCメモリーカードは、2009年にSDアソシエーションにより策定された、32 GBを超える大容量メモリーカードの新規格 (version3.0)です。

- miniSD / miniSDHC、microSD / microSDHCカードを本機で使用する場合は、必ず、専用のアダプターを装着してご使用ください。(アダプターのみを本機に挿入すると正常に動作しません)
- フォーマットは、必ず本機で行ってください。
- 本機では、以下の容量のSD/SDHCメモリーカードが使用できます。

SD(8 MB ~ 2 GB まで):

8 MB	16 MB	32 MB	64 MB	128 MB
256 MB	512 MB	1 GB	2 GB	

SDHC(4 GB ~ 32 GB まで):

4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
------	------	-------	-------

当社製のSD / SDHCメモリーカードおよびminiSD / miniSDHCカード、microSD / microSDHCカードをご使用いただくことをお勧めします。

- 本機や、本機で使用可能なメモリーカードについての最新情報はウェブサイトより、P2のサポートページをご覧ください。URLについては(→「ウェブサイトURLについて」2 ページ)をご覧ください。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

故障・修理・お取扱い・メンテナンス などのご相談は、まず、 お買い上げの販売店 へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社(裏表紙)までご連絡ください。

*内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。

保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間:お買い上げ日から本体1年間

補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社では、Memory Card Portable Recorderの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

*補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保守・点検

保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。

部品の劣化、ごみ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を推奨いたします。

保守・点検(有料)についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ ご連絡いただきたい内容

品名	Memory Card Portable Recorder
品番	AG-HPD24
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

さくいん

■ 数字

25M REC CH	73
3D REC / PB	16
3D 結線ラベル	15
3D 信号の記録再生	36
3D のサムネール	43
3D 録再モード	40
3D 録再モード / 同期再生モード用接続	51
3D 録再モードのワーニング情報	87
「3D」ロゴ	43, 38
3D 録再モード (3D REC/PB)	38
4:3 MARKER	68

■ A

AC アダプター	15, 24
AC コード	15
ALL CLIP	51
ANALOG AUDIO IN 端子	20
ANALOG AUDIO MON 出力端子	20
AUDIO	67
AUDIO MON ボタン	17
AUDIO SMPL RES	73
AUTO POWER OFF	73
AUTO REC	7, 60
AVC-Intra 50 / 100	77

■ B

B CONTRAST	69
BACKLIGHT	69
BASIC	60
BEEP	62
BRIGHTNESS	69

■ C

[CANCEL] ボタン	17
CARD STATUS	54
CC (F1) BLANK	65
CC (F2) BLANK	65
CC REC	65
CH1 INPUT LEVEL	67
CH2 INPUT LEVEL	67
CHANGE PARTITION NAME	53
CLIP PROPERTY	54
CLOCK SET	73
COLOR LEVEL	69
COMPRESSION MODE	65
CONTRAST	69
COPY	53
COUNTER ・ RESET / TC PRESET ボタン	16
[COUNTER] ボタン	16
CROSS HATCH	68
CTL	34, 48
CTL DISPLAY	63

■ D

DATA DISPLAY	57
DATE FORMAT	58
DELETE	52
DELETE LAST PARTITION	53
DEVICES - SD CARD	54

DF MODE	64
[DIAG] ボタン	17
DISCRETE BLACK	65
DISPLAY	68
DOWNCONV. MODE	66
Dual P2 3D クリップ 異常状態インジケータ	43
Dual P2 3D クリップ	36
DVCPRO HD	77, 78
DVCPRO50 DVCPRO DV	78

■ E

EDH(SD)	65
EJECT ボタン	19
EMBD CH SEL	67
EXCH.THUMBNAIL	53
EXIT ・ CANCEL ボタン	17
[EXIT] ボタン	17
EXPLORE	56
EXPORT	56
EXT TC SEL	64

■ F

FF. REW MAX	61
FF ・ NEXT ボタン	18
FILE	74
FORMAT	52, 72
FREE CAP. OF PARTITION	54
FREQUENCY	72

■ G

G CONTRAST	69
GAMMA SELECT	66

■ H

HD EMBD LTC	64
HD EMBD VITC	64
HDMI OUT 端子	21, 38
HDMI 出力	50
HDMI 端子	50
HD / SD - SDI IN / OUT 端子	21
HD シリアルデジタル	50
HD モード	28
HOUR METER	76

■ I

ID OF 9P REMOTE	62
INDICATOR	57
INITIAL MENU	74
INITIALIZE	55
INPUT SEL	64, 67
INT SG	64

■ K

KEYBOARD	59
KEYBOARD 端子	21

■ L

LCD	69
LEVEL METER	67
LINK(D) 端子	21
LINK(M) 端子	21

LINK(S) 端子	21
LOAD	55, 74, 75
LOCAL ENABLE	62
LOOP REC	7, 60

M

MARKED CLIPS	52
MENU ・ DIAG ボタン	17
[MENU] ボタン	17
META DATA	55
MODEL	76
[MODE] ボタン	16
MONITOR CH	67

O

OPERATION	52
OSD GRADE	68
OSD OUTPUT	68
OSD TC SELECT	68
OSD 画面出力の設定	12
OSD 表示	45
OUTPUT FORMAT	66
OUTPUT REF	61
OUTPUT SEL	38, 65

P

P2 カード	27, 40
P2 カードアクセスランプ	19, 27
P2 カード記録データ	89
P2 カードコピー	36
P2 カードスロット	19, 11
PB POSITION	58
PLAY DELAY	61
PLAY ボタン	18
POWER ON GUI	60
POWER ボタン	19
POWER ランプ	19
[PREV] ボタン	17
PROPERTY	54, 55
PROPERTY DISP.	59
PROPERTY SETUP - P2 CARD CAP	54

R

R CONTRAST	69
REC FORMAT(HD)	72
REC FORMAT(SD)	72
RE-CONNECTION	53
RECORD	55
REC ボタン	18
REF IN 端子	20
REF LEVEL	67
REMOTE ・ MODE ボタン	16
REMOTE 端子	21
[REMOTE] ボタン	16
REMOTE、REF ERROR、 TEXT MEMO 表示	46
REPAIR CLIP	53
REPEAT PLAY	61
[RESET / TC PRESET] ボタン	16
REW ・ PREV ボタン	17
RS-422A 入出力	51
RUN MODE	64

S

SAME FORMAT CLIPS	51
SAVE	75
SAVE AS	74
SD / SDHC メモリーカードスロット	19
SD / SDHC メモリーカード	90
SDCARD FORMAT	74
SDCARD PROPERTY	74
SDI OUT 端子	38
SDI 出力	50
SDI 入力	49, 50
SD アナログコンポジット出力	50
SD シリアルデジタル	50
SD モード	28
SEEK POS SEL	61
SELECTED CLIPS	51
SETUP	57
SETUP - VERIFY	56
[SHIFT] + [SET] ボタン	17
SHIFT ボタン	17
SHUTTLE MAX	61
SLOT CLIPS	52
SORT	58
SPEAKER OUT	67
STILL / PAUSE ボタン	18
STOP EE SEL	60
STOP ボタン	17
STORAGE	56
SYNC PB	16, 42
SYS H(HD)	73
SYS H(SD)	73
SYSTEM	72
SYSTEM INFO	76

T

TC / UB / CTL	63
TC OUTPUT REF	64
TCG MODE	63
TEXT MEMO CLIPS	52
THUMBNAIL	51, 57
THUMBNAIL SIZE	58
THUMBNAIL ボタン	17
TIME CODE IN	20
TIME CODE IN / OUT 端子	20
TIME CODE OUT	20
TIMEOUT	69
[TOP] / [BOTTOM] ボタン	17

U

UBG MODE	63
UPCONV. MODE	66
USB DEVICE	16
USB HOST	35, 51, 46, 56
USB HOST 端子	19, 27
USB2.0 デバイス端子	21
USB キーボード	80
USB デバイス	35, 37
USB デバイス / 3D 録再モード / 同期再生モード用接続	51
USER BUTTON	70
USER CLIP NAME	23, 55
USER1	70, 71

USER1-3・4-6 ボタン	17
USER2	71
USER4	71
USER5	71
USER6	71

V

VERSION	76
VFR REC	60
VIDEO	64
VIDEO OUT 端子	21
VITC BLANK	63
VITC POS-1	63
VITC POS-2	63

W

WFM TYPE	68
WFM 表示	47
WIDE SEL	65

あ

アクセスランプ	19
圧縮記録フォーマット表示	45
アナログ入力	50

い

インポート	36
-------------	----

う

ウェブフォームモニター表示	47
---------------------	----

え

液晶モニター	31
エクスプロー画面	33
エクスポート	30
エディットコピーインジケータ	11
エラー情報	82, 88

お

オーディオ出力信号	50
オーディオ入力信号	50
オーディオレベルメーター	46

か

カーソル操作ボタン	17
カード	26
カード残量	45
カードの状態	41, 44
外形寸法	48, 51
解像度	49
外部モード	49
カウンター値	23
確認と修正	24
可変速	15
可変速再生	8, 39
カラーサンプリング	49
簡易プロパティ表示	12

き

キーボード	51, 79
機器状態のワーニング情報	84
記録	33, 41
記録オーディオ信号	48
記録音量調整	6
記録時間	28, 48

記録スロットの変更	6
記録ビデオ信号	48
記録フォーマット	48
記録メディア	48
記録モード	10

く

クリップ	38
クリップコピー	18
クリップ再生の全体遷移	9
クリップ削除	19, 35, 39
クリップ情報	34, 40, 44
クリップ付加情報	20
クリップ選択数	11
クリップの記録	6
クリップの選択	16
クリップの分割	28
クリップ番号	11, 20, 45
クリップメタデータ	21
クリップメタデータ情報	20

こ

誤消去	29
コマ送り再生	8, 15

さ

リピート再生	9
再生	33, 42, 45, 14, 42
再生画面	45, 5
再生する	8
サイドバイサイド・フレームパッキング方式	38
サムネイル	11
サムネイル画面	32, 42, 43, 46, 5, 10, 38
サムネイル下の項目	13
サムネイルスクロールバー	12
サムネイルの大きさ	13
サムネイルの設定	12
サムネイルのワーニング情報	86
サムネイルを表示する	34
サムネイルを変更する	22, 40
サンプリング周波数	49, 50

し

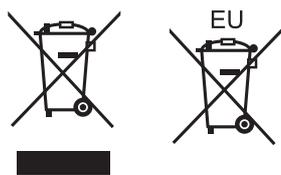
時間表示	11
周波数表示	46
システムフォーマット	10
システムフォーマット表示	46
質量	48, 51
自動電源オフ	26
充電	22
状態メッセージ	12
消費電力	48
使用容量	41
ショットマーク	17, 39
ショットマークインジケータ	11
ショットマークを付加	17

す

ストレージデバイス	11, 27
ストレージデバイス情報	34
ストレージデバイスのコピー	31
ストレージデバイスの接続	29
ストレージデバイスのタイプ	28
ストレージデバイス表示	32

スピーカー	19	バッテリー残量表示	43, 12, 38
スレーブ (R) 側端子	37, 38, 39	バッテリー充電器	15
スレーブ側 P2 カード状態表示	41	バッテリーロック解除ボタン	21
スロット状態表示	43	バリアブルフレームレート (VFR) 記録	7
せ			
接続	37, 44	ひ	
設定削除	25	ビデオ圧縮方式	49
設定メニュー	47, 51	ビデオ出力信号	50
全記録残量	41	ビデオ入力信号	49
選択解除	16	表示状態	10
全容量	45	ふ	
た			
タイムコード	34, 45, 48	ファームウェア	88
タイムコード/ユーザズビットの設定	48	ファイルの読み込み	24
タイムコード/ユーザズビットの再生	50	フォーマット	25, 29
タイムコード出力	51	フォーマット一覧	77
タイムコード入力	51	不完全クリップ	20, 39
単一クリップ	15	不完全クリップインジケータ	11, 22
て			
ディエンファシス	50	不明クリップインジケータ	11
定格	48	不良クリップ	19, 39
定格出力	51	不良クリップインジケータ	11
定格入力	51	フルキーボード	79
テキストメモ	17, 39	プロキシインジケータ	11
テキストメモ位置	15	プロパティ表示	14
テキストメモインジケータ	11	へ	
テキストメモ削除	17	ヘッドホン出力	50
デジタルオーディオ	50	ヘッドホン端子	19
デジタルビデオ	49	ヘッドルーム	50
デッキ情報表示	46	ほ	
デュレーション	10	保存周囲温度	48
テンキーボード	79	ホットスワップ記録	7
電源	25, 40	ま	
電源およびバッテリー装着部	21	マスター (L) 側端子	37, 38, 39
電源電圧	48	マスター側 P2 カード状態表示	41
と			
同期再生	45	スレーブ側表示	46
同期再生モード	44, 42	め	
再生	42	メタデータ	23
同期再生モードのワーニング情報	87	メタデータアップロードファイル	23
動作周囲温度	48	メタデータの記録設定	23
動作周囲湿度	48	メニューの操作	30
動作状態表示	45	メニューリセット	76
動作へのワーニング情報	83	も	
取り出し	29	モニター音量調整	17
な			
内蔵スピーカー	50	モニター出力	50
内部モード	48	ゆ	
ね			
年月日の表示順	13	ユーザズビット	34, 48
年月日・時刻	26	り	
は			
パーティションの削除	33	リファレンス入力	49
パーティション名の設定	33	量子化	49, 50
パーティション/フォルダー	33	ろ	
バッテリー	22, 23	録再画面	5, 42, 6
バッテリー VW-VBD55	15	わ	
バッテリー残量	46	ワイドインジケータ	11

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらのシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。